技術基準適合認定品

普通紙パーソナルファクシミリ

スピークス

NEC

SPX-N3
SPX-N3W

準備 / 電話 / ファクス／コピー / ハンドスキャナ / 留守電 / 便利に使う / コミスタ / ナンバー・ディスプレイ / キャッチホン／ダイヤルイン / こんなときは

ワンタッチで電話ができる

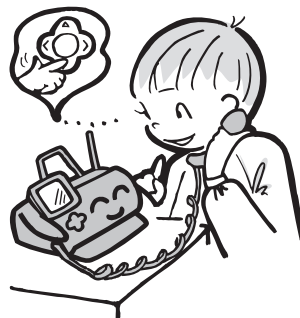
ワンタッチダイヤル ➜p26

一度にたくさんの人へファクスできる

みんなに送信 ➜p36

色でいろいろお知らせ

10色バックライト液晶 ➜p24、p69

らくらく電話ができる

らくらく電話帳 ➜p27

電話に出る前に相手を確認

ナンバー・ディスプレイ ➜p69

コミスタ……………………61 ページ

キャッチホン／ダイヤルイン…………76 ページ

注意

●製品をご使用の前に必ず本書をお読みください。

●本書はいつでも活用できるように大切に保管ください。

はじめに

このたびは、コードレス留守番電話付きファクシミリ「スピークス　SPX–N3／N3W」　をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

品　　名	機器構成	備　　　考
SPX–N3	親機（本機）と子機1台	増設できる子機の台数は最大3台まで
SPX–N3W	親機（本機）と子機2台	増設できる子機の台数は最大2台まで

なお、本書ではSPX–N3 について子機を増設した場合を含めて説明しています。SPX–N3 Wを購入された方は、SPX–N3 に子機を1台増設した場合として本書をお読みください。

この取扱説明書で使われているマーク

 ・・・・・・・ 気を付けていただきたいことが書かれています
この注意を守らないと、操作がうまくできなかったり、思うように進まないことがあります。注意は必ず守ってご使用ください。

 ・・・・・・・ 親機の受話器を取る操作を表しています。

 ・・・・・・ 充電器から子機を取る操作を表しています。

 ・・・・・ 親機の受話器を戻す操作を表しています。

 ・・・・・・ 充電器に子機を戻す操作を表しています。

操作手順中にある   などのボタンの絵は、そのボタンを押す操作を表しています。
文章中にある［<］［>］は、親機の［電話帳］ボタンを押す操作を表しています。
文章中にある［▲］［▼］は、親機または子機の［電話帳］ボタンを押す操作を表しています。

ご注意
- 本機の故障・誤動作、停電あるいは天災などによって本機が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害（通信・録音等上に生じる機会損失など）に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い
本機のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番無しの116番（無料）へお問い合わせください。

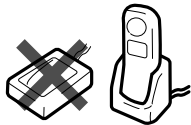
安全に正しくご使用いただくために－必ずお読みください－

● 本機を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では本機を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

危険：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意：	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 危険

禁止

子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

禁止

電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止

電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

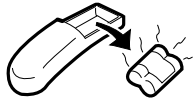
禁止

電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

⚠ 危険

禁止

電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。

分解禁止

電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

禁止

電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠警告

万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁止

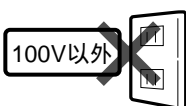
ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

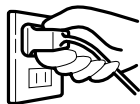
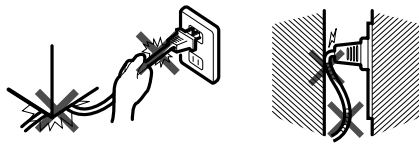
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線が取り付けられているところは次の部分です。

・電源コンセントのアース端子
・銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
・接地工事（第D種）が行われている接地端子

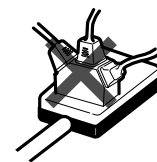
次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。

・ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。

・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
・使用を制限された場所では使用しないでください。
　例：医療用電子機器など

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医用機器に影響を与え、事故の原因となります。

子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。

⚠警告

子機をねじったり、重いものを載せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。本機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。

電池パックから液漏れしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気から遠ざけてください。

⚠注意

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

インクフィルム交換などでカバーを開けるときは接触禁止、高温注意マークのラベルが貼ってある部分には、触らないように注意してください。

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

親機または子機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

インクフィルム交換および記録紙セットなどで開閉部を閉めるときは、指挟み、指のけがにご注意ください。

⚠注意

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

充電器の充電部分に金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。本機の故障の原因となります。

本機の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。本機の破損、故障の原因となります。

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

青焼紙等と重ねて保管しないでください。記録紙が変色します。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の記録紙のご使用をお勧めします。

インクフィルム、インクフィルムカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

インクフィルムカートリッジは、指定の取り外し箇所以外を分解しないでください。

インクフィルムは開封した状態で放置しないでください。

ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

極端に寒いところで使用しないでください。

⚠ 注意

禁止
車のダッシュボードなど、直接日光の当たるところに放置しないでください。

禁止
ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、雑音が入ることがあります。

禁止
製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

禁止
テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

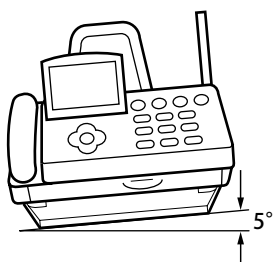
冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

禁止
極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。

禁止
以下のようなところには置かないでください。
・クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接あたる場所
・ほこりや振動が多い場所
・換気の悪い場所
・揮発性可燃物やカーテンに近い場所

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
・本機をテレビ等から遠ざける
・本機またはテレビ等の向きを変える

禁止
本機は簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
・浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
・受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
・子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

禁止
本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。

⚠ 注意

ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

目　次

コミスタ

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン／ダイヤルイン

こんなときは

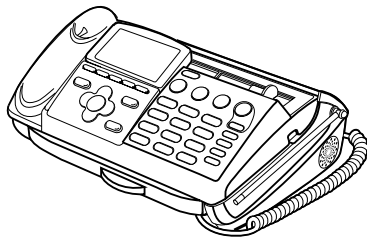
お使いになる前に

ここでは、本機の各部の名称や
組み立てかたなどを説明しています。

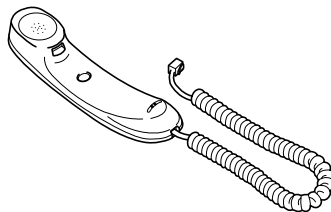
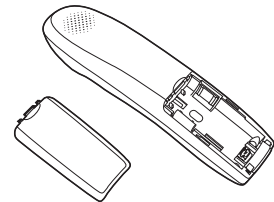
はじめにご確認ください

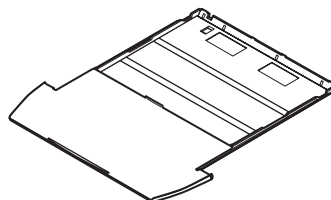
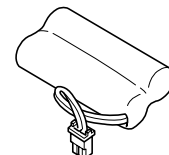
付属品はすべてそろっていますか？

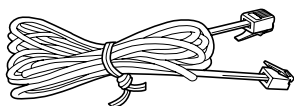
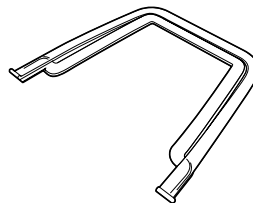
❑ 欄にチェック“✓”し、確認してください。付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、販売店にご連絡ください。

❑ 親機（本機）1台

テスト用インクフィルム　1本
あらかじめ本機にセットしてあります。このインクフィルムは、正しく印刷することを確認したものです。別売の消耗品よりも印刷できる枚数が少なくなります。

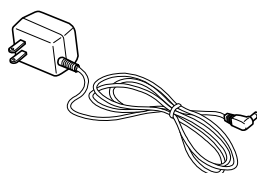
インクフィルムを交換するときは、必ず、指定（型名：SIF−A4040またはSIF−A4030T）のインクフィルムを使用してください。

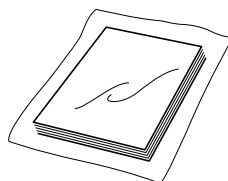
❑ 受話器　1個

❑ 子機　1台（電池カバー付）

※ SPX−N3Wでは2台

❑ 記録紙カセット　1個

❑ 電池パック　1個（子機用）

※ SPX−N3Wでは2個

❑ 電話回線接続コード　1本

❑ 原稿サポート　1個

❑ 子機充電器　1台

※ SPX−N3Wでは2台

❑ ACアダプタ　1個（子機充電器用）

※ SPX−N3Wでは2個

❑ 記録紙（A4サイズ 5枚）

❑ 保証書　1枚
保証書は大切に保管してください。保証期間やご購入店名などの記載事項をご確認ください。

❑ 取扱説明書（本書）1冊

❑ かんたん取り付けガイド　1枚

各部の名称

本機を組み立てたあとの各部の名称です。

親機の前面

親機の背面

※本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

親機のボタンの名称と使いかた（操作パネル）

各種ボタンの使いかたを簡単に説明しています。

…コミスタの設定や登録をするときに使います。

コミスタ

…コミスタが利用できるときは緑色で点灯し、利用できないときは消灯します。詳しくは➡p63

…あらかじめ登録しておいた相手に、ワンタッチで電話やFAXをするときに使います。

留守 …留守設定するときなどに使います。

▶再生 …用件の再生に使います。

消去 …用件を消去するときなどに使います。各種の登録時、入力内容を消去するときに使います。

キャッチ …キャッチホンが入ったときに使います。

オンフック …受話器を置いたまま電話をかけるときに使います。

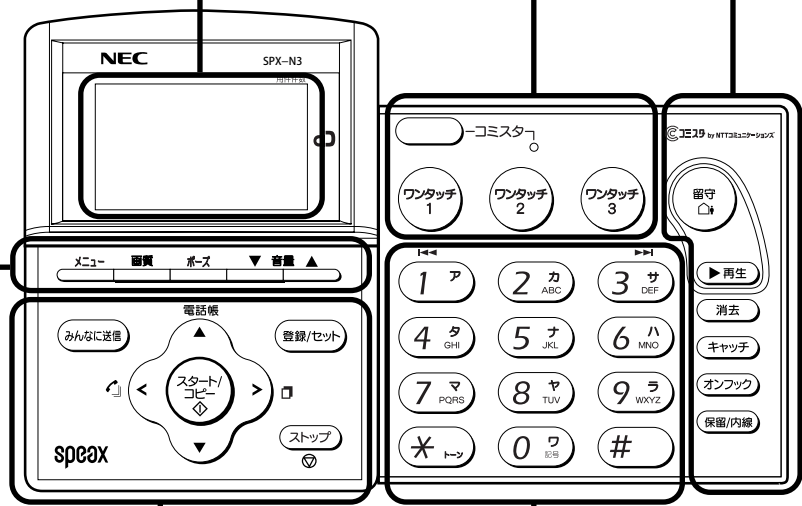
保留/内線 …子機との内線通話や、電話を保留するときに使います。

ディスプレイ表示について➡p11

メニュー …各種設定や登録のときに使います。

画質 …画質モードを設定するときに使います。

ポーズ …ポーズを入力するときに使います。

▼ 音量 ▲ …各種音量を調整するときに使います。

みんなに送信 …同じ原稿を複数の相手先へ一度に送るときに使います。

…電話帳に登録されている相手先を選ぶときや、カーソルを左右に移動させるときに使います。また、電話をかけた相手にもう一度かける（リダイヤル）ときや、かかってきた相手の電話番号を表示させたりする（ナンバー・ディスプレイ契約時）ときに使います。

…ファクスの送受信や、コピーなどに使います。

登録/セット …電話帳の登録や、各種設定のときに使います。

ストップ …送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使います。
セットした原稿を排出するときに使います。

1 ア　2 カ ABC　・・　0 ワ 記号　#

…ダイヤルボタン
ダイヤルするときや文字入力などに使います。

1 ア …再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使います。

3 サ DEF …再生中の次の用件を聞くときに使います。

＊ トーン …ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

子機のボタンの名称と使いかた

＜前面＞

ディスプレイ表示について ➔ p11

受話口

1ア 2カ ・・・・・ 0ワ #
… ダイヤルボタン
ダイヤルするときや、文字入力などに使います。

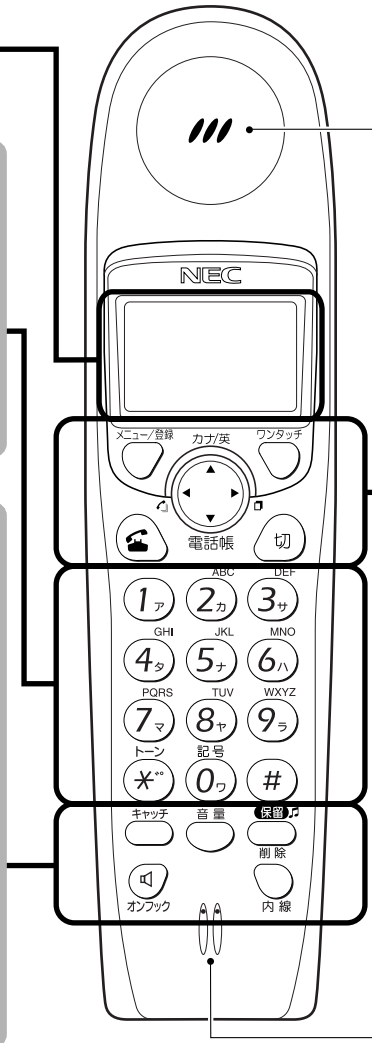
トーン ＊
… ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

キャッチ
‥ キャッチホンを受けるときに使います。
簡易子機間通話の送受話の切り替えに使います（子機が2台以上ある場合のみ）。

音量
‥ 各種音量を調整するときに使います。

保留 削除
‥ 電話番号や文字の入力を間違えたときに使います。
電話を保留するときに使います。

オンフック
… 子機を置いたまま電話をかけるときなどに使います。

内線
… 内線通話のときに使います。

メニュー/登録
… 各種の設定や登録のときに使います。

… 電話をかけた相手にもう一度かけるとき（リダイヤル）やカーソル移動に使います。

… 電話帳を使って電話をかけるときなどに使います。

… かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるとき（ナンバー・ディスプレイ契約時）やカーソル移動に使います。

ワンタッチ
… よく電話をかける相手を登録して、ワンタッチで電話をかけるときに使います。

… ［通話］ボタン
電話をかけるときや受けるときに使います。

切
… 通話を切るときに使います。

送話口

待機中の状態について

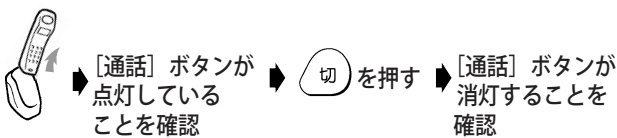
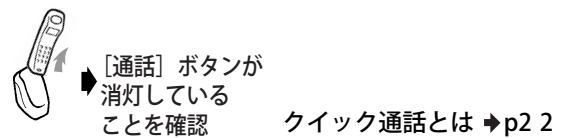
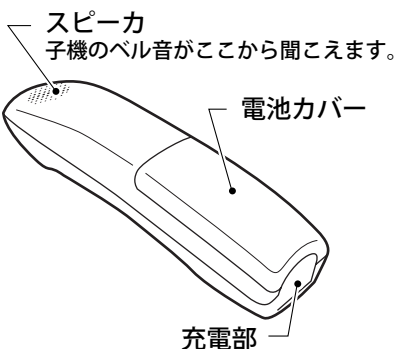
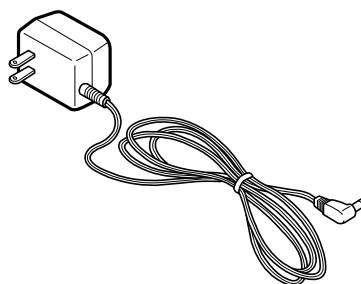
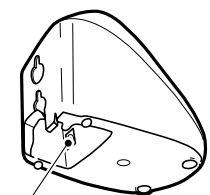
子機を充電器から取り上げたあと、以下の操作をして［通話］ボタンが消灯している状態を「待機中」といいます。

＜クイック通話ONのとき＞

➧［通話］ボタンが点灯していることを確認 ➧ 切 を押す ➧［通話］ボタンが消灯することを確認

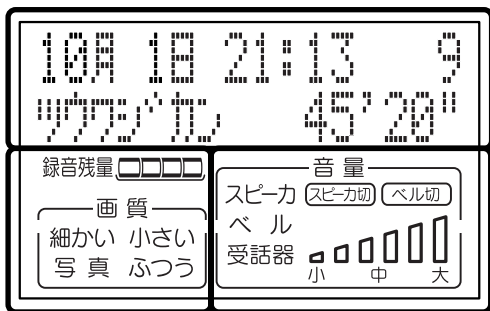
＜クイック通話OFFのとき＞

➧［通話］ボタンが消灯していることを確認

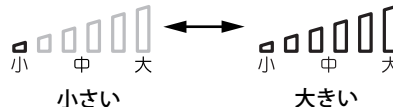
クイック通話とは ➔ p2 2

子機の背面と子機充電器と子機充電器用ACアダプタ

＜背面＞ ＜子機充電器用ACアダプタ＞ ＜子機充電器＞

ディスプレイ表示について

本文中にあるディスプレイ画面は、操作上必要と思われるものだけを表記しています。絵表示（ピクト）や各操作間の画面については省略されていますので、ご了承ください。

＜親機＞

ピクトは全点灯時を表しています。

16桁×2行で文字を表示します。何も操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示されています。

音量表示

小さい　大きい

- スピーカ … 留守録の再生音量などのスピーカ音量を示します。
- ベル … ベル音量を示します。
- 受話器 … 通話時の受話音量を示します。
- スピーカ切 … スピーカから音が出ないようにしているときに表示されます。
- ベル切 … 呼出音が鳴らないようにしているときに表示されます。

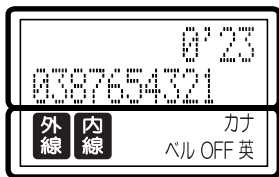
録音残量表示

- 録音残量 □□□□ … 録音時間の残り時間を示しています。
- 録音残量 □□□□（点滅）… 用件が30件または残りの録音時間が20秒以内となり、録音できないことを示しています。
- 画質 細かい 小さい 写真 ふつう … FAX送信時やコピー時の、原稿の読み取り画質を表示します。

- バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
- バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。
- バックライトは10色で点灯します。着信時に、かけてきた相手によって色分けして点灯したり（ナンバー・ディスプレイ契約時）、通話中に経過時間を色分けして点灯したりします。

バックライト色と通話経過時間について ➔ p24

＜子機＞

ピクトは全点灯時を表しています。

12桁×2行で文字を表示します。何も操作していないときは、内線番号が表示されています。

- 外線 … 外線で通話中に表示されます。
- 内線 … 内線で通話中に表示されます。
- カナ／英 … 電話帳に文字を入力するとき“英”または“カナ”のいずれかが表示されます。
- ベル OFF … 呼出音が鳴らないようにしているときに表示されます。

通話時間表示について

電話中は、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される通話時間はあくまでもめやすとしてご利用ください。

	表示	説明
親機	ﾂｳﾜｼﾞｶﾝ 0'05"	ダイヤル後、約10秒経つと表示され、相手が出ると再度0秒から表示し直されます。
子機	0'05	［通話］ボタンを押すと通話時間表示が始まり、相手が出てからも続けて表示されます。また相手が出なくても表示されます。

- 受話器や子機を戻したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
- 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示し直されます。

記録紙について

推奨紙

・普通紙
　型名　　　　　：FUJIFILM　熱転写用紙
　　　　　　　　　ファクス用普通紙
　　　　　　　　　FAX　A4×100
　サイズ・数量：A4・100枚

・感熱紙
　型名　　　　　：FUJIFILM　Economy
　　　　　　　　　リボン不要のワープロ用感熱紙
　　　　　　　　　EC　A4×100 C
　サイズ・数量：A4・100枚

推奨紙以外の記録紙をお使いになる場合、A4サイズ、紙厚0.07～0.09mmで表面にオーバーコートなどの処理をしていない普通紙をお使いください。
この取扱説明書本頁の紙の厚さは約0.08mmです。

・表面がオーバーコートされた普通紙や厚い記録紙は、使わないでください。記録紙給紙不良の原因となります。
・しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度プリントした紙の裏面などは使用しないでください。記録紙給紙不良や紙づまりの原因となります。
・表面に光沢のある紙やOHPフィルムは使用できません。
・記録紙は、セットした分を使い切ってから補充してください。途中で追加すると、記録紙給紙不良、紙づまりの原因となります。
・記録紙の品質はメーカーにより異なります。記録紙の品質によって画像の品位が変わる場合があります。記録紙を大量に購入される前に、一度テストプリントすることをおすすめします。
・感熱紙を高温で湿度が高い場所で使用することは避けてください。記録紙給紙不良の原因となります。

“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示された ➔p80

記録紙の保管について

記録紙は記録紙カセットに長期間セットしたままにしたり、湿気を含むと品質が劣化して先端が波打った状態になります。
日光の当たる場所、湿気の多い場所、高温になる場所を避け、乾燥した冷暗所に保管してください。
・0℃～35℃で保管する
・結露した場合は、乾燥後に使用する

・品質が劣化した記録紙は使用しないでください。記録紙給紙不良の原因となります。

インクフィルムの保管について

カートリッジにセットする前のインクフィルムは、袋に入った状態で保管してください。カートリッジにセットしたインクフィルムは、カートリッジにセットしたまま乾いたビニール袋などに入れて保管してください。
どちらの場合も、以下のことに注意して保管してください。
・直射日光が当たらない場所に保管する
・0℃～35℃で保管する
・結露した場合は、乾燥後に使用する

作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。

作業前の確認

確認1.　設置スペース ➔p13
確認2.　電話コンセント ➔p13

組み立ての準備をする

・梱包用テープ類をはがす ➔p14
・記録紙を準備する ➔p14

親機を組み立てる

・記録紙カセットを取り付ける ➔p14
・原稿サポートを取り付ける ➔p14
・受話器を取り付ける ➔p15
・電話回線に接続する ➔p15
・電源に接続する ➔p15
・アンテナを立ててのばす ➔p16
・時刻をセットする ➔p16

子機を組み立てる

・電池パックを取り付ける ➔p18
・充電器を組み立てる ➔p18
・子機を充電する ➔p19

契約しているサービスを確認する

・ナンバー・ディスプレイ ➔p69
・キャッチホン ➔p76
・ダイヤルイン ➔p76

確認テストをする

・組み立ての確認をする ➔p20
・電話ができることを確認する ➔p20

目的に応じた設定

・自分の電話番号の登録 ➔p49
・自分の名前（発信元）の登録 ➔p50

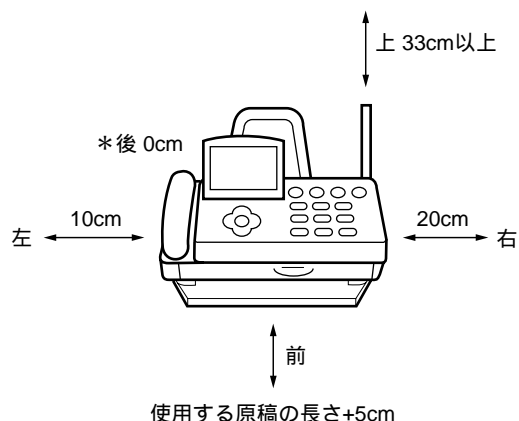
作業完了

本機を自由にご活用ください。

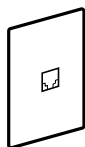
確認1　設置スペース

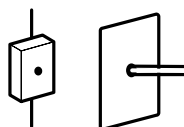
**親機を置く場所には充分なスペースがありますか?
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、
必要なスペースを確保してください。**

- 親機は壁に掛けての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ルータ、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
  - テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - 自動車、オートバイ、ネオンサインなど

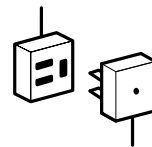
＊親機は後背面を壁につけて使用することができます。ただし、記録紙送り用ローラを清掃する場合や、つまった記録紙を取り除く場合など、リアカバーを開ける際には、充分なスペースがある場所に移動してください。

確認2　電話コンセント

**電話コンセントは、どのタイプですか?
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。**

モジュラ式

そのまま接続できます。
カチッと鳴るまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）

このままでは親機を接続できません。
NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにご相談ください。

- 接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

3ピンプラグ式

このままでは親機を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

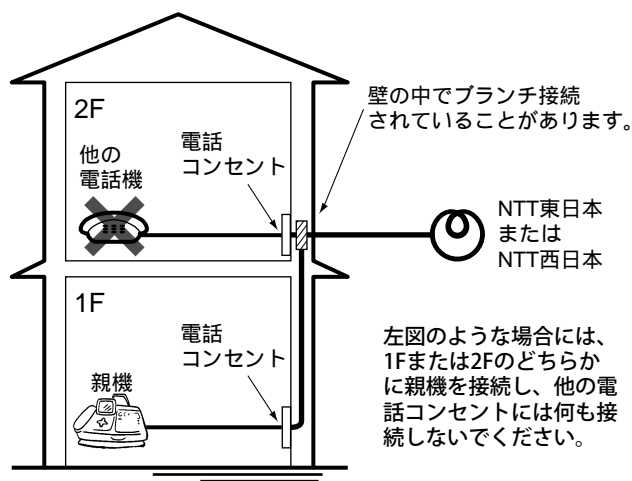
INSネット64を利用している ➜p79

パソコンやモデムと接続したい ➜p79

- 他の電話機と親機をブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（右図）。NTT東日本またはNTT西日本に確認してください。

  ブランチ接続をすると、こんなことが起こります。

  - 電話がかかってきたとき、ブランチ接続されている電話機の呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。
  - ファクスを送受信しているときに、ブランチ接続されている電話機の受話器を上げると、ファクスの画像に異常が起きます。
  - 相手がファクスを送信したとき、ファクスが受信できないことがあります。
  - ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイ、コミスタが利用できません。

ブランチ接続（並列接続）

左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに親機を接続し、他の電話コンセントには何も接続しないでください。

組み立ての準備をする

組み立ては平らで滑りやすい台などの上で行ってください。

梱包用テープ類をはがす

本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

感熱紙を使用する場合には、インクフィルムカートリッジを取り外してから、記録紙を準備する（➔下記）に進んでください。

感熱紙を使用する場合は ➔p85

記録紙を準備する

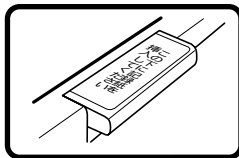
- 必ず推奨の記録紙をお使いください。
  記録紙について ➔p12
- 感熱紙を使用のときはフィルムカートリッジを取り外して使用してください。
  インクフィルムカートリッジを取り外す ➔p83
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。

1 記録紙をさばく

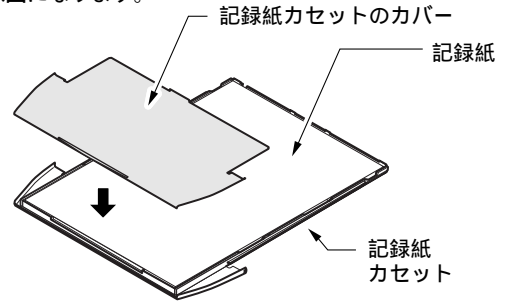
- 記録紙をさばかずにセットすると、1度に複数枚の記録紙が送られることがあります。

2 記録紙を入れる

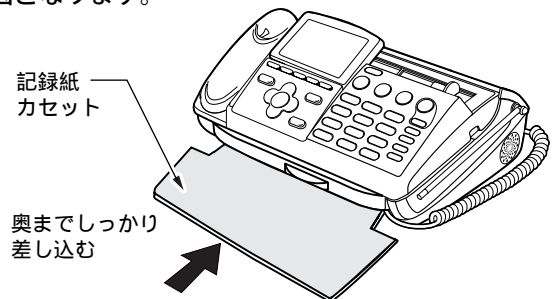
感熱紙は印刷する面を「下向き」にセットしてください。

- セットできる枚数は普通紙、感熱紙とも、30枚までです。
- 普通紙と感熱紙を混ぜてセットしないでください。
- 感熱紙を使用する際に裏表を間違えてセットすると、白紙でプリントされます。また、この場合メモリにも残りません。
- 記録紙がカールして記録紙カセットの壁より高く浮き上がるときは、枚数を減らすか、カールを取り除いてください。記録紙づまりの原因となります。

- **セットできる記録紙は30枚までです。**
- **セット後、記録紙がツメの下を前後にスムーズに動くことを確認してください。動かないときはセット枚数を減らしてください。記録紙づまりの原因となります。**

3 記録紙カセットのカバーを合わせて置く

必ず取り付けてください。取り付けないと、記録紙づまりの原因になります。

親機を組み立てる

記録紙カセットを取り付ける

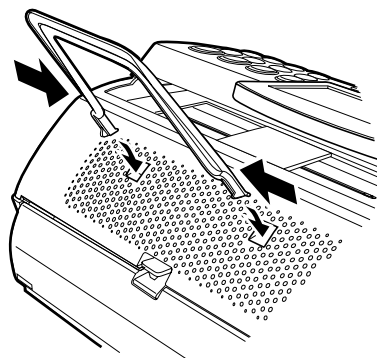
ハンドスキャナのコードをはさまないように注意して、床に滑らせながら本機にしっかり奥まで差し込んでください。差し込みかたが不十分な場合、記録紙づまりの原因となります。

記録紙がなくなったら

記録紙がなくなると、ディスプレイに“フツウシヲ　イレテクダサイ”または“カンネツシヲ　イレテクダサイ”と表示されます。そのときは、記録紙を補充してください。

記録紙について ➔p12

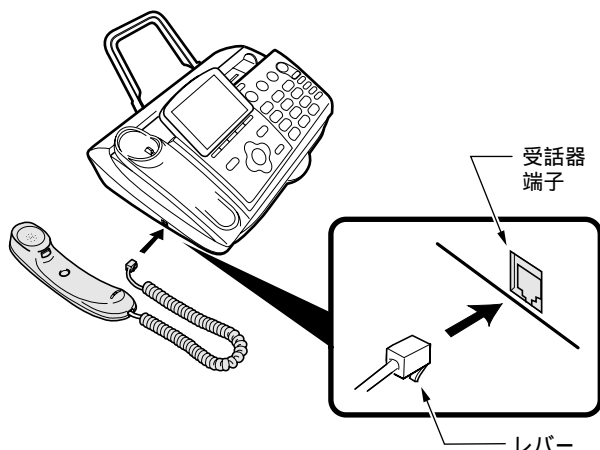
感熱紙を使いたい ➔p57

原稿サポートを取り付ける

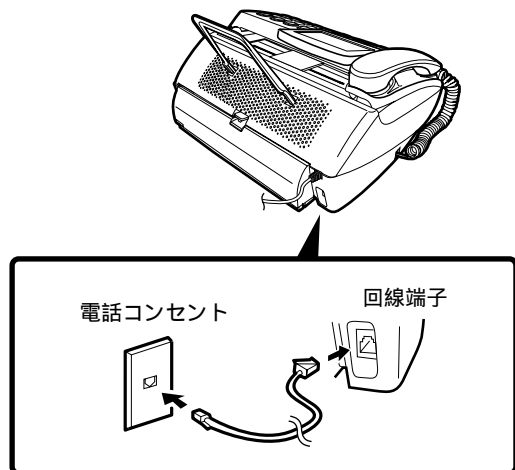
原稿サポートを親機の溝に合わせて取り付けます。

原稿サポートを外したい

原稿サポートの片側を軽く指で内側に押しながら外してください。

受話器を取り付ける

受話器端子に受話器用コードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

受話器用コードを抜きたい　レバーを押さえながら引き抜いてください。

電話回線に接続する

付属の電話回線接続コードの片方を親機背面に差し込み、もう片方を電話コンセントに差し込みます。

INSネット64を利用している

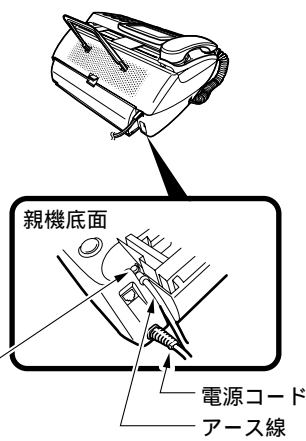
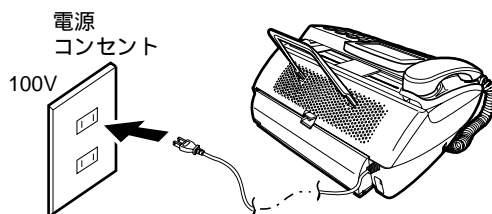
INSネット64を利用するには　➡79

電源に接続する

⚠注意

● 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は付属していませんので、ご用意ください。

アース接続は、親機を裏返して行います（その際、親機およびディスプレイに無理な力がかからないように布などを敷いてください）。プラスドライバとアース線を準備してください。

安全に正しくご使用いただくために➡p2

電源プラグをコンセントに差し込む

・電源を先に接続してから回線接続をせずに5分以上経過すると、デモモード（宣伝用自動表示）が始まります。その場合、電話回線に接続するとデモモードは終了します。

電話回線に接続する ➡本ページ左側

回線種別の設定

電源プラグをコンセントに差し込むと、ディスプレイに“シバラクオマチクダサイ”と表示されます。続いて、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。終了すると時刻設定画面を表示します。

“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示された

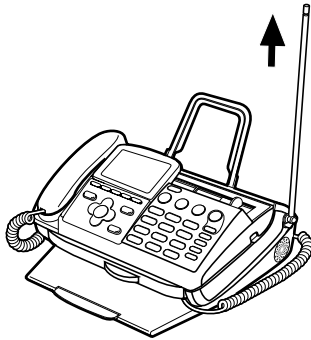
手動で回線種別の設定を行ってください。ISDNターミナルアダプタに本機を接続している場合など、回線によって自動設定できないことがあります。

回線種別の自動／手動設定 ➡p49

“ハンドスキャナ　サイセット”と表示された

ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。

アンテナを立ててのばす

親機のアンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。

時刻をセットする

回線種別の自動設定が終わると、ディスプレイに“ジコクセッテイ　シマス　セット　ヲ　オシテ　クダサイ”と表示されます。
続いて、現在の時刻をセットしてください。

・記録紙が入っていないと“フツウシヲ　イレテクダサイ”と表示され、時刻セットの表示はされません。記録紙を入れてください。

1 登録/セットを押す

'01　1/ 1　0:00
カンリョウ ハ セット ヲ オス

この下線（カーソル）位置の文字を修正できます。

2 年月日・時刻を入力する

- 年　：西暦の下2桁
- 月日：1～9は01～09と入力
- 時刻：24時間制 0～9は00～09と入力

'01　10/01　13:30
カンリョウ ハ セット ヲ オス

この例では「0110011330」と入力します。

入力を間違えた　［<］または［>］を押し、間違えた文字の下にカーソルを移動させて、入力し直してください。

3 登録/セットを押す

カンリョウ

コミスタについて

- 本機には、コミスタ（コミスタ）が搭載されています。
- 回線と電源の接続（➔p15）を行うだけで、約3 0分後に自動でコミスタの登録動作が始まり、ご利用が可能となります。
- 市外（県外）電話をかけると、通話料金のおトクなNTTコミュニケーションズの回線を本機が自動的に選択してくれる機能です。
- 登録料金はかかりません。0033市外（県外）電話をご利用になった通話料金のみNTTコミュニケーションズ通話料金として、NTTの基本料金や通話料金といっしょにNTTから請求されます。
- ご利用を希望されない場合は、回線を接続してから30分以内に「コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）」（➔p62）の操作を行ってください。

もっと詳しく知りたい

コミスタを利用する ➔p61

コミスタについてのお問い合わせ

NTTコミュニケーションズ
コミスタサービスセンター

0120–083956　（無料）
携帯・PHS OK
※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

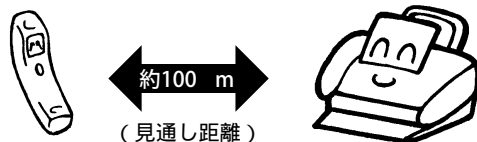
受付時間　午前9:00～午後9:00（年末年始は除く　）

コミスタについてのお問い合わせは ➔p6 1

子機を組み立てる

ここでは、子機の通話範囲や、使用するときのご注意、組み立てかたなどを説明しています。

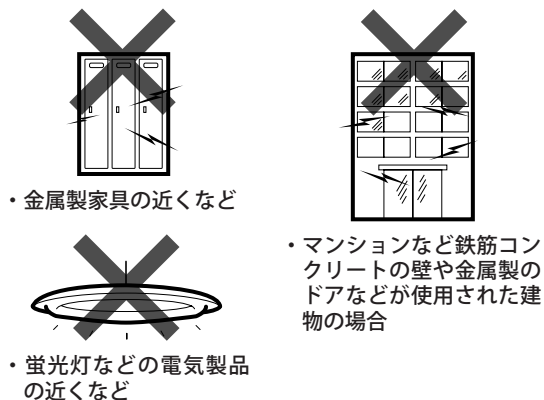
通話範囲について

- 子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できる範囲は親機と子機の間に障害物がない状態で、約100mです。

- 子機と子機で通話（簡易子機間通話：SPX–N3は子機増設時のみ）するときも、お互い親機と通話できる範囲でご使用ください（上記）。子機同士が近くても、どちらかが親機と通話できる範囲から外れると、子機同士の通話はできなくなります。
- 建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。
- 親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。
- 親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。

- 親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

・金属製家具の近くなど

・マンションなど鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

・蛍光灯などの電気製品の近くなど

子機使用上のご注意

- 子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機を使用するなど、注意してお使いください。
- 通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると、約5秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると電話が切れます。
- 通話中に「ピッピッピッ…」という音がしたときは、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると、約3分後に電話が切れます。
- 近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつながらない、通話の途中で切れたなどの場合は、いったん切ってもう一度かけ直してください。
- 車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ・ビジネスホン、モデム、パソコン、ターミナルアダプタ、ワープロ、ルータ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - ・携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
  - ・テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - ・自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。
- 自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」したときなど、雑音が入ることがあります。
- ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。本製品の子機には防水機能がありませんので故障の原因となります。

電池パックを取り付ける

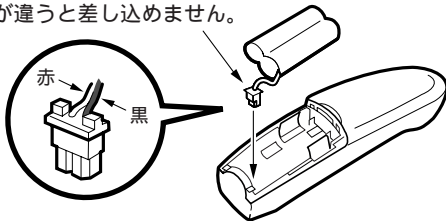
⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠注意

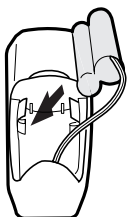
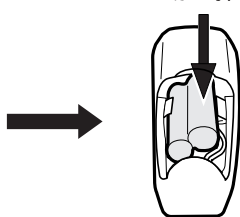
- 充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

1 電池パックのコネクタを差し込む

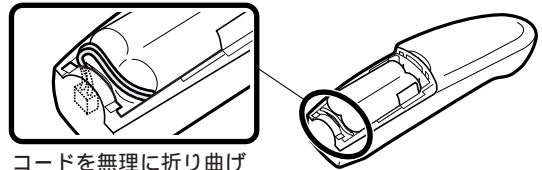
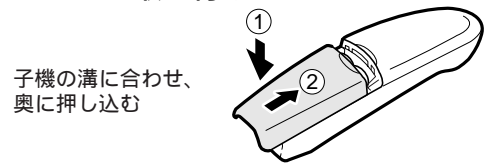
コネクタの向きが違うと差し込めません。

⚠注意

- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因になります。

2 電池パックを取り付ける

電池パックを斜めに差し込む

上から押す

⚠注意

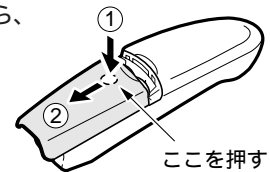
- 電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。

3 コードを収納する

4 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせ、奥に押し込む

⚠注意

- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。

電池カバーを外したい

電池カバーを下に押しながら、手前に引くと外れます。

充電器を組み立てる

- テレビやステレオなどと同じコンセントに子機充電器用ACアダプタをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別のコンセントにつないでください。近くにコンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

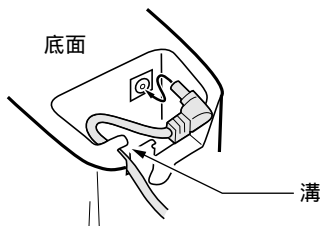
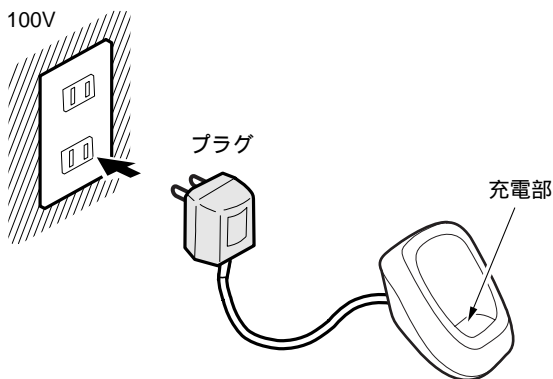
⚠危険

- 付属の充電器および子機充電器用ACアダプタ（AD910A）以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

⚠注意

- コードを収納する際は、無理に折り曲げないでください。コードが傷つき、断線・故障の原因となります。
- ぬれた手で子機充電器用ACアダプタを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。
- 子機充電器用ACアダプタ、充電器および子機をぬらしたり、水を入れたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

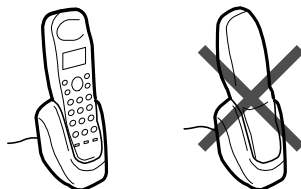
1 充電器にACアダプタを接続する

コードは溝に入れてください。

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

子機を充電する

お買い上げのとき：充電されていません

子機を使わないときは、できるだけ充電器に戻しておいてください。

1 ボタン面が前になるように置く

裏返しに置くと、正しく充電されません。

2 ［通話］ボタンと［切］ボタンが赤く点灯し、充電が始まる

充電時間について

初めてご使用のときは、9時間以上充電することをおすすめします。十分に充電されていないと、子機を使おうとしたときに「ピーッ、ピピッ」という音がして電話が切れます。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。

子機の使用可能時間（フル充電時）

・連続通話時：　約7時間
・連続待受時：約180時間

［通話］ボタンと［切］ボタンがずっと赤く点灯している

充電が完了しても、充電器に置いている間は赤く点灯しています。過充電になることはありません。

⚠警告

● 充電器の充電部に、金属物をのせないでください。発熱・やけどの原因となります。

子機を長時間使わない、または充電できないときは

旅行や引越しなどで、子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。子機充電器用ACアダプタをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなる

電池パックの寿命かもしれません（通常の使用で約2年）。
電池パックを交換する➔p86

子機を増設したい ➔p86

契約しているサービスを確認する

NTTサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。

□ にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

■ NTTサービスの契約をしていますか？

・**ナンバー・ディスプレイ** ························ □

設定が必要です。

ナンバー・ディスプレイの設定➔p70

・**キャッチホン** ································· □

キャッチホンを利用する➔p76

・**ダイヤルイン** ································· □

設定が必要です。

ダイヤルインの登録➔p78

確認テストをする

組み立て、接続が正しくできたか、確認のための動作テストを行います。

組み立ての確認をする

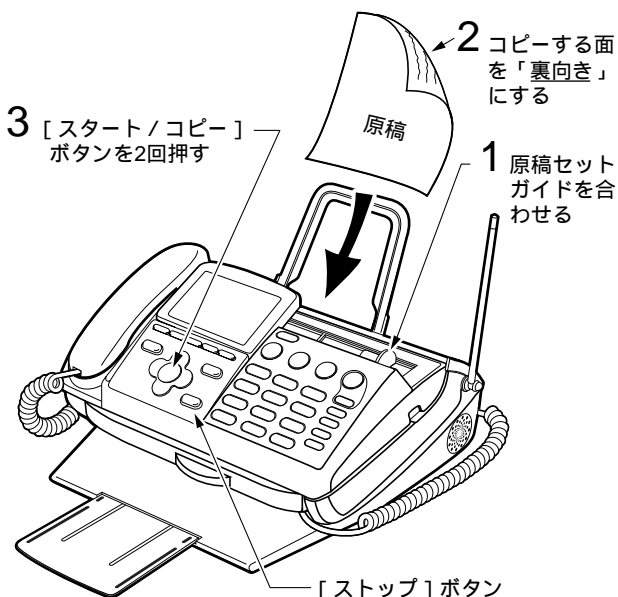
組み立てが正しくできたことを確認するため、コピーを取ってみましょう。

- 感熱紙を使用する場合は、記録紙モードの設定を行ってください。記録紙モードの設定 ➜p57
- ディスプレイの表示が見えにくいときは、ディスプレイの角度を変えてください。

1 原稿セットガイドを原稿の幅に合わせる

2 コピーする面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

原稿が約3cm引き込まれます。

3 を2回押す

コピーが終わると 「ピー」という音がして、コピーした記録紙が出てきます。

コピーを途中で止めたい ［ストップ］ボタンを押してください。

白紙が出てきたとき

- 原稿の裏・表を、逆にセットしたことが考えられます。コピーする面を必ず「裏向き」にセットし、もう一度コピーしてみてください。
- 記録紙として感熱紙を使用する際に裏・表を逆にセットしたことが考えられます。印字面を「下向き」にセットし直してください。

紙がつまったとき

“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されたとき ➜ p82
“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示されたとき ➜ p80

電話ができることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

電話をかけられない

困ったときは ➜p90

電話をかけられるが、受けられない

ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

- **契約している場合……「利用する」（お買い上げのときのまま）**
- **契約していない場合…「利用しない」に変更が必要**
  ナンバー・ディスプレイの設定 ➜p70

ダイヤルインを契約している場合は、次のことを確認してください。

- ダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約し**ていない場合…………「利用しない」に変更が必要**
  ナンバー・ディスプレイの設定 ➜p70
- モデムダイヤルインを契約し、ナンバー・ディスプレイを**契約していない場合…「利用する」（お買い上げのときのまま）**

お買い上げ時の状態について

お買い上げ時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています。自動で受ける ➜p37

また、お買い上げ時の本機の設定状態については「機能設定／登録早見表」で示しています。
機能設定／登録早見表 ➜p10 2

操作を間違えたときは

- 親機の場合

ストップ ［ストップ］ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

- 子機の場合

切 充電器に戻すか［切］ボタンを押してください。

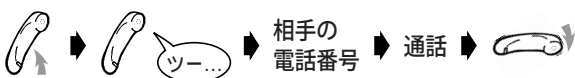
電話として使うには

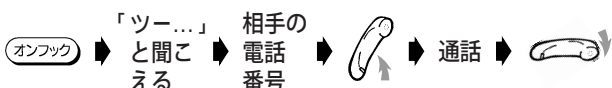
ここでは、電話のいろいろな使いかたを
説明しています。

電話をかける

・子機を使用中には、電話できません。ディスプレイに“ナイセン2　ショウチュウ”と表示されます。
・ファクス受信中やコピー中には、電話をかけられません。

■ 受話器を取ってかける

➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡

■ 受話器を置いたままかける

〈オンフックダイヤル〉

番号を押し間違えたら ［オンフック］ボタンを押し、最初からやり直してください。

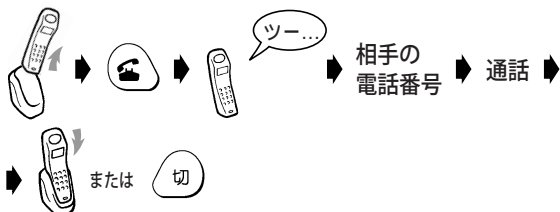
■ 番号を確認してからかける

受話器を置いたまま ➡ 相手の電話番号 ➡ ディスプレイで確認 ➡ ➡

➡ 通話 ➡

番号を押し間違えたら ［消去］ボタンまたは［ストップ］ボタンを押し、最初からやり直してください。

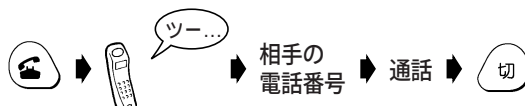
・親機を使用中には、電話できません。電話をかけようとすると「ピーピーピー」と音が鳴ります。
・通話中に親機の［スタート／コピー ］ボタンを押すと、通話は切れます。

■ 充電器に置いてあるとき

番号を押し間違えたら ［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音を確認してから相手の電話番号をダイヤルしてください。

「ツー…」と聞こえないとき ［通話］ボタンを押してください。

■ 充電器に置いていないとき

［通話］ボタンの代わりに［オンフック］ボタンを押してもかけられます。

➡ 相手の電話番号 ➡ 通話 ➡ 切

番号を押し間違えたら ［切］ボタンを押し、最初からやり直してください。

■ 番号を確認してからかける

➡ 相手の電話番号 ➡ ディスプレイで確認 ➡ ➡ 通話 ➡

番号を押し間違えたら ［保留／削除］ボタンを押すごとに、1文字ずつ取り消すことができます。間違えた番号まで戻ってやり直してください。

充電器に置いていないとき そのまま相手の電話番号をダイヤルし、確認してから［通話］ボタンを押してください。

相手の声を大きくしたい

受話音量 ➡p33

［オンフック］ボタンの使いかた

・［オンフック］ボタンを押すと受話器または子機を持たずに電話がかけられます（オンフックダイヤル）。
・親機の場合、通話中に［オンフック］ボタンを押してから受話器を戻すと、通話が切れずにスピーカから相手の声が聞こえます。
・子機で通話中に［オンフック］ボタンを押して、スピーカから相手の声を聞いたあと再度相手と話をしたいときは、もう一度［オンフック］ボタンを押してから通話をしてください。
・オンフック中は、こちらの声は相手に聞こえません。

クイック通話とは

お買い上げのとき：OFF

クイック通話がONのとき

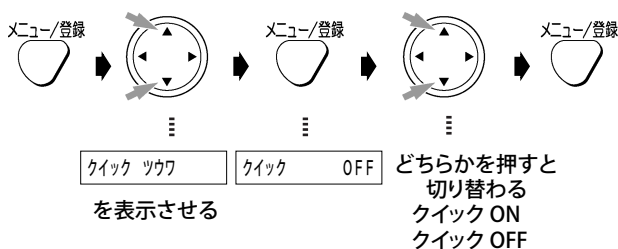
電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機を取ると［通話］ボタンまたは［内線］ボタンを押さずに相手と話ができます。

クイック通話がOFFのとき

電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は［通話］ボタン、内線の場合は［内線］ボタンを押して、相手と話すことができます。

■ クイック通話のON/OFFの切り替えかた

を表示させる

どちらかを押すと切り替わる
クイック ON
クイック OFF

・クイック通話がONのときに、充電器から子機を取ったあと何もしないで約25秒経つと、待機中に戻ります。

同じ相手にもう一度かける

リダイヤル

以前かけた相手に簡単にかけ直すことができます。

・最大10件まで記憶できます。
・以前かけた相手には、ファクスを送った相手や、話中で通話できなかった相手も含まれます。
・子機で電話をかけた相手に、親機でかけ直すことはできません。
・リダイヤルできる桁数は40桁までです。
・受話器を取ったあと、または［オンフック］ボタンを押したあと［リダイヤル］ボタンを押したときは、最後に電話をかけた相手に自動的にリダイヤルします。
・［▲］または［▼］を押し続けると早送りされます。

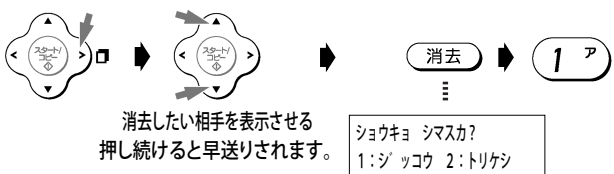
かけたい相手を表示させる

ファクスを送信したい

原稿をセットしてから、送信したい相手を表示させ、［スタート／コピー］ボタンを押してください。

■ 以前かけた電話番号を消したい

記憶した相手先を1件ずつ消去することができます。

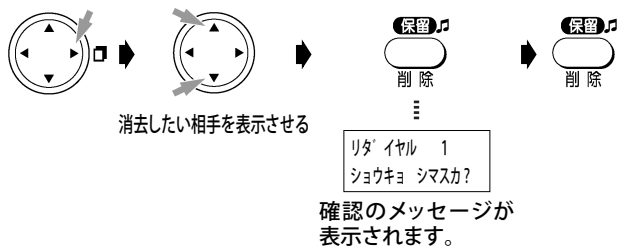
消去したい相手を表示させる
押し続けると早送りされます。

途中で操作をやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

・最大10件まで記憶できます。
・親機で電話をかけたり、ファクスを送ったりした相手に、子機でかけ直すことはできません。
・リダイヤルできる桁数は32桁までです。
・［▲］または［▼］を押し続けると早送りされます。

かけたい相手を表示させる

■ 以前にかけた電話番号を消したい

消去したい相手を表示させる

確認のメッセージが表示されます。

全件消したいとき 確認のメッセージを表示中に［▼］を押し、“ゼン リダイヤル ショウキョ シマスカ?”が表示されたら［保留／削除］ボタンを押してください。

途中で操作をやめたいとき 確認のメッセージを表示中に［▲］を押し、“チュウシ シマスカ?”が表示されたら［メニュー／登録］ボタンを押してください。

電話を受ける

・子機のベルは、親機より少し遅れて鳴ります。
・電話がかかってくると［通話］ボタンが点滅します。
・［切］ボタンを押すと、一時的にベルを止めることができます。
・通話中に親機の［スタート／コピー］ボタンを押すと、通話は切れます。

■ 充電器に置いてあるとき

■ 充電器に置いていないとき

ベルが鳴る ➡ ☎ ➡ 通話 ➡ 切

相手の声を大きくしたい

受話音量 ➡p33

ベルの音量を変えたい

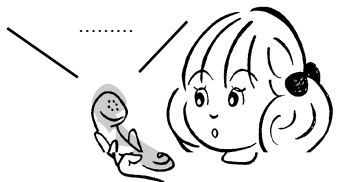
ベル音量➔p33

ベルの音を変えたい

着信時の、ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すこともできます。
ベルの音色／メロディを変える➔p53

ポーポーという音が聞こえたら

・「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れたら、受話器を戻してください。
子機の場合は［切］ボタンを押す、または充電器に戻してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、メッセージが流れません。このときは、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら

・ファクスかも知れません。親機の［スタート／コピー］ボタンを押してみてください。
子機の場合は［内線］ボタンを押してから［6］を押してください。

保留する

通話の途中で相手を待たせるときに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

・10分以上保留にしたままでいると電話は切れます。
・内線通話の保留はできません。

通話中 ➡ 保留/内線 ➡ 保留 ➡ もう一度話すとき ➡ 保留/内線

保留中に受話器を戻すと 電話は切れません。受話器を取ると保留が解除され、話ができます。

保留のあと子機で話をするとき

親機で保留したあと、受話器を戻して子機を取り［通話］ボタンを押すと、子機で話ができます。

通話中 ➡ 保留♫ 削除 ➡ 保留 ➡ もう一度話すとき ➡ 保留♫ 削除

保留中に充電器に戻すと 電話は切れません。クイック通話がONのときは充電器から取ると保留が解除され、クイック通話がOFFのときは充電器から取り［通話］ボタンを押すと保留が解除され、話ができます。

保留のあと親機で話をするとき

子機で保留したあと、充電器に戻して親機の受話器を取ると、親機で話ができます。

保留中のメロディを変えたい

保留メロディは、「聖者の行進」または「茶色の小瓶」のうち、いずれかを選べます。保留メロディを変える➔p52

転送する

かかってきた電話を親機から子機に、または子機から親機に転送することができます。

内線番号について

親機や子機には、内線番号が割り当てられています。
・内線1：親機
・内線2：付属子機1台目
・内線3：増設子機1台目（N3Wの場合は付属子機2台目）
・内線4：増設子機2台目（N3Wの場合は増設子機1台目）
・内線5：増設子機3台目（N3Wの場合は増設子機2台目）
（増設子機は別売です）
親機、子機すべてを呼び出すには、内線番号の代わりに［＊］を押します。

親機から子機に転送する

親機	子機
1 外線と通話中	
2 保留/内線を押す 外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。	
3 2 カ ABC を押す 子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します。 内線番号について➔上記	➔ ベルが鳴る
4 子機と通話 用件を伝えます。	⇔ 親機と通話
5 受話器を戻す	➔ 外線と通話

子機が出ない

［保留／内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

子機に切り替えたい（1人で転送したい）

手順2で［保留／内線］ボタンを押し、受話器を戻してから子機を取り［通話］ボタンを押すと、子機で外線と通話ができます。

子機から親機に転送する

1 外線と通話中

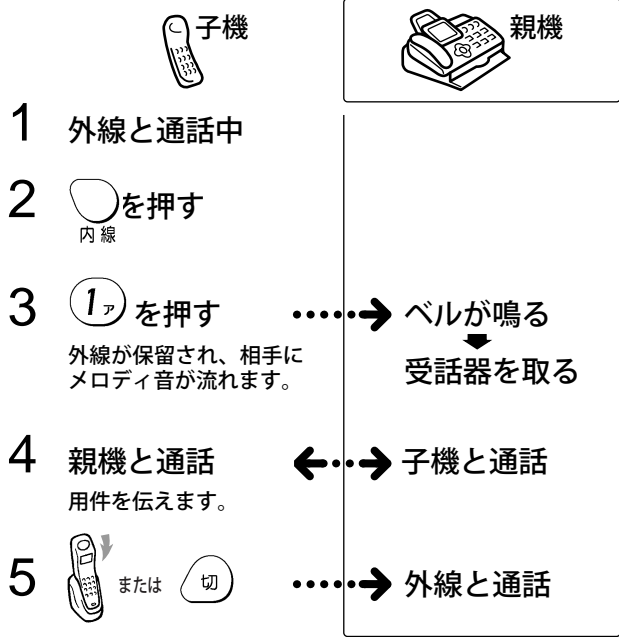
2 [内線]を押す

3 [1ア]を押す ……→ ベルが鳴る ↓ 受話器を取る

外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。

4 親機と通話 ←…→ 子機と通話

用件を伝えます。

5 または [切] ……→ 外線と通話

親機が出ない

［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

親機に切り替える（1人で転送したい）

手順2で［保留／削除］ボタンを押し、子機を充電器に戻すか［切］ボタンを押したあと、親機の受話器を取ると、親機で外線と通話ができます。

子機から子機に転送する

子機を2台以上お使いの場合、子機と子機でトランシーバー方式の会話をすることができます。

- 相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- 送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が転送されます。

1 外線と通話中

2 [内線]を押す

3 該当する子機の内線番号を押す ……→ ベルが鳴る

例：［3］を押す
内線番号について ➡ p23

外線が保留され、相手にメロディ音が流れます。

送話側

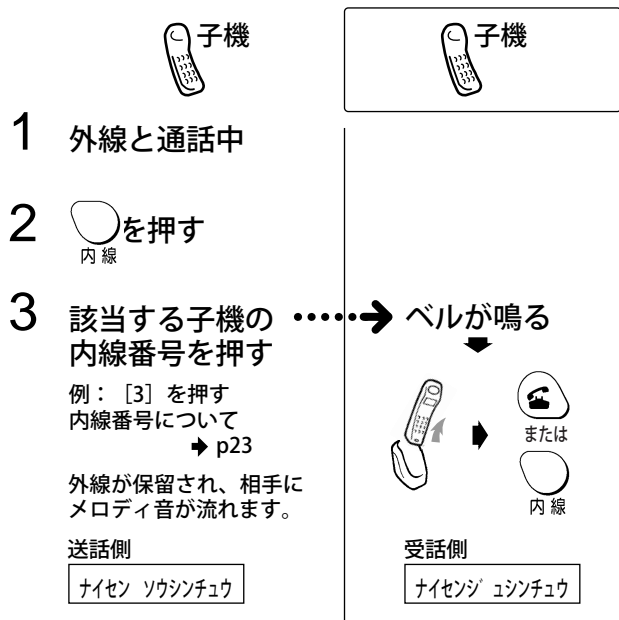
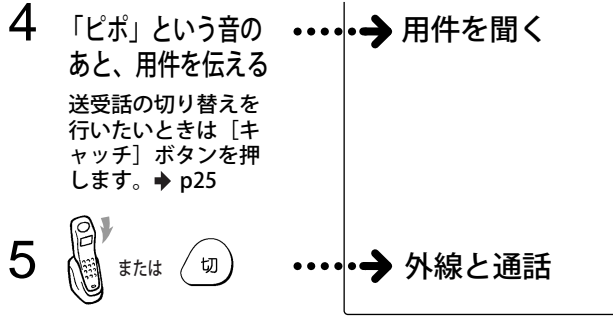
ナイセン ソウシンチュウ

受話側

ナイセンジ ュシンチュウ

4 「ピポ」という音のあと、用件を伝える ……→ 用件を聞く

送受話の切り替えを行いたいときは［キャッチ］ボタンを押します。➡ p25

5 または [切] ……→ 外線と通話

子機が出ない

［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻れます。

バックライト色と通話経過時間について

親機または子機で通話中に、親機のディスプレイのバックライト色が3分ごとに変化して、通話の経過時間をお知らせします。

バックライト色
- ライトブルー
- グリーン
- オレンジ
- ブルー
- レッド
- ライムグリーン
- ピンク
- アクアマリン
- ピーチ
- バイオレット

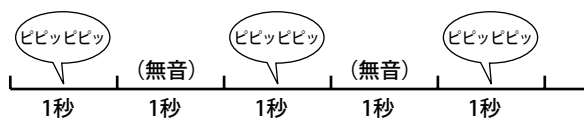
※通話経過時間が30分を超えた場合、またライトブルーに戻って3分おきに色が変わっていきます。

親機と子機で通話する

内線通話

親機と子機で通話をすることができます。

- 内線通話は保留できません。
- どちらかが外線で通話中のときは、内線通話はできません。
- 内線の呼出中や、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。外線に出るときは、親機はいったん受話器を戻し再度取ってください。子機は［通話］ボタンを押すと外線に出ることができます。
- 三者通話はできません。
- 親機と子機の両方をオンフックにすると、内線通話ができません。

内線呼出音の鳴りかた

親機から子機にかける

1 [保留/内線] を押す

2 [2 カ ABC] を押す ······→ ベルが鳴る

子機が2台以上ある場合は、該当する内線番号を押します。
内線番号について
➜ p23

3 受話器を取って子機と通話 ←··→ 親機と通話

4 受話器を戻す

子機から親機にかける

1 待機中
➜ p10

2 [内線] を押す

3 [1 ア] を押す ······→ ベルが鳴る

受話器を取る

4 親機と通話 ←··→ 子機と通話

5

受話器を戻す

子機と子機で通話する

簡易子機間通話：トランシーバー方式

子機を2台以上お使いの場合、子機と子機でトランシーバー方式の会話をすることができます。

- 簡易子機間通話は保留できません。
- 親機または子機で外線通話中のときは、簡易子機間通話はできません。
- 内線の呼び出しや、内線通話中に外線がかかってくると、内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。
- 三者通話はできません。
- 相手と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話と受話が切り替わります。
- 送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話が自動で終了します。

1 待機中
➜ p10

2 [内線] を押す

3 該当する子機の内線番号を押す ······→ ベルが鳴る

例：［3］を押す
内線番号について
➜ p23

または
内 線

送話側
ナイセン ソウシンチュウ

受話側
ナイセンジュシンチュウ

4 「ピポ」という音のあと、用件を伝える ······→ 用件を聞く

5 [キャッチ] を押す

送受話を切り替えます。

受話側
ナイセンジュシンチュウ

送話側
ナイセン ソウシンチュウ

6 用件を聞く ←······ 「ピポ」という音のあと、用件を伝える

以後、送受話を切り替えたいときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。

7 充電器に戻す

または

ワンタッチダイヤルで電話をかける

あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておくと、ボタンを押すだけで電話をかけたりファクスを送信することができます。
親機は3件、子機は1件の相手先を、それぞれ登録できます。　ワンタッチダイヤルに登録する ➧ 下記

かけたい相手が登録されているワンタッチダイヤルボタンを押す

アイテ：オトウサン TEL：09000001111

0′05 0123456789

ワンタッチダイヤルに登録する

よく電話したり、ファクスを送ったりする相手先の名前や電話番号をワンタッチダイヤルに登録して、かんたんに電話やファクス（親機のみ）ができます。親機の場合、登録したワンタッチダイヤルはらくらく電話帳に登録されます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

必ず市外局番から登録してください。また［＊］［#］［－］（ポーズ）は入力しないでください。➧p71

親機のワンタッチダイヤルに登録する

登録できる相手先は各ボタン1件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 ワンタッチ1 ••• ワンタッチ3 を押す

トウロクサレテイマセン

トウロク 1：スル　　2：シナイ

2 1ア を押す

トウロク：ナマエ？

電話番号だけ入力したい　手順4に進んでください。

3 相手の名前を入力する

文字入力一覧表 ➧本書の最終ページ

ナマエ：オトウサン

文字入力を間違えた　［<］または［>］で間違えた文字にカーソルを合わせ［消去］ボタンを押してください。

4 登録/セット を押す

ナマエ：オトウサン TEL：？

5 相手の電話番号を市外局番から入力する

ナマエ：オトウサン TEL：09000001111

途中で登録をやめたい　［ストップ］ボタンを押してください。

6 登録/セット を押す

オトウサン トウロク　シマシタ

親機のワンタッチダイヤルの登録内容を変更する

1 変更したいワンタッチダイヤルボタンを押す

アイテ：オトウサン TEL：09000001111

2 登録/セット を押す

1：ショウキョ 2：ヘンコウ

3 2カABC を押す

ナマエ：オトウサン TEL：09000001111

名前を変更しないとき　手順6に進んでください。

4 ＜ ＞ を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

ナマエ：オトウサン TEL：09000001111

5 名前を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録/セット を押す

ナマエ：オカアサン TEL：09000001111

電話番号を変更しないとき　手順9に進んでください。

7 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録/セット を押す

ﾍﾝｺｳ ｼﾏｼﾀ

登録内容を消去したい

手順3で［1］（ショウキョ）を押すと“1：ジッコウ 2：トリケシ”と表示されるので［1］を押してください。

子機のワンタッチダイヤルに登録する

登録できる相手先は1件です。相手先名は12文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 メニュー/登録 を押す

2 を押し、“ワンタッチダイヤル”を表示させる

ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙ

3 メニュー/登録 を押す

_ﾅﾏｴ?

電話番号だけ入力したい 手順5に進んでください。

4 相手の名前を入力する

ﾋﾛｼｸﾝ

文字入力一覧表 ➔本書の最終ページ

文字入力を間違えた ［保留／削除］ボタンを押し、入力し直してください。

5 メニュー/登録 を押す

ﾋﾛｼｸﾝ
_ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ?

6 相手の電話番号を市外局番から入力する

・12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。
・ポーズを入れるときは［キャッチ］ボタンを押してください。

7 メニュー/登録 を押す

ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ
0123456789
⋮
ﾋﾛｼｸﾝ
0123456789

登録内容を変更・削除したい

登録する手順と同じ手順で行います。手順3と手順5で、すでに登録されている相手の名前と電話番号が表示されるので、［保留／削除］ボタンを押し、それぞれ入力し直して手順を進めてください。
それぞれを空白にすれば、削除したことになります。

らくらく電話帳で電話をかける

あらかじめ電話帳に登録しておくと、かんたんに電話をかけることができます（親機の場合、ワンタッチダイヤルへの登録も含みます）。

らくらく電話帳に登録する ➔p28

［電話帳］ボタンの使いかた

親機 子機

・親機
［▲］［▼］…登録されている先頭の相手先が表示されます。
・子機
［▲］…登録されている末尾の相手先が表示されます。
［▼］…登録されている先頭の相手先が表示されます。
・親機・子機 共通
［▲］または［▼］を押すごとに相手先が切り替わります。
［▲］または［▼］を押し続けると早送りされます。

例：「イトウ」「カトウ」「キクオ」が登録されているとき

子機の［▼］または親機はここからスタート
子機の［▲］はここからスタート

「イトウ」⇄「カトウ」⇄「キクオ」 ([▼] forward, [▲] back)

電話帳の相手先名は50音順に表示されます

登録するとき相手先名の前に空白を入れたり、アルファベットや数字などを入力すると次の順で表示されます。
空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 相手先名のない電話番号

親機で

・子機に登録してある電話帳は使用できません。

■ 相手先を確認してからかける

➔ ディスプレイで確認 ➔ ➔ 通話

［電話帳］ボタンを押す前に受話器を取った

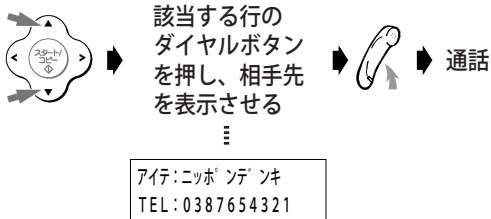
相手先を表示させたあと［スタート／コピー］ボタンを押すとかけられます。ただし［スタート／コピー］ボタンを押すまでに時間がかかると、電話をかけられない場合があります。受話器を置いたまま、先に相手先を表示させてからかけることをおすすめします。

■ 相手先を素早く探してかける

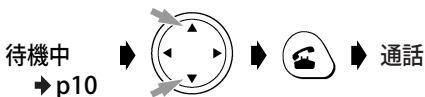
・ディスプレイに相手先が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が表示されます。
（例：［3（サ）］を押すと“サトウ”）
また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
（例：［3（サ）］を押すたびに“サトウ”“スズキ”…）
・相手先名が記号で始まる場合は［0］を押すと、“－”や“（”、“＊”などで始まる相手先名が表示されます。記号で始まる相手先を表示中には［▼］を押すと次の相手先が表示されます。

・該当する行に一人も登録されていないときは、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。

➧ 該当する行のダイヤルボタンを押し、相手先を表示させる ➧ ➧ 通話

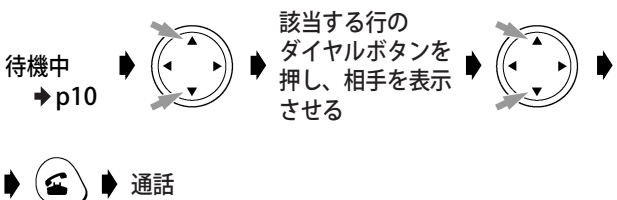
```
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0387654321
```

・親機に登録してある電話帳は子機の電話帳に転送しなければ、子機では使用できません。電話帳転送 ➧p31

■ 50音順で探してかける

待機中 ➧p10 ➧ ➧ ➧ 通話

■ 相手先を素早く探してかける

ダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられているカナの行の名前が、50音順に表示されます。
（例：［1（ア）］を押すと“アベ”）

待機中 ➧p10 ➧ ➧ 該当する行のダイヤルボタンを押し、相手先を表示させる ➧ ➧

➧ （通話ボタン） ➧ 通話

らくらく電話帳に登録する

よく電話したり、ファクスを送ったりする相手先の名前や電話番号を登録できます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

必ず市外局番から登録してください。また［＊］［＃］［－］（ポーズ）は入力しないでください。➧p71

親機に登録する

登録できる件数は197件までです。相手先名は1 2文字まで、電話番号は32桁まで登録できます。

1 （登録/セット）を押す

```
ﾄｳﾛｸ:ﾅﾏｴ?
```

電話番号だけ入力したい 手順3に進んでください。

2 相手の名前を入力する

```
ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
```

文字入力一覧表➧本書の最終ページ

文字入力を間違えた ［<］または［>］で間違えた文字にカーソルを合わせ［消去］ボタンを押してください。

3 （登録/セット）を押す

```
ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:?
```

4 相手の電話番号を市外局番から入力する

```
ﾅﾏｴ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0387654321
```

途中で登録をやめたい ［ストップ］ボタンを押してください。

5 （登録/セット）を押す

```
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
ﾄｳﾛｸ ｼﾏｼﾀ
```

続けて登録したい 手順2からくり返してください。

6 登録を終了するときは（ストップ）を押す

“デンワチョウ　フル”と表示された

相手先が197件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。
親機の電話帳の登録内容を消去する➧p2 9

登録した内容を確認したい

親機の電話帳の登録内容をプリントする➧p59

親機の電話帳を子機で使いたい

親機の電話帳を子機に転送する➧p31

親機の電話帳の登録内容を変更する

1 を押し、変更したい相手を表示させる

2 登録/セット を押す

1:ショウキョ
2:ヘンコウ

3 2カ ABC を押す

ナマエ:ニッポンデンキ
TEL:0387654321

名前を変更しないとき 手順6に進んでください。

4 を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

ナマエ:ニッポンデンキ
TEL:0387654321

5 名前を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録/セット を押す

ナマエ:NEC
TEL:0387654321

電話番号を変更しないとき 手順9に進んでください。

7 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す

［消去］ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録/セット を押す

ヘンコウ シマシタ

・ワンタッチダイヤルで登録した登録内容を変更／消去したときは、ワンタッチダイヤルの登録内容も変更／消去されます。

親機の電話帳の登録内容を消去する

1 を押し、消去したい相手を表示させる

2 登録/セット を押す

1:ショウキョ
2:ヘンコウ

3 1ア を押す

ニッポンデンキ
1:ジッコウ 2:トリケシ

4 1ア を押す

ショウキョ シマシタ

途中で消去をやめたい

手順4で［2］（トリケシ）を押し、［ストップ］ボタンを押してください。

子機に登録する

登録できる件数は80件までです。相手先名は12文字まで、電話番号は16桁まで登録できます。

・各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1 メニュー/登録 を押す

デンワチョウ トウロク
ノコリ 80ケン

2 メニュー/登録 を押す

_ナマエ?

3 相手の名前を入力する

ニッポンデンキ

文字入力一覧表 ➔本書の最終ページ

文字入力を間違えた ［保留／削除］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／削除］ボタンを2秒以上押し続けると表示されているすべての文字が消えます。

4 メニュー/登録 を押す

ニッポンデンキ
_デンワバンゴウ?

5 相手の電話番号を市外局番から入力する

・12桁を超えて入力したときはスクロール表示されます。
・ポーズを入れるときは［キャッチ］ボタンを押してください。

6 メニュー/登録 を押す

ニッポンデンキ
トウロク シマスカ?

7 メニュー/登録 を押す

トウロク シマシタ
ノコリ 79ケン

“トウロク　デキマセン”と表示された

相手先が80件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。

子機の電話帳の登録内容を個別に消去する➔p30
子機の電話帳の登録内容をすべて消去する➔p30

途中で登録をやめたい

手順6で［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー／登録］ボタンを押してください。

子機の電話帳の登録内容を変更する

1 を押し、変更したい相手を表示させる

```
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0387654321
```

2 メニュー/登録 を押す

```
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0387654321
```

名前を変更しないとき 手順5に進んでください。

3 または 押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

4 名前を入力し直す

［保留／削除］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。［保留／削除］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 メニュー/登録 を押す

```
NEC
0387654321
```

電話番号を変更しないとき 手順8に進んでください。

6 または 押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

7 番号を入力し直す

［保留／削除］ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。［保留／削除］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

8 メニュー/登録 を押す

```
NEC
ﾍﾝｺｳ ｼﾏｽｶ?
```

9 メニュー/登録 を押す

```
ﾍﾝｺｳ ｼﾏｼﾀ
ｹﾞﾝｻﾞｲ 10ｹﾝ
```

途中で変更をやめたい

手順8で［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー／登録］ボタンを押してください。

変更した登録内容を新規情報として登録したい

手順8で［▲］または［▼］を押し“トウロク　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー／登録］ボタンを押してください。

子機の電話帳の登録内容を個別に消去する

1 を押し、消去したい相手を表示させる

```
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0387654321
```

2 保留 削除 を押す

```
ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
```

3 保留 削除 を押す

```
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ
ｹﾞﾝｻﾞｲ 14ｹﾝ
```

途中で消去をやめたい

手順2で［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー／登録］ボタンを押してください。

子機の電話帳の登録内容をすべて消去する

1 メニュー/登録 を押す

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ
  ﾉｺﾘ 15ｹﾝ
```

2 を押し、“デンワチョウショウキョ”を表示させる

```
ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳｼｮｳｷｮ
ｹﾞﾝｻﾞｲ 65ｹﾝ
```

3 メニュー/登録 を押す

```
ｾﾞﾝ ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
```

4 メニュー/登録 を押す

```
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ
ｹﾞﾝｻﾞｲ 0ｹﾝ
```

途中で消去をやめたい

手順3で［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”を表示させたあと、［メニュー／登録］ボタンを押してください。

親機の電話帳を子機に転送する

電話帳転送

電話帳の転送のしかたには、次の2つがあります。
・電話帳の内容を一度に全部転送する〈一斉転送〉
・1件ずつ転送する〈個別転送〉
転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。

・子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
・子機の電話帳がすでに80件登録されていると、転送できません。また登録数が80件になった時点で転送は終了します。
・17桁以上の電話番号は、転送できません。
・転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
・転送中、相手の子機は使用できません。ディスプレイに“テンソウチュウ”と表示されます。

一度に転送する〈一斉転送〉

1 メニュー を押す　｜ キノウセンタク シテクダサイ

2 4 タ GHI を押す　｜ トウロク モード

3 登録/セット を押す　｜ オリジナルメロディ

4 メニュー を7回押す　｜ デンワチョウ テンソウ

5 登録/セット を押す　｜ イッセイ テンソウ

6 登録/セット を押す　｜ テンソウサキ ナイセン2

7 登録/セット を押す　｜ テンソウ ヲ カイシシマス / スタート ヲ オシテクダサイ

8 スタート/コピー を押す　｜ ナイセン2 / テンソウ チュウ 1/45 ⋮ セイジョウ シュウリョウ

「転送件数／登録件数」が数字で表示されます。

9 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

待機中に［▲］または［▼］を押すと、登録してある電話帳が表示されます。

“テンソウデキマセン”と表示されたとき

16桁以内の電話番号で、子機の電話帳が80件登録されていないか確認し、手順9のあと転送されなかった電話帳の内容を1件ずつ転送（個別転送）するか、再度一度に転送（一斉転送）し直してください。　個別転送 ➔本ページ右側

子機が2台以上あるとき

手順6のあと［<］または［>］を押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください。内線番号について ➔p23

1件ずつ転送する〈個別転送〉

1 メニュー を押す　｜ キノウセンタク シテクダサイ

2 4 タ GHI を押す　｜ トウロク モード

3 登録/セット を押す　｜ オリジナルメロディ

4 メニュー を7回押す　｜ デンワチョウ テンソウ

5 登録/セット を押す　｜ イッセイ テンソウ

6 [<][>] を押し、“コベツ　テンソウ”を表示させる　｜ コベツ テンソウ

7 登録/セット を押す　｜ テンソウサキ ナイセン2

8 登録/セット を押す　｜ アイテ:ニッポンデンキ / TEL:0387654321

9 [▲][▼] を押し、転送したい登録内容を表示させる

10 登録/セット を押す　｜ テンソウ ヲ カイシシマス / スタート ヲ オシテクダサイ

11 スタート/コピー を押す　｜ ナイセン2 / テンソウ チュウ ⋮ セイジョウ シュウリョウ ⋮ アイテ:ニッポンデンキ / TEL:0387654321

続けて転送したい　手順9からくり返してください。

12 終了するときは ストップ を押す

13 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

“テンソウデキマセン”と表示されたとき

登録内容が転送できないと、手順10で［登録／セット］ボタンを押したあと“テンソウデキマセン”と表示されます。16桁以内の電話番号で子機の電話帳が80件登録されていないかを確認し、手順9に戻って転送したい登録内容を表示し直してください。

子機が2台以上あるとき

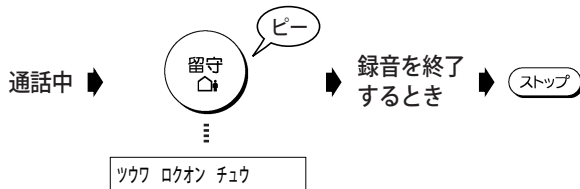
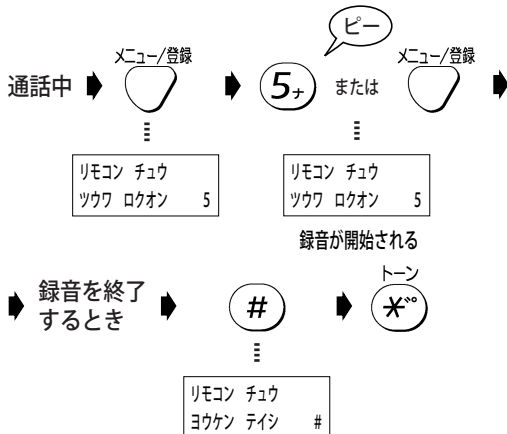
手順7のあと［<］または［>］を押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください。内線番号について ➔p23

通話中の会話を録音する

通話録音

通話中の会話を録音することができます。注文受付やインタビューなど、メモの代わりにご利用ください。また、録音した用件を相手に聞かせることもできます。

- 録音できる時間は最大約12分です。ただし、自分で録音した応答メッセージや留守電の用件、受信したファクスの内容が残っていると、録音できる時間が少なくなります。
- 通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が、約12分または最大30件まで録音できます。
- 留守電の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは、通話録音できません。
- 内線通話は、通話録音できません。

- 録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

- 録音開始時の「ピー」という音は、相手側にも聞こえます。これは、無断で通話を録音すると、プライバシーの侵害となることがあるためです。

通話を保留したい

通話録音中は保留できません。通話録音を中止してから保留してください。

メモリがいっぱいになった

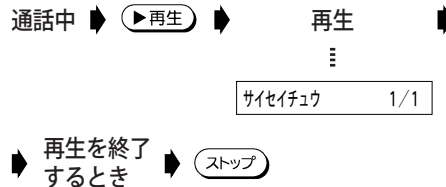
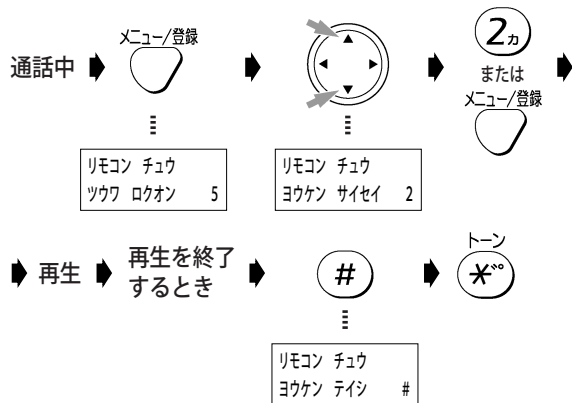
「メモリがいっぱいです」というメッセージが流れます。このとき、親機のディスプレイに"メモリガ　イッパイデス"と表示され、録音が中断されます。

録音した内容を聞きたい

通話録音した内容は、留守電の用件を聞くときと同じ操作で、再生したり消去したりできます。

録音された用件を聞く ➔ p44
不要な用件を消す ➔ p45

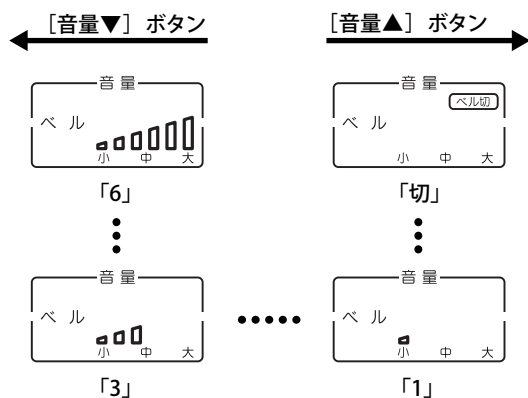
通話中の相手に録音内容を聞かせる

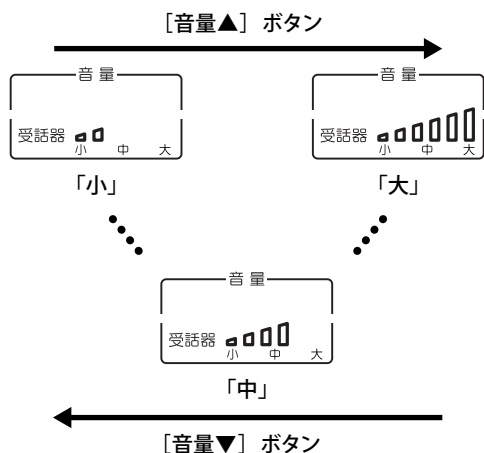
通話録音した内容を再生し、相手に聞かせることができます。このとき、留守電に録音されている用件があると、その内容も再生されます。

子機で再生中のボタン操作 ➔p45

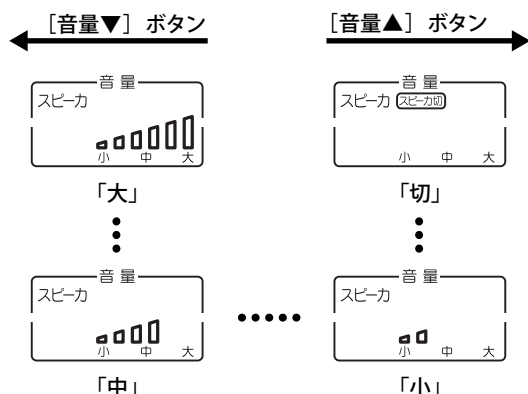
音量を調整する

操作後、目的の音量が鳴った時点で設定されます。

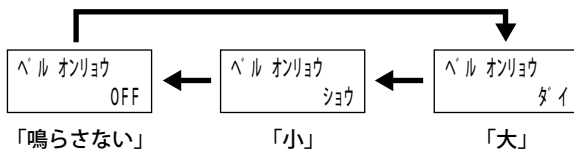
■ ベル音量

待機中に操作します。
［音量▲］または［音量▼］ボタンを1回押すと、現在のベル音量が鳴り、「切」に設定してあるときは鳴りません。
もう一度［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと切り替わり、6段階で調整できます。

■ 受話音量

通話中に操作します。

■ モニタスピーカと留守電の再生音量

［オンフック］ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態、または用件再生中などに操作します。
［音量］ボタンを押すと、次の順番で音量が変わります。

■ ベル音量

待機中に操作します。
［音量］ボタンを2秒以上押すたびに「ピッ」または「ピー」（OFFのとき）と音がして、次の順番で音量が変わります。

「鳴らさない」　「小」　「大」

一時的にベルを止めたい ベルが鳴っているときに［切］ボタンを押すと、一時的にベルを止めることができます。

■ 受話音量

［通話］ボタンを押し「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。
［音量］ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。

「標準」　「大」　「特大」

通話中に受話音量を調整したい

通話状態のまま［音量］ボタンを押してください。押すたびに音量が変わります。

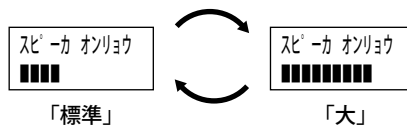
音量を「特大」にしても音が小さい

受話音量を全体的に大きくすることができます。
子機の受話音量を全体的に大きくする➡p58

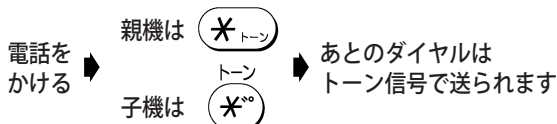
■ スピーカ音量

・スピーカ音量を「大」にしたときに、音が割れたり、歪んだりした場合は「標準」にしてください。

［オンフック］ボタンを押し、「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。
［音量］ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。

「標準」　「大」

トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。
ポケベルにメッセージを送ったり、テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

・この操作は、一時的にトーン（プッシュ）信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。

ファクスやコピーとして使うには

ここでは、ファクスやコピーの使いかたなどを
説明しています。

ファクス／コピーの前に

読み取れる原稿のサイズと厚さ

1枚だけセットする場合と2枚以上セットする場合で、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	2枚以上セットする場合（幅×長さ）
最大	257 × 1000 mm＊	257 × 364 mm（B4サイズ）
最小	128 × 128 mm	128 × 128 mm
厚さ	0.05 ～ 0.15 mm	0.065 ～ 0.10 mm

＊コピーの場合はB4サイズまで
この取扱説明書本文の紙の厚さは、約0.08mmです。

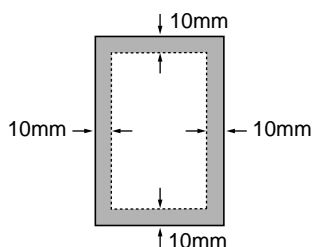
そのままでは読み取れない原稿

次のような原稿は、あらかじめ普通紙に複写機でコピーしておくか、またはハンドスキャナを使ってください。ハンドスキャナを使うには ➔ p40

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○
感熱紙、感圧紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○
ノリやテープで貼り合わせた紙	○	×
小さすぎる紙（128×128mm未満）	○	○＊
薄すぎる紙（0.05mm未満）	○	○＊
厚すぎる紙（0.15mmを超える）	○	○

＊白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

読み取れる範囲

原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります。

原稿セットのしかた

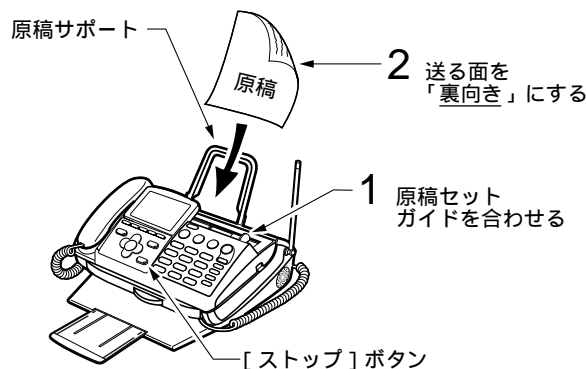
・クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。
・インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。
・幅や厚さが異なる原稿を一緒にセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。

1 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせる

一度にセットできる原稿枚数は、お買い上げ時に付属されている記録紙と同じくらいの厚さで10枚までです。
原稿セットガイドは、原稿の幅にきちんと合わせてください。原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因になります。

2 送る面を「裏向き」にして、原稿を軽く差し込む

1番下の原稿が自動で約3cm引き込まれます。 これで原稿がセットできました。

ファクスを送る ➔p3 5
コピーを取る ➔p39

セットした原稿を取り除きたい

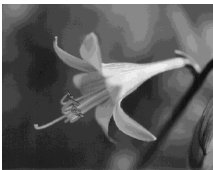
［ストップ］ボタンを押すと、原稿が排出されます。
無理に原稿を引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく場合があります。

11枚以上の原稿を送りたい

何回かに分けて送ってください。コピーやファクス送信中に原稿を追加すると、原稿がつまったり送信もれが出たりする原因となります。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。➔ p39

写真や小さい文字の原稿のとき

画質モード

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクスしたりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

■ 画質モードの決めかた

下の表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い上げのとき：ふつう

画質モード	原稿の状態
ふつう	文字がこのくらいの
小さい	文字がこのくらいの大きさの
細かい	文字がこのくらいの大きさのときに
写真 64階調 ハーフトーン	写真のとき

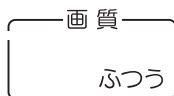
- 「細かい」「写真」に設定すると「ふつう」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。
  また、黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
- 色地の原稿を送るときは「ふつう」または「小さい」に設定してください。「細かい」「写真」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。
- 「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。
- 「写真」に設定したとき、白い部分にゴマ模様の記録が出たら、読み取り濃度を薄くしてみてください。
  ファクスやコピーの読み取り濃度を変える➜p56

■ 画質モードを選ぶ

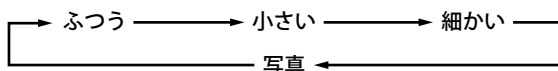
- コピーのときは「ふつう」に設定しても「小さい」でコピーされます。

1 原稿をセットする

現在の画質モードが表示されます

画質
ふつう

原稿セットのしかた　前のページを参照してください。

2 [画質]を押すごとにモードが切り替わる

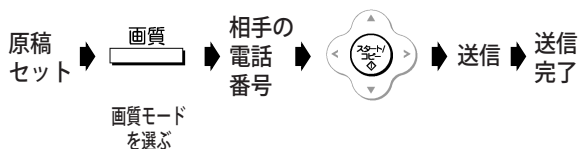
ふつう → 小さい → 細かい → 写真 → ふつう

ファクスを送る

親機では、いろいろなファクスの送りかたがあります。

- 原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。
- 相手がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送信すると、A4サイズに縮小して送信されます。
- 相手の機種によっては送信時間が長くかかることがあります。

ファクスを自動で送る

自動送信

原稿セット ➜ [画質]（画質モードを選ぶ） ➜ 相手の電話番号 ➜ [スタート/コピー] ➜ 送信 ➜ 送信完了

番号を押し間違えたら　［消去］ボタンを押し、最初からやり直してください。

ワンタッチダイヤルを使って送信したい

相手の電話番号を入力する代わりにワンタッチダイヤルボタンを押してください。ワンタッチダイヤルボタンを使った場合は、［スタート／コピー］ボタンを押さなくても送信が始まります。ワンタッチダイヤルで電話をかける➜p26

電話帳またはリダイヤルを使って相手先を選びたい

相手の電話番号を入力する代わりに［▼］［▲］または［電話帳］ボタンの［>］ボタン（リダイヤル）を押して相手先を選びます。

同じ相手にもう一度かける➜p22
らくらく電話帳で電話をかける➜p27

途中で送信をやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。もう一度押すと、原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

“サイハッコ　マチ　1カイメ”と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。送信できなかった➜p36

自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする

発信元記録➜p50

海外にファクスを送りたい

海外にファクスを送るとき➜p56

相手と話してから送る

手動送信

原稿セット ➜ 電話をかける ➜ 通話 ➜ 相手が受信操作 ➜

➜

送信したあと、続けて話をしたい　受話器を戻さないでください（相手も）。

相手が受信操作するより先に［スタート／コピー］ボタンを押した

相手が受信操作をすれば送信できます。

相手が電話に出ず、受話器から「ピーヒョロヒョロ」という音がした

相手のファクスが自動受信になっています。
そのまま［スタート／コピー］ボタンを押せば送信できます。

みんなに送信する

同じ原稿を複数の相手先へ1回の操作で送ることができます。相手先は最大10件まで指定できます。
メモリに蓄積できる原稿は、画質モード（ ➔ p35）が「小さい」のとき、A4判（700字程度）原稿で約9枚です。

- フルダイヤルで入力した場合は［みんなに送信］ボタンを押すと自動的に原稿をメモリに蓄積し、一宛先のメモリ送信を行います。
- 指定できるのは、らくらく電話帳に登録している相手先だけです。　らくらく電話帳に登録する ➔ p28
- ハンドスキャナで読み取った原稿は「みんなに送信」はできません。

1 原稿をセットする

2 画質を押し、画質モードを選ぶ

3 で相手先を表示させる

4 みんなに送信 を押す

ﾐﾝﾅﾆ ｿｳｼﾝ　1

相手先件数

相手先を間違えた ［<］または［>］を押し、取り消したい相手先を表示させ［消去］ボタンを押してください。

5 手順3〜4をくり返し、送りたい相手先をすべて選ぶ

6 を押す

セットした原稿をいったんメモリに記憶して、指定した順に送信を開始します。

7 送信が終わると、「みんなに送信レポート」が出力される

ﾚﾎﾟｰﾄ ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ

“ツウシン　イジョウ”と表示された

“ツウシン　イジョウ”と表示された相手先への送信をやめ、次の相手先へ送信を開始します。

“メモリ　フル”と表示された

原稿を読み取り中にメモリがいっぱいになると「ピー・ピー…」と音がして“メモリ　フル”と、読み取り中のページが表示されます。読み取りが終わったページまでを送信するときは［スタート／コピー］ボタンを押してください。何もしないまま1分経過すると自動で送信します。送信をやめるときは［ストップ］ボタンを押してください。
1枚目の原稿を読み取り中に“メモリ　フル”となった場合は、みんなに送信はできません。自動または手動で送ってください。
ファクスを自動で送る ➔ p35
相手と話してから送る ➔ p35

みんなに送信レポート

宛先が1箇所だけのとき

- みんなに送信レポートは出力されません。
- 送信できなかったときは、不達レポートが出力されます（➔下記）。

宛先が2箇所から10箇所のとき

- みんなに送信レポートが出力されます。
- 送信できなかったときは、みんなに送信レポートに通信結果としてプリントされます。不達レポートは出力されません。

プリント例

ミンナニ　ソウシン　レポート

2001. 10.　1　13：52

ニッポンデンキ

ウケツケ　ニチジ	ア イ テ サ キ ス ウ	マイスウ
10. 01　13：43	10	03

ソウタツサキ

[　イトウ	] O. K.	[　サトウ	] O. K.
[　カトウ	] O. K.	[　タナカ	] O. K.
[　キクオ	] O. K.	[　ヤマモト	] O. K.
[　30	] O. K.		

フタツサキ

[　ワダ	] ハナシチュウ	[　コバヤシ	] チュウダン
[　ニシムラ	] ツウシン　イジョウ		

送信できなかった（不達レポート）

自動で不達レポートがプリントされます。
不達レポートを出力「する」「しない」を設定できます。
➔ p57

プリント例

フタツ　レポート

2001. 10.　1　14：33

ニッポンデンキ

ツウシン　カイシ　ニチジ	ツウシン　ジカン	ア イ テ サ キ	モード	マイスウ	ツウシン　ケッカ
10. 01　14：33	0'16"	カトウ	G3	0	ツウシン　イジョウ

ツウシン　ケッカ
ツウシン　イジョウ

通信結果の意味

ハナシチュウ

- 相手先が通話中である

ヨビダシ

- 相手先から通話予約などで呼び出しを受けた

チュウダン

- 通信中に（自分が）中断操作をした

ムオウトウ

- 相手先が受信できない状態になっている
- 相手先が電話に出ない
- 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある

ツウシンイジョウ

“ツウシン　イジョウ”が表示されたとき ➔ p89

ファクスを受ける

ファクスは、設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

・受信した文書は、記録紙スタッカに10枚以上ためないでください。また、記録紙カセットのカバーに、シールなどを貼り付けないでください。記録紙づまりの原因になります。

自動で受ける

お買い上げのとき：電話／ファクス自動切替する

本機が自動で電話をつなぎ、相手が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信します。電話のときは呼出ベルが鳴ります。

電話／ファクス自動切替のしくみ

ベルが鳴ります。

着信ベルが6回鳴ります。

この間に受話器を取ったら
・**電話のとき**……
そのまま話ができます。
・ファクスのとき……
「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れます。受話器を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信を「する」に設定しているとき）。
・無音のとき……
ファクスかもしれません。
手動受信を行ってください。
➡本ページ右側

自動応答

着信ベルが6回鳴ったら
自動的に回線を接続し、相手が電話かファクスか判断します。
この時点から相手に通話料金がかかります。

呼出ベルが鳴ります。

・電話のとき……
この間に受話器を取れば、話ができます。
・手動ファクスのとき……
相手が送信操作をすれば、受信します。

ファクス

呼出ベルが10回鳴ったら
「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください」という固定メッセージのあと、信号音が30〜40秒流れます。
・電話のとき……
回線が切れます。
・手動ファクスのとき……
相手が送信操作をすれば、受信します。
※上記固定メッセージは変更・消去できません。

手動
ファクス

ファクスを
受信します。

・「留守」に設定したときは、電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります。
「留守」を設定すると➡p43
・電話がつながると、相手の受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手に通話料金がかかります。
また、つながった時点でメッセージを流すことができます。
電話をかけてきた相手にメッセージを流す➡p54

ベルの回数を変えたい

着信ベル回数を変える➡p52
呼出ベル回数を変える➡p52

ベルを鳴らさないで受信したい

無鳴動着信➡p52

自動切替をやめたい

いつでも電話で受けたい方…電話モード➡p53
いつでもファクスで受けたい方…ファクス専用モード➡p53

メモリオーバーによる通信異常が多発するとき

本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。

・不要な用件を消す（➡p45 ）
・メモリ受信「しない」に設定する（➡p57 ）

手動で受ける

ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときは、手動で受信してください。

ファクスかんたん受信とは…

電話に出たとき、相手がファクスだった場合には「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れます。メッセージに従い受話器を置くと、自動的にファクスを受信できる機能です。メッセージが流れる前に受話器を置くと、回線が切れて受信できません。メッセージが流れてから受話器を置いてください。
ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信できません。
手動で受信してください。
・相手が無音のとき
・こちらから電話をかけたとき
ファクスかんたん受信➡p5 1

■ファクスがかかってきたとき

■話をしてから受信するとき

受信したあと、続けて話をしたい　受話器を戻さないでください（相手も）。

・受信したあと、続けて話をすることはできません。

■ ファクスがかかってきたとき

切 または 親機で受信します。

■ 話をしてから受信するとき

通話 ➡ 相手が送信操作 ➡

切 または 親機で受信します。

「ポー・ポー…」という音が聞こえない

相手の機種によっては聞こえないことがあります。手動受信をしてみてください。手動で受ける ➡p37

「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れる

「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信が働いています。自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。お買い上げ時はファクスかんたん受信を「する」に設定されています。ファクスかんたん受信 ➡p51

相手が送信する前に受信操作をした

相手が送信操作をすれば、受信できます。

送られてきた文書をメモリが記憶する

メモリ代行受信

こんなときにメモリが代わって受信します。

・記録紙がセットされていない
・インクフィルムがない
・記録紙がつまっている
・操作パネルが開いている
・リアカバーおよびフィルムカバーが開いている
・サーマルヘッドが過熱した

・メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
・メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信できません。不要な用件などを消してください。
不要な用件を消す ➡p45

メモリ代行受信されると、ディスプレイには下記のように表示されます。

表示例

普通紙モードのとき

ﾌﾂｳｼｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
↕ 交互に表示
ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

感熱紙モードのとき

ｶﾝﾈﾂｼｦ ｲﾚﾃｸﾀﾞｻｲ
↕ 交互に表示
ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりを直すと、自動的にプリントされます。

記憶できる文書量

相手が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）の原稿を約16枚（最大10文書）記憶できます。
ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

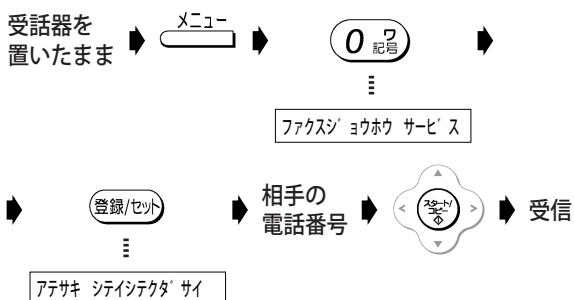
ファクス情報サービスを利用する

色々な情報をファクスで取り寄せることができます。

・ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

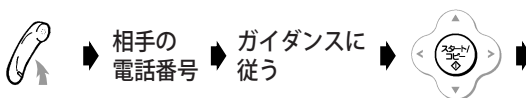
■ ポーリング方式のとき

受話器を置いたまま ➡ メニュー ➡ 0 ワ記号 ➡
ﾌｧｸｽｼﾞｮｳﾎｳ ｻｰﾋﾞｽ

➡ 登録/セット ➡ 相手の電話番号 ➡ スタート/コピー ➡ 受信
ｱﾃｻｷ ｼﾃｲｼﾃｸﾀﾞｻｲ

ポーリング方式とは…

相手先にあらかじめ用意されている原稿を、受信側から操作して受信する機能です。

■ ガイダンス方式のとき

ガイダンス方式には、次の2つの利用方法があります。
・ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
・ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法
利用するファクス情報サービスの利用方法に合わせて入力してください。

➡ 受信

ダイヤル回線を使っている

情報番号などをトーン（プッシュ）信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください。
トーン信号に切り替える ➡p3 3

コピーを取る

・プリント中に記録紙カセットを引き抜かないでください。記録紙づまりの原因となります。
・原稿は自動的に排出されますので、無理に引き抜かないでください。

■ 1部コピーしたい〈シングルコピー〉

1 記録紙スタッカを引き出す

2 原稿をセットする

3 画質を押し、画質モードを選ぶ

4 を押す

この状態で約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

5 もう一度 を押す

コピ－チュウ P01

■ 2部以上コピーしたい〈マルチコピー〉

1 記録紙スタッカを引き出す

2 原稿をセットする

3 画質を押し、画質モードを選ぶ

4 を押す

コピ－ブスウ = 01

5 ダイヤルボタンを押し、コピー部数を入力する

2～30部まで入力できます。
入力後、約5秒間何もしないと、自動的にコピーを開始します。

コピ－ブスウ = 03

コピー部数

6 を押す

ゲンコウヨミトリチュウ P01

⋮

コピ－チュウ P01

B4の原稿をコピーすると

A4に縮小してコピーされます。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

定型を超えた部分はプリントされません。原稿が縦方向に長い場合は、ハンドスキャナを使い、何回かに分けてコピーしてください。ハンドスキャナでコピーする➔p41

途中でコピーをやめたい

［ストップ］ボタンを押してください。

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

・貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
・書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真の著作物は、個人的にまたは家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
・パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

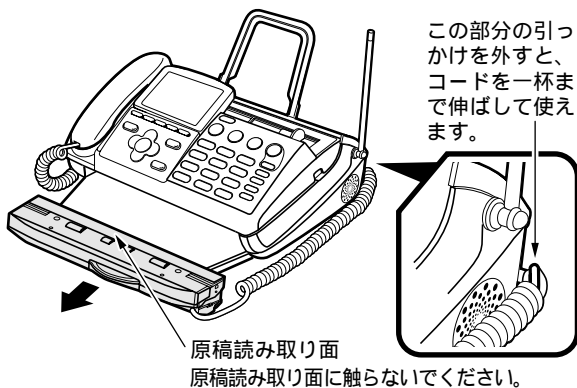
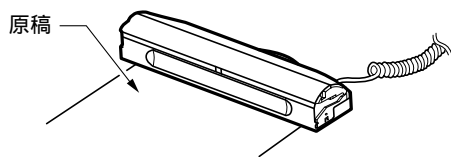
ハンドスキャナを使うには

ここでは、ハンドスキャナを使ったコピーや
ファクスのしかたを説明しています。

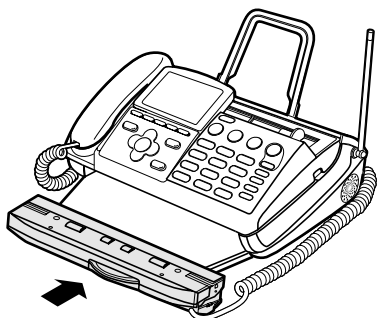
ハンドスキャナの取り外し／取り付け

- 使用したあとは、必ず親機に戻してください。ハンドスキャナは、親機の原稿読み取り用として使います。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。
- 原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。ハンドスキャナの清掃 ➔p87

■ 取り外しかた

1 ハンドスキャナを手前に引き抜く

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

■ 取り付けかた

- ハンドスキャナのコードをはさまないようにしてください。断線の原因となります。

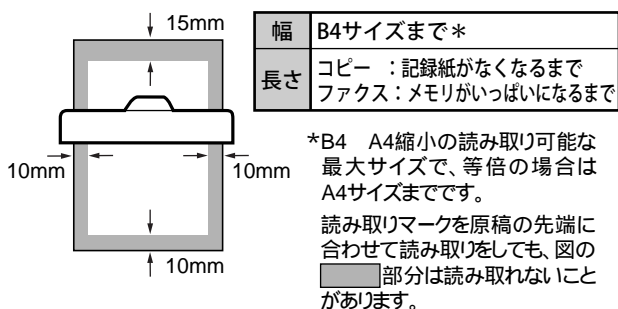
原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込む

ハンドスキャナの使いかた

本や、親機にセットできない原稿（ ➔p34）などをコピーしたり送信したりできます。

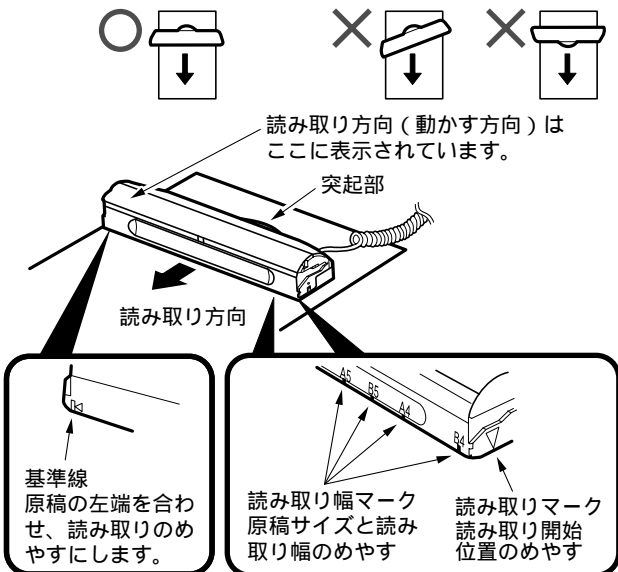
■ 読み取れる原稿サイズ

幅	B4サイズまで＊
長さ	コピー　：記録紙がなくなるまで ファクス：メモリがいっぱいになるまで

＊B4→A4縮小の読み取り可能な最大サイズで、等倍の場合はA4サイズまでです。

読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、図の　　部分は読み取れないことがあります。

- 次のような原稿には使わないでください。きれいに読み取れなかったり、本機が故障する原因となります。
  - ー 表面に凹凸のある原稿
  - ー コーティングなどで表面が滑りやすい原稿
  - ー 表面が汚れている原稿
  - ー インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿
- コピーしてはいけないものがあります。➔ p39
- 読み取り濃度を設定するときは、ハンドスキャナを取り外す前に設定してください。
  ファクスやコピーの読み取り濃度を変える ➔p56

■ ハンドスキャナの置きかた／動かしかた

- ハンドスキャナは、斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。読み取り方向に、まっすぐ動かしてください。

下が透けて見える原稿を読み取りたい

フィルムやトレーシングペーパーなどは、白い紙の上に置いてから読み取ってください。

ハンドスキャナでコピーする

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大／縮小することもできます。➡ p42

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

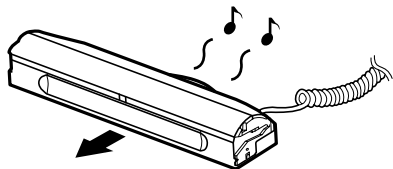
3 原稿に合わせて画質を選ぶ

[画質]を押すごとに切り替わります。

小さい ←→ 写真

4 [スタート/コピー]を押す

コピーチュウ　A4→A4

5 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。メロディを止めたい➡ p42

30秒以上動かさないと　読み取りを中断します。

メロディが流れているときは　メロディの速さに関係なく正常に読み取れます。

「ピッピッ…」と音がする　正常に読み取れていません。

6 読み取りが終わったら [ストップ] を押す

［ストップ］ボタンを押さないままハンドスキャナを取り付けると　ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿とは違うものをプリントする場合があります。必ず［ストップ］ボタンを押してください。

7 プリントが終わるまで待つ

ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

8 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

ブザーが鳴り“メモリ　フル”と表示された

しばらくするとコピーが可能になります。

A4／B4の定型を超える長さの原稿の場合

記録紙がなくなるまで読み取り、プリントされます。
ハンドスキャナでファクスを送る（➡本ページ右側）ときも同様です。

ハンドスキャナでファクスを送る

- 電話で話したあとに、続けてハンドスキャナで読んだ原稿を送ることはできません。
- 送信が終わると、メモリの内容は消去されます。
- 送信中に通信異常が起きた場合、メモリの内容は消去されます。このときは最初からやり直してください。

1 ハンドスキャナを取り外す

原稿を拡大／縮小することもできます。➡ p42

2 ハンドスキャナを裏返し、原稿読み取り面を下に向けて原稿にのせる

3 原稿に合わせて画質を選ぶ

[画質]を押すごとに切り替わります。

小さい ←→ 写真

4 相手先の番号をダイヤルする

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- ワンタッチダイヤル、電話帳を使って相手先を指定することもできます。

ワンタッチダイヤルで電話をかける➡ p26
らくらく電話帳で電話をかける➡ p27

5 [スタート/コピー]を押す

コピーチュウ　A4→A4

6 ハンドスキャナを動かす

動かすと、スピードを表すメロディが流れます。

30秒以上動かさないと　読み取りを中断します。

「ピッピッ…」と音がする　正常に読み取れていません。

7 読み取りが終わったら [ストップ] を押す

8 プリントが終わるまで待つ

9 プリント内容を確認する

1ソウシン　2トリケシ

10 送信して良ければ [1 ア] を押す

読み取り直したい　[2]（トリケシ）を押し“ショウキョ　シマシタ”→“ヨミトリマチ　　A4→A4”と表示されたら、手順5からやり直してください。

送信をやめたい　[ストップ］ボタンを押してください。

11 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

送信中に取り付けても中断はされません。

B4サイズの原稿を送りたい

相手がB4の用紙を使っていても、ハンドスキャナでB4サイズの原稿は送れません。あらかじめ複写機でコピーしておき、親機にセットして送信してください。

“サイハッコ　マチ　1カイメ”と表示された

オートリダイヤルが働き、1分間隔で5回まで自動的にかけ直します。それでも送信できないときは不達レポートがプリントされます。送信できなかった➔p36

原稿を拡大／縮小する

ハンドスキャナで送信やコピーをするときは、原稿を拡大または縮小することができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 メニュー を押す

ﾖﾐﾄﾘｷﾛｸﾊﾊﾞ A4→A4
ﾄｳﾊﾞｲ ：100%

3 ◁▷を押し、倍率を選ぶ

等倍100 %　：A4 → A4
拡大115 %　：B5 → A4
拡大141 %　：A5 → A4
縮小 82 %　：B4 → A4

4 登録/セット を押す

5 ファクス、またはコピーする

ハンドスキャナでファクスを送る ➔p41
ハンドスキャナでコピーする ➔p41

読み取り時のメロディを流す／止める

お買い上げのとき：流す

原稿を読み取るときにメロディを流したり、止めたりすることができます。

1 ハンドスキャナを取り外す

2 メニュー を2回押す

ﾒﾛﾃﾞｨﾊﾝﾄﾞｽｷｬﾅ ○×

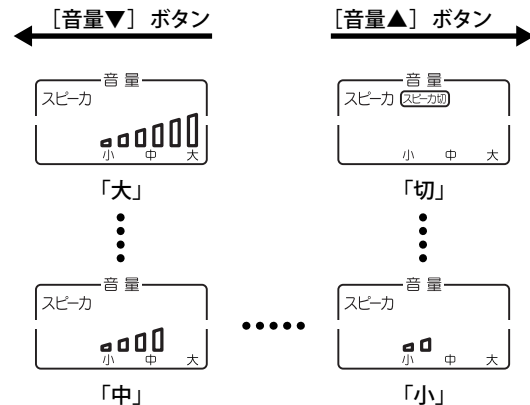
3 ◁▷を押し、カーソルを合わせる

○×：メロディを流す
○×：メロディを流さない

4 登録/セット を押す

5 ハンドスキャナを元通りに取り付ける

メロディの音量を調整したい

メロディが流れているときに［音量］ボタンを押します。

メロディを「流す」にしたのに鳴らない

モニタスピーカ音量を「切」にすると、メロディ音も鳴りません（上図を参照）。

留守電を使うには

ここでは、留守電のいろいろな使いかたについて説明しています。

「留守」を設定すると

外出していて電話に出られないときなどに、相手の用件を録音することができます。
相手がファクスのときは自動で受信できます。

着信ベルが鳴ります。

この間に受話器を取ったら……
- **電話のとき……**
  そのまま話ができます。
- ファクスのとき……
  「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れます。受話器を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信を「する」に設定しているとき）。
- 無音のとき……
  ファクスかもしれません。
  手動受信を行ってください。
  ➔ p37

自動応答

着信ベルが設定回数*鳴ったら……
相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

*留守設定時の着信ベルが鳴る回数は、トールセイバの設定により変わります。
- **トールセイバ「しない」……**
  お買い上げのときの状態です。いつも着信ベル回数で設定した回数だけ鳴ります。
- **トールセイバ「する」……**
  用件が録音されていると2回、用件がないと5回鳴ります。

ファクス

電話または手動ファクス

- 電話のとき……
  相手の用件が録音されます。この間に受話器を取れば話ができます。録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。
- 手動ファクスのとき……
  相手が送信操作をすれば受信できます。

手動ファクス

ファクスを受信します。

着信ベルの鳴る回数は

- トールセイバを「する」のとき
  用件が録音されていると、2回鳴って留守電機能が働きます。
  用件が録音されていないと、5回鳴って留守電機能が働きます。
- トールセイバを「しない」のとき
  録音されている用件の有無にかかわらず、設定されている回数だけ鳴ります。
  無鳴動着信を「する」にしていると、着信ベルは鳴りません。
  また電話モードでお使いのときは、5回鳴って留守電機能が働きます。

トールセイバ ➔p5 0
電話モード ➔p5 3
着信ベル回数を変える ➔p5 2

外出先から操作したい

外出先から「留守」を設定する ➔p46
外出先から用件を聞く ➔p47

用件が録音されたら、すぐ知りたい

用件が録音されたら外出先に転送する ➔p47

録音できる時間

1件につき最大3分、合計で約12分まで録音できます（合計12分を超えない限り最大30件）。この時間には、自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます。

留守を設定すると

無鳴動着信でトールセイバを「する」に設定しているときやファクス専用モードに設定しているときは、本ページ左側の動作になり、留守設定中は着信ベルが鳴ります。

本機の固定応答メッセージの種類

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。
- 通常
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」

通常の応答メッセージだけは、自作応答メッセージに変えることができます。応答メッセージを録音／消去する ➔p45

以下の応答メッセージは固定応答メッセージのため、変更・消去できません。
- 用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき
  （用件がいっぱいのとき）
  「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- 用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- 用件の録音も、ファクスの受信もできないとき
  （メモリがいっぱいのとき）
  「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

「留守」の設定／解除

「留守」を設定しようとしたらメッセージが流れる

「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」と流れたときは「留守」を設定することができません。
「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」と流れたときはすぐに用件がいっぱいになります。
不要な用件を消去してください。不要な用件を消す ➜p45

■「留守」を設定する

➜ [留守] ボタンが点灯し、応答メッセージが聞こえる
用件が残っていると点滅します。

オウトウメッセージ　コテイ	……	ルスセッテイ

[留守] ボタンを押してもメッセージが聞こえない

用件再生時の音量が「切」になっていませんか？
モニタスピーカと留守電の再生音量 ➜p33
応答メッセージが正しく録音されていないことが考えられます。もう一度録音し直してください。
応答メッセージを録音／消去する ➜p45

応答メッセージを選びたい

本機の固定応答メッセージ、自分で録音した2種類の応答メッセージのいずれかを選びたいときは、応答メッセージが流れている間に [<] または [>] を押し、応答メッセージを選びます。

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

らくらく電話帳に登録している相手にだけ、自作メッセージで応答できます。➜ p70

■「留守」を解除する

- 録音された用件が自動で再生されます。
- 用件が1件再生されるごとに、録音された月日と時間が音声で流れます（タイムスタンプ）。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは [ストップ] ボタンを押してください。

用件があると [留守] ボタンが点滅しています ➜

10月　1日　12：00　　2 ルスセッテイ	ヨウケン　サイセイ

用件の件数

[留守] ボタンが消灯します。

➜「用件は○件です」用件が再生される ➜「用件は以上です」

サイセイチュウ　　1/2	サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

1秒ごとに“＊”が表示されます。

用件がないときは 「用件はありません」というメッセージが流れます。

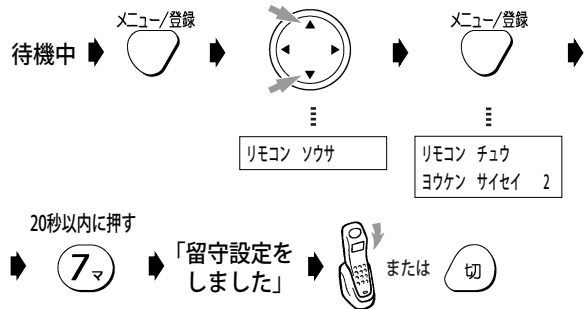
・子機で「留守」設定するときは、自作応答メッセージを変更することはできません。

■「留守」を設定する

待機中 ➜

リモコン　ソウサ	リモコン　チュウ ヨウケン　サイセイ　2

20秒以内に押す

➜ 7 ➜「留守設定をしました」 ➜

[7] を押す前に「ピッピッピッ」と音がして待機中に戻った

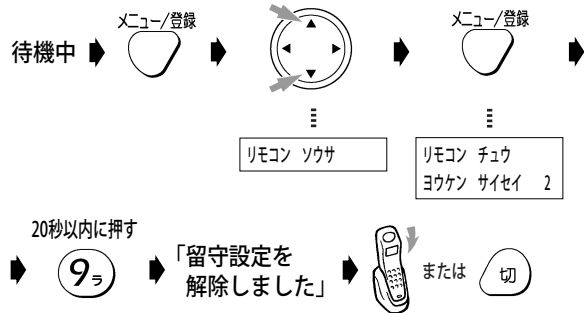
親機が使用中です。しばらくしたら最初から操作し直してください。また [メニュー／登録] ボタンを押してから20秒以内に [7] を押してください。

■「留守」を解除する

待機中 ➜

リモコン　ソウサ	リモコン　チュウ ヨウケン　サイセイ　2

20秒以内に押す

➜ 9 ➜「留守設定を解除しました」 ➜

[9] を押す前に「ピッピッピッ」と音がして待機中に戻った

親機が使用中です。しばらくしたら最初から操作し直してください。また [メニュー／登録] ボタンを押してから20秒以内に [9] を押してください。

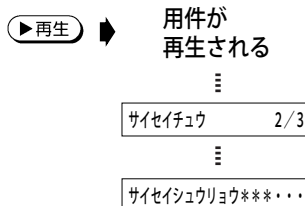
録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。
通話録音した内容も、同時に再生されます。また、留守設定中でも用件を聞くことができます。

・モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。
モニタスピーカと留守電の再生音量 ➜p33

▶再生 ➜ 用件が再生される

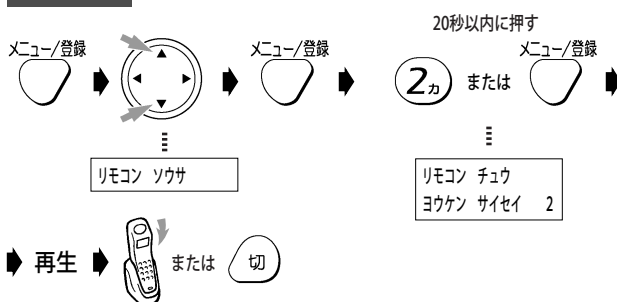
サイセイチュウ　　2/3

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

通話中の相手に用件を聞かせたい

通話中の相手に録音内容を聞かせる ➜p32

親機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
▶再生	再生速度を切り替えます。→通常 →高速 →低速
1 ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
3 サ DEF	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます（そのあとに［再生］ボタンを押すと、1件目から再生します）。
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます。

▶ 再生 ▶ または 切

子機で再生中のボタン操作

ボタン	本機の動き
1 ア	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
2 カ	再生速度を切り替えます。→通常 →高速 →低速
3 サ	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
8 ヤ	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、「消去しました」というメッセージが流れます。
#	再生を止めます（そのあとに［2］を押すと、1件目から再生します）。

不要な用件を消す

用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。ただし、用件を残したままにしていると、録音できる時間が短くなります。不要な用件は消去しましょう。

■ 特定の用件だけを消す

消去したい用件を再生中 ▶ 消去 ▶「消去しました」▶ ストップ

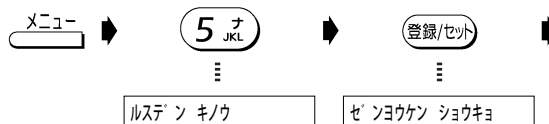
■ 聞き終わった用件を一度に消す

一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

再生終了後 “*” が表示（6秒間）中に ▶ 消去 ▶「再生済みの用件を消去しました」

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

■ すべての用件を一度に消す 〈全用件消去〉

・一度も再生していない用件もすべて消去されます。

▶ 登録/セット ▶「消去しました」

■ 特定の用件だけを消す

消去したい用件を再生中 ▶ 8ヤ ▶「消去しました」

■ 聞き終わった用件を一度に消す

再生終了後、「ピッピッピッ…」（6秒間）と聞こえている間に 8ヤ ▶「再生済みの用件を消去しました」

応答メッセージを録音／消去する

「留守」を設定したとき、相手に流す応答メッセージを自分で録音したり、消去したりできます。

・2種類の応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。
・留守設定中でも応答メッセージを録音できます。
・録音していないときは、本機の固定応答メッセージが流れます。➜ p43

・本機の録音方式は、人間の声の音域に合わせた設定になっています。いっしょに音楽を録音することはおすすめできません。
・本機の固定応答メッセージは消去できません。

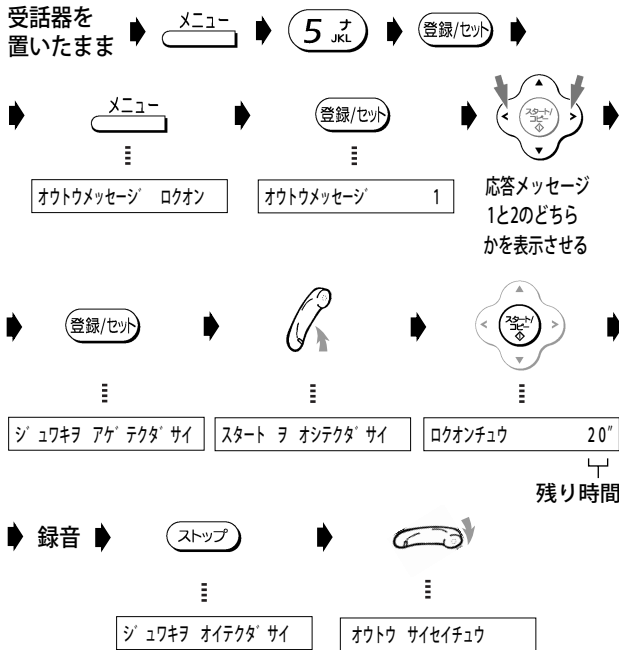
ナンバー・ディスプレイを利用している方は

相手に応じて応答メッセージを変えることができます。
電話帳に登録している相手にだけ自作メッセージで応答する➜ p70

■録音する

親機で録音します。子機では録音できません。

録音 ストップ

ジュワキヲ オイテクダサイ　オウトウ サイセイチュウ

・応答メッセージ録音を終わるとき［ストップ］ボタンを押さずに受話器を置くと「ガチャン」という音が録音されてしまいます。先に［ストップ］ボタンを押してから受話器を置いてください。

録音中に電話がかかってきた

録音が中断されます。最初からやり直してください。

録音の途中で止まった

録音残り時間が“0”になると、自動で録音が止まります。20秒以内で終わるように応答メッセージを変え、録音し直してください。

録音し直したい

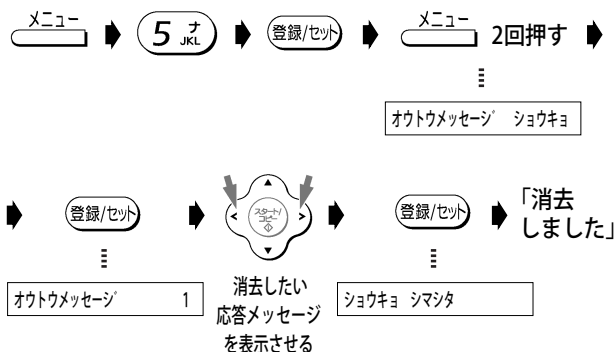
最初からやり直してください。録音し直すと、前に録音していた応答メッセージは消去されます。

メモリがいっぱいで録音できない

不要な用件を消す ➜p45

■消去する

自分で録音した応答メッセージだけ消去できます。
本機の固定応答メッセージは消去できません。

オウトウメッセージ ショウキョ

外出先から留守番電話を操作する

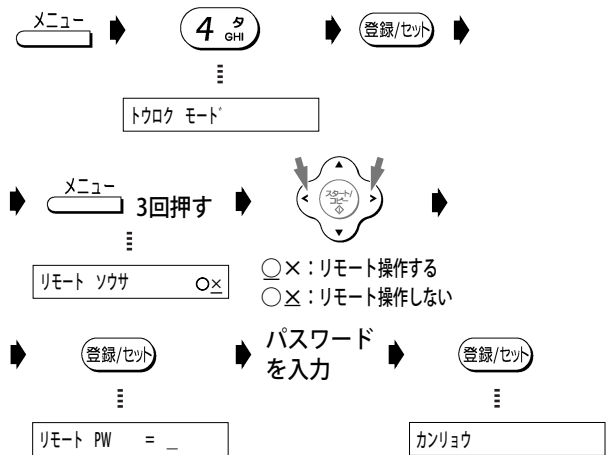
外線リモート

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録をしておくと、留守設定中に録音された用件を、外出先から聞くことができます。

・パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い上げのとき：リモート操作しない

リモートパスワードは4桁の数字を登録します。

パスワードを間違えた

［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

すでにパスワードが登録されている

新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

外出先から「留守」を設定する

・プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
・電話モード設定時は、外出先から「留守」を設定することはできません。
・ダイヤルインをご利用の場合は、親機用の番号に電話をかけて下記の操作をしてください。

本機に電話をかける ➜ 呼出音が変わる ➜ ［#］ ➜ ［パスワード］ ➜

回線が接続されます。

➜ ［#］ ➜ 「パスワードが一致しました」 ➜ 「留守設定をしました」

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる

［#］［パスワード］［#］と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。もう一度、電話をかけ直してください。

外出先から用件を聞く

・プッシュ信号を出せる電話機で操作してください。
・用件再生終了後、何もしないで20秒経つと、電話が自動的に切れます。
・外出前に「留守」を設定しておいてください。
・携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
・リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。

本機に電話をかける ➡ 応答メッセージ ➡ [#] ➡ 応答メッセージが止まる ➡ パスワードを入力 ➡ [#] ➡ 「パスワードが一致しました。用件は○件です」 ➡ 用件再生 ➡ 電話を切る

応答メッセージが止まらない　パスワードを入力する前に、もう一度［#］を押してください。

外出先から用件の有無をかんたんに知りたい

トールセイバを「する」に設定してください。➡ p50

ナンバー・ディスプレイを利用している方は

用件が再生されたあと、相手の番号が音声で聞こえます。

再生中に早送りや巻戻しをしたい

［リモート操作コード］（下表）を押してください。

再生以外の操作をしたい

上記の操作の「パスワードを入力」→［#］入力後、［リモート操作コード］（下表）を押してください。

操　作	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	#1#	再生中に押すと、ひとつ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中は、再生中の用件を再生します。
用件再生	#2#	用件を先頭から再生します。再生中に押すと、再生速度を切り替えます。 →通常 →高速 →低速
早送り	#3#	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	#61#	用件転送を設定します。➡ p48
用件転送解除	#62#	用件転送を解除します。➡ p48
「留守」設定	#7#	「留守」を設定します。
用件消去	#8#	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
「留守」解除	#9#	「留守」を解除します。

リモート操作コード表を持ち歩きたい

p101の「外線リモート」の表をハンドスキャナでコピーし、ご活用ください。ハンドスキャナでコピーする➡p41

用件が録音されたら外出先に転送する

用件転送

留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に転送することができます。

転送先を登録する

お買い上げのとき：しない

・転送先は1ヶ所だけ登録できます。
・転送先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を指定できます（最大10回まで）。

・用件転送するときは、リモート操作の設定とパスワードの登録を必ず行ってください。➡ p46
・プッシュ信号が出せる電話機を転送先に指定してください。
・転送先がPHSの場合には、電波の届く範囲が狭いため、転送されないことがあります。
・録音された用件が6秒未満のときは転送されません。

➡ [スタート/コピー] ➡ 登録/セット ➡ 転送先の電話番号 ➡

○×：用件転送する
○×：用件転送しない

TEL：_

最大40桁まで入力できます。

➡ 登録/セット ➡ 転送回数 ➡ 登録/セット

テンソウ カイスウ　10カイ

01～10まで入力できます。

カンリョウ

転送先の電話番号を間違えた　［<］または［>］でカーソル移動するか［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

登録した電話番号や転送回数を変えたい

最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

ポケベルにメッセージを表示させたい

ポケベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、転送先の電話番号を入力するとき、次のように入力してください。

・ダイヤル回線のとき

ポケベル番号 ➡ ［ポーズ］ ➡ ［*］ ➡ メッセージ番号 ➡ ［#］［#］

・プッシュ回線のとき

ポケベル番号 ➡ ［ポーズ］ ➡ メッセージ番号 ➡ ［#］［#］

ポーズ：ポケベルのサービス会社につながったとき、音声案内が終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声案内の長さは、各サービス会社にお問い合わせください。［ポーズ］ボタン1回で約3秒間のポーズが入ります。
・NTT DoCoMo　…［ポーズ］ボタン4～5回
・テレメッセージ …［ポーズ］ボタン3回
メッセージ番号：ポケベルの説明書を参照してください。
登録できる桁数：ポケベル番号から最後の［#］までの合計が40桁までです。ポーズは［ポーズ］ボタン1回で1桁に数えます。

用件転送を設定／解除する

「用件転送先の登録」をすると「留守」の設定／解除と同時に、用件転送が設定／解除されます。

用件が転送されない

次のようなことが考えられます。
・録音した用件が6秒未満だった
・用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電などで本機の電源が切れた

用件転送をやめたい

用件転送「しない」を設定してください。
転送先を登録する ➜p47

外出先から用件転送だけを解除したい

リモート操作コード［＃62＃］を押してください。
外出先から用件を聞く ➜p47

用件転送先での受けかた

・あらかじめリモート操作の設定と、リモートパスワードの登録が必要です。
リモート操作の設定とパスワードの登録 ➜p46

1 ベルが鳴ったら電話に出る

2 「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえる

パスワードを入力しないと　メッセージが5回流れてもパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

3 メッセージが聞こえている間か、またはメッセージのあと3秒以内に ＃を押す

4 メッセージが止まる

メッセージが止まらない　もう一度［＃］を押してください。

5 リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に ＃を押す

6 「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえる

「パスワードを入れ直してください」とメッセージが流れる
［＃］［パスワード］［＃］と入れ直してください。3回間違えると電話が切れます。

7 用件が再生される

8 用件が終わったら電話を切る

再生中に早送りや巻き戻しをしたい

リモート操作コードを押してください。➜p47

再生以外の操作をしたい

手順5で［パスワード］［＃］入力後［リモート操作コード］を押してください。➜ p47

くり返し用件転送される

パスワードを入れる前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが起こります。このときは左記の手順を最後まで行ってください。

転送先が話中のときやだれも電話に出ないとき

5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。
また、自動的にかけ直そうとしている間の待機中に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

もっと便利に使うには

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

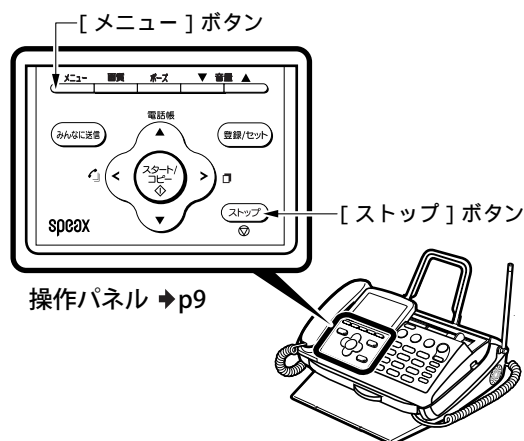
操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイの表示を見ながら行います。
まず［メニュー］ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。くわしい手順は各設定ごとの説明をお読みください。
受話器を置いたままで操作してください。

操作パネル ➜p9

・設定や登録を行う途中で、約90秒以上何も操作しなかったときは、待機中に戻ります。

設定を途中でやめたい

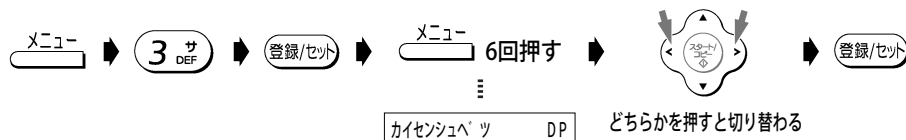
［ストップ］ボタンを押してください。

いろいろな設定

回線種別の自動／手動設定（お買い上げのとき：ダイヤル回線（DP））

・使用している電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を自動または手動で設定します。
・INSネット64を利用していて、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線（PB）に設定してください。

・以下の場合は、本機が自動で「自動回線選択」を行います。
ー お買い上げ後、最初に回線を接続したとき
ー 36時間以上の停電後に回線を接続したとき

 ➜ ➜ 6回押す ➜ ➜

カイセンシュベツ　DP

どちらかを押すと切り替わる
PB：プッシュ回線　DP：ダイヤル回線
ジドウカイセンセンタク：本機が自動的に回線を選択する

“デンワカイセン　カクニン”と表示された　電話回線の接続を確認してください。

“カイセンセッテイ　シテクダサイ”と表示された　自動回線選択できませんでした。上記手順で、PBかDPを手動で設定してください。

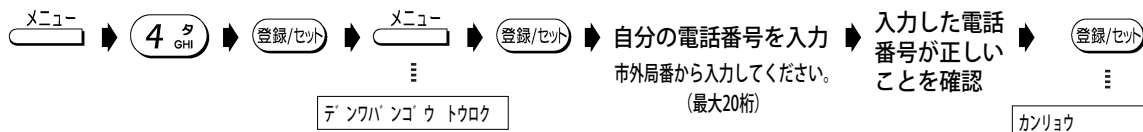
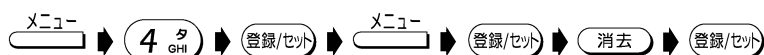
自分の電話番号の登録

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手の通信管理レポートなどにプリントされます。

メニュー ➜ 4 ➜ 登録/セット ➜ メニュー ➜ 登録/セット ➜ 自分の電話番号を入力 ➜ 入力した電話番号が正しいことを確認 ➜ 登録/セット

デンワバンゴウ トウロク

市外局番から入力してください。（最大20桁）

カンリョウ

・ここで登録した電話番号は、相手の記録紙にはプリントされません。自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする ➜ p50
・相手機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
・引越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。

自分の電話番号を消したい

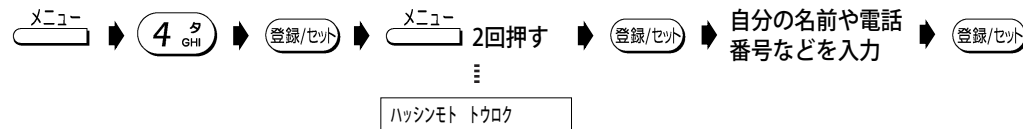
自分の名前や電話番号などを相手の記録紙にプリントする<発信元記録>

（お買い上げのとき：発信元未登録）

ファクスを送ったとき、相手の記録紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントすることができます。発信元をプリントすると、相手側はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。

・発信元をプリントするには、発信元の登録と発信元を相手の記録紙にプリント「する」の設定が必要です。
・発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。最大40文字（空白を含む）まで入力できます。

■発信元を登録する

ハッシンモト トウロク

文字入力のしかたがわからないとき　文字入力一覧表➡本書の最終ページ

発信元を削除または変更したいとき　発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号などを入力」で登録した内容を［消去］ボタンですべて消してから［登録／セット］ボタンを押してください。変更するときは、同手順で変更したい箇所に［<］［>］でカーソルを合わせ［消去］ボタンで消し、修正してから［登録／セット］ボタンを押してください。

自分の電話番号もプリントさせたいとき　数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録（➡p49）を行っても、相手の記録紙にはプリントされません。文字入力一覧表➡本書の最終ページ

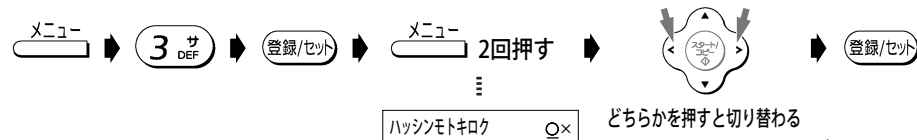
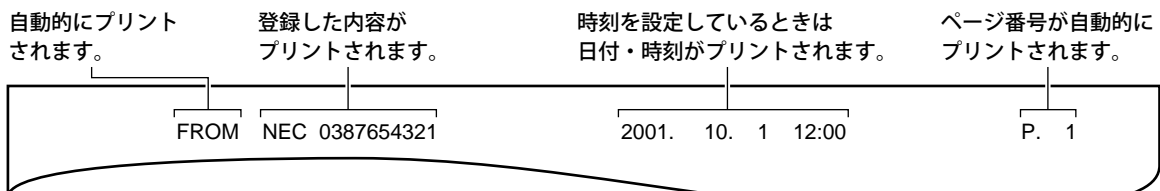
登録できたか確認したいとき　システムリスト（➡p60）をプリントしてください。

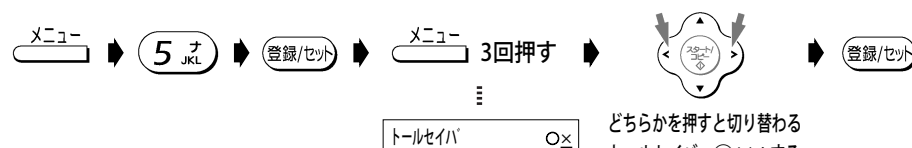
■発信元をプリントする／しないを設定する（お買い上げのとき：する）

・「しない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。

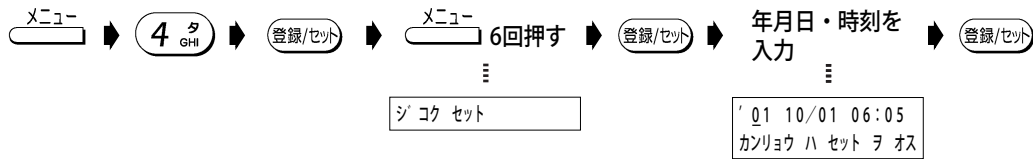
相手先でのプリント例

自動的にプリントされます。　登録した内容がプリントされます。　時刻を設定しているときは日付・時刻がプリントされます。　ページ番号が自動的にプリントされます。

FROM　NEC 0387654321　2001. 10. 1 12:00　P. 1

用件の有無を外出先から簡単に確かめる<トールセイバ>（お買い上げのとき：しない）

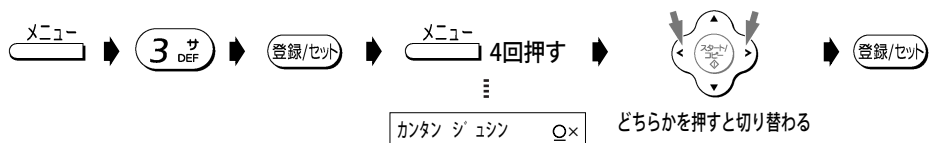
トールセイバとは留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終ってから電話を切ると、通話料金がかかりません。

・一度聞いた用件でも、残っていると（消去しない限り）トールセイバが働きます。
・子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため「する」に設定していて留守番電話の用件が録音されているときは、子機が鳴る前に着信して留守応答になることがあります。

時計を合わせる<時刻セット>

- 時刻がずれてきたときや、時刻をセットしなかったときに行ってください。（時計の精度は平均月差±60秒以内）
- 時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは頭に0をつけてください。（例：2001年10月1日6時5分→0110010605と入力）

修正したいとき ［<］または［>］を押して修正したい箇所にカーソルを合わせ、入力し直してください。

電話に出て相手がファクスだったときは簡単に受信する<ファクスかんたん受信>

（お買い上げのとき：する）

電話に出て相手がファクスのときは「ポーポーポー…」という音が聞こえ「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」とメッセージが流れます。このときは、受話器を戻すだけでファクスを受信できます。

カンタン ジュシン ○×

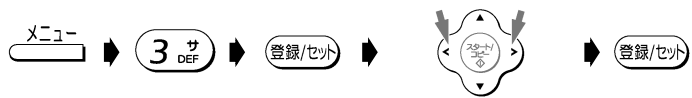
どちらかを押すと切り替わる
カンタン ジュシン ○×：する
カンタン ジュシン ○×：しない

- 相手が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合はファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手がファクスだったら親機では［スタート／コピー］ボタン、または子機では［内線］ボタンを押したあと［6］を押すと受信できます。

いたずらファクスでお困りのとき

ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。

バックライト色を変える（お買い上げのとき：ライトブルー）

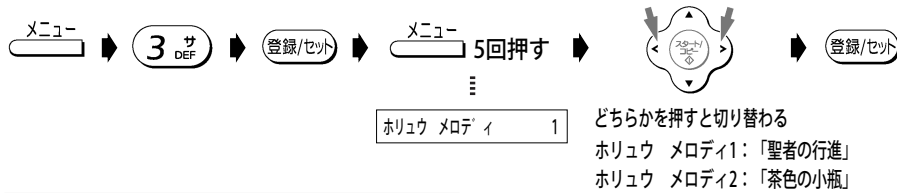
通常の操作時に、液晶ディスプレイが何色で発光するかを選べます。

どちらかを押すと切り替わる

- ライトブルー
- グリーン
- オレンジ
- ブルー
- レッド
- ライムグリーン
- ピンク
- アクアマリン
- ピーチ
- バイオレット

保留メロディを変える（お買い上げのとき：保留メロディ1「聖者の行進」）

電話を保留したときに相手に流すメロディ音を「聖者の行進」または「茶色の小瓶」から選べます。

ホリュウ メロディ　1

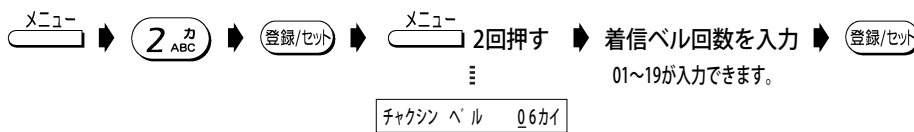
どちらかを押すと切り替わる
ホリュウ　メロディ1：「聖者の行進」
ホリュウ　メロディ2：「茶色の小瓶」

設定した保留メロディを確認したいとき

［<］または［>］で保留メロディを選択しているとき、親機の［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと、選んだメロディが鳴ります。

着信ベル回数を変える（お買い上げのとき：6回）

- 電話／ファクス自動切替で、自動的に回線が接続されるまでに鳴る着信ベルの回数（1～19回）を設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）

01～19が入力できます。

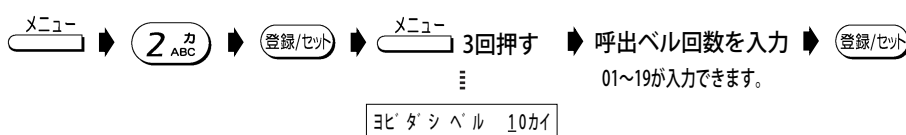
チャクシン ベル　06カイ

着信ベル回数の入力を間違えたとき［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

- 着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手側に料金がかかります。
- 着信ベルの回数は、なるべく9回以下で設定してください。10回以上に設定すると相手がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
- 「無鳴動着信する」に設定していると、着信ベル回数を変えても反映されません。「無鳴動着信しない」に設定し直してください。無鳴動着信➡下記
- 「トールセイバをする」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定に関わらずトールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは「トールセイバをしない」に設定してください。トールセイバ➡p50
- 子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。

呼出ベル回数を変える（お買い上げのとき：10回）

- 電話／ファクス自動切替で、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルの回数（1～19回）を設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0をつけて2桁にしてください。（例：8回→08と入力）

01～19が入力できます。

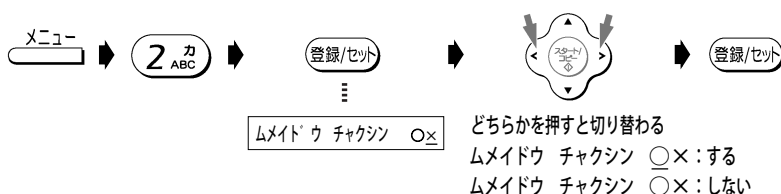
ヨビダシ ベル　10カイ

呼出ベル回数の入力を間違えたとき［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

- 回線が接続された時点から相手側に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。

ファクスのときはベルを鳴らさない<無鳴動着信>（お買い上げのとき：しない）

- ファクスが送られてきたとき、着信ベルを鳴らさず、すぐにファクスを受信することができます。
- 相手が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。
- 相手がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください。手動で受ける➡p37
- トールセイバを「する」に設定すると、留守設定中は無鳴動着信にはなりません。トールセイバ➡p50

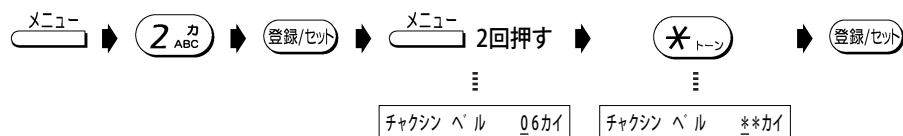
ムメイドウ チャクシン　○×

どちらかを押すと切り替わる
ムメイドウ　チャクシン　○×：する
ムメイドウ　チャクシン　○×：しない

- 無鳴動着信を「する」に設定すると、着信ベルを鳴らさず回線を接続します。回線が接続された時点から、相手側に料金がかかります。

いつも電話で受ける<電話モード>（お買い上げのとき：着信ベル回数6回）

ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料金が相手にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使えるよう設定できます。ファクスを受信するときは手動またはファクスかんたん受信で行ってください。

チャクシン ベル 06カイ

チャクシン ベル ＊＊カイ

・無鳴動着信で使っているときは、電話モードになりません。「無鳴動着信しない」に設定してから電話モードにしてください。無鳴動着信 ➜p52
・電話モードに設定し、トールセイバを「しない」に設定（ ➜ p50）している場合、留守設定中は着信ベルが5回鳴ったあと留守機能が働きます。

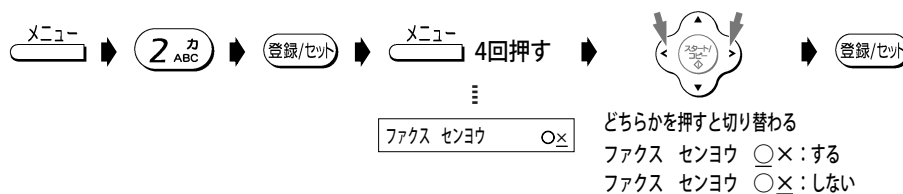
電話モードを解除したい

上記の［＊］を入力する代わりに着信ベル回数（01～19）を入力してください。着信ベル回数 ➜52

いつもファクスで受ける<ファクス専用モード>（お買い上げのとき：しない）

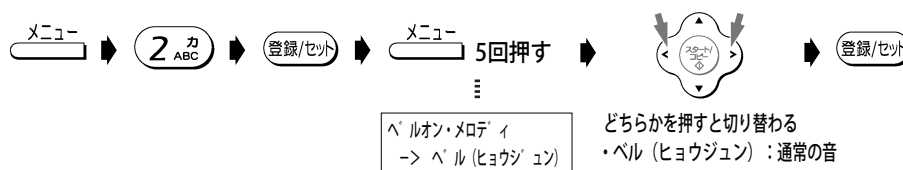
着信ベルが設定した回数（ ➜ p52）だけ鳴ったあと自動的にファクスを受信します。相手からかかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手が電話ならば話ができます。

ファクス センヨウ ○×

どちらかを押すと切り替わる
ファクス センヨウ ○×：する
ファクス センヨウ ○×：しない

・電話モードに設定してある場合、ファクス専用モードを「する」に設定しても電話モードが優先され、ファクス専用モードになりません。電話モードを解除してください。電話モード ➜上記
・無鳴動着信にしている場合は、着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。 この場合は電話が受けられません。
・留守設定中は、ファクス専用モードの設定をしても留守設定が優先されます。留守を設定すると ➜p43

ベルの音色／メロディを変える（お買い上げのとき：ベル（標準））

着信ベルの音色を変えることができます。また、ベルの代わりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も親機と同じ音に変わります。
自分の好きなメロディ（オリジナル着信メロディ）を入力して鳴らしたり、コミスタサービスを利用している場合、メロディを取り込んで（コミスタメロディー）鳴らすこともできます。

ベルオン・メロディ
-> ベル（ヒョウジュン）

どちらかを押すと切り替わる
・ベル（ヒョウジュン）：通常の音
・ベル（ナリワケ）　：「ヒョウジュン」とは違う音
・メロディ（A）　：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
・メロディ（B）　：春
・メロディ（C）　：トルコ行進曲
・オリジナルメロディ　：オリジナル着信メロディ（➜p54 ）で入力した曲
・コミスタメロディー　：コミスタの着信メロディーダウンロードサービス（➜p66 ）で取り込んだ曲

・ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手からの電話は、着信鳴り分けで設定した着信音が鳴ります。
・オリジナル着信メロディを登録していないとき、オリジナルメロディを選択すると「ドレミファソラシド」と鳴ります。
・コミスタサービスにより着信メロディを取り込んでいないときは“コミスタメロディー”は表示されません。
・コミスタの着信メロディーの試聴は和音のメロディーですが、ダウンロードしたあとの再生は単音メロディーとなります。曲目によっては、再生時に曲調が乱れる場合があります。

現在の着信ベルを確認したい

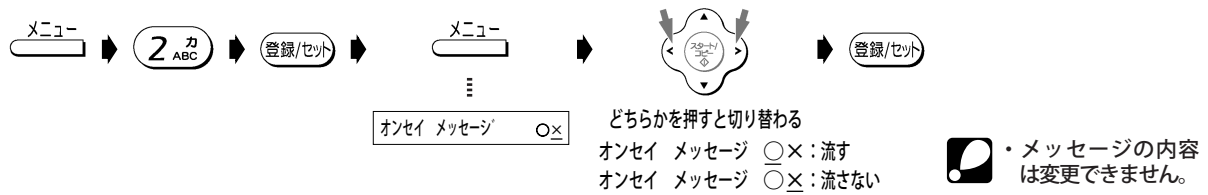
［<］または［>］で着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量▲］または［音量▼］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［音量］ボタンでは確認できません。音量を調整する ➜p33

電話をかけてきた相手にメッセージを流す（お買い上げのとき：流さない）

電話／ファクス自動切替で自動的に回線が接続されたときに、相手が電話だった場合「お呼び出しいたしますので、しばらくお待ちください」というメッセージを流すことができます。

オンセイ メッセージ ○×

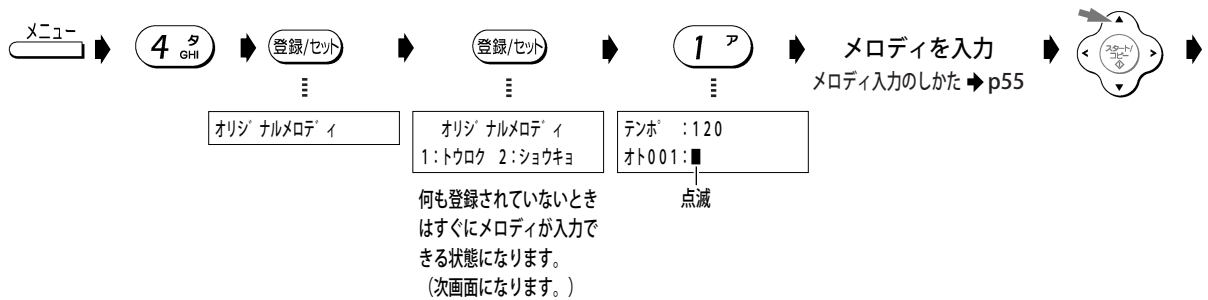
どちらかを押すと切り替わる
オンセイ メッセージ ○×：流す
オンセイ メッセージ ○×：流さない

・メッセージの内容は変更できません。

着信メロディを自分で作る<オリジナル着信メロディ>

自分の好きな曲を登録し、着信メロディとして利用できます。登録できる曲数は1曲で、音符（休符も含む）の数で128音までです。

・オリジナル着信メロディは「ベルの音色／メロディを変える」やナンバー・ディスプレイ使用時の「着信鳴り分け」で、着信メロディとして選ぶことができます。

ベルの音色／メロディを変える ➜p53
着信鳴り分け ➜p71

■ 登録する

➜ 曲の速さ（テンポ）を入力 ➜ 登録/セット ➜ 登録/セット

テンポは3桁の数字（060〜186）で入力します。
数が小さいと曲の速さは遅くなり、大きいと速くなります。

テンポの入力を間違えたとき ［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

途中でメロディの確認をしたいとき ［音量］ボタンを押してください。入力中のメロディがくり返し再生されます。再生を止めるときは［ストップ］ボタンを押してください。

登録されているメロディを確認したいとき 「1：トウロク」を選んだあと［音量］ボタンを押すと、メロディが再生されます。再生を止めたいときは［ストップ］ボタンを押してください。

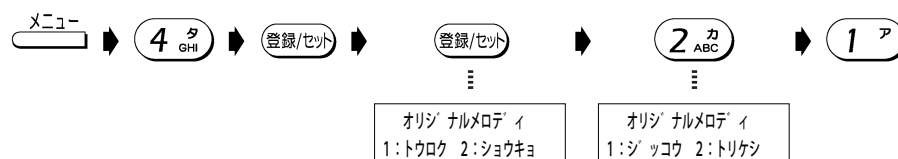
登録されているメロディを修正したいとき 「1：トウロク」を選ぶと、すでに登録されているメロディが表示されます。［<］または［>］を押し、修正したい音を表示させてから［消去］ボタンを押すと、音が消去されます。そのあと新しい音を入力してください。

新しいメロディを登録したいとき すでに登録されているメロディを消してから、登録し直してください。

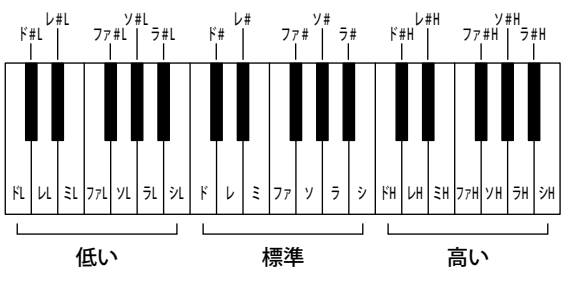
入力した着信メロディをプリントしたい

同じ曲をもう一度登録する場合に使うと便利です。オリジナル着信メロディの登録内容をプリントする ➜p60

■ 消去する

オリジナルメロディ 1：トウロク 2：ショウキョ	オリジナルメロディ 1：ジッコウ 2：トリケシ

消去をやめたいとき 「2：トリケシ」を選んでください。1つ前の表示に戻ります。

メロディ入力のしかた

■ 使用できる音程

同じ列の音符を続けて入力するとき「ド」「ド＃」のように同じ列の音符を続けて入力するときは「ド」を入力したあと［>］を押してから次の音符を入力してください。「ド」「ミ」のように異なる列の音符を入力するときは［>］を押さなくても入力できます。

続けて同じ音符または休符を入力するとき［8］を押します。

■ 音の長さとボタン入力の対応表

ボタン	ディスプレイ表示	音符（休符）
＊トーン または #	ゼン	全音符（休符）
	2	2分音符（休符）
	4	4分音符（休符）
	8	8分音符（休符）
	16	16分音符（休符）
9 ラ WXYZ	2°	付点2分音符（休符）
	4°	付点4分音符（休符）
	8°	付点8分音符（休符）

＊トーン を押したとき

［＊］を押すたびに以下の順番で音の長さが変わります。

→「4」→「8」→「16」→「ゼン」→「2」

 # を押したとき

［#］を押すたびに以下の順番で音の長さが変わります。

→「4」→「2」→「ゼン」→「16」→「8」

9 ラ WXYZ を押したとき

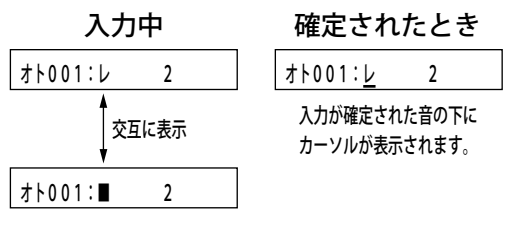
［9］を押すたびに以下の順番で音の長さが変わります。

→「4°」→「8°」→「2°」

■ 音程とボタン入力の対応表

押す回数	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	0 ワ 記号
1回	ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	■(休符)
2回	ド#	レ#	ミH	ファ#	ソ#	ラ#	シH	
3回	ドH	レH	ミL	ファH	ソH	ラH	シL	
4回	ド#H	レ#H		ファ#H	ソ#H	ラ#H		
5回	ドL	レL		ファL	ソL	ラL		
6回	ド#L	レ#L		ファ#L	ソ#L	ラ#L		

■ 入力中のディスプレイ表示

ディスプレイに音程と■が交互に表示されているときは、その音の入力はまだ未確定状態です。同じダイヤルボタンを押して同じ列の音に変更したり、音の長さを変更したりできます。

オリジナルメロディリストの見かた

オリジナルメロディリストには、テンポ、入力した音程と音の長さ、および入力時に押したボタンの種類と回数がプリントされます。

- ［#］を押して音の長さを入力した箇所は、その長さを［＊］によって入力した場合に換算し、その回数分だけ「＊」がプリントされます。
  （［#］を1回押して4分音符から2分音符に変更した場合「＊＊＊＊」とプリントされます）
- ［9］を押して付点音符の長さを入力した箇所は、押された回数分だけ「9」がプリントされます。
  （［9］を3回押して4分音符から付点2分音符に変更した場合「999」とプリントされます）
- ［8］を押して同じ音符を入力した箇所は、［1］～［7］［9］［＊］［#］で入力した場合に置きかえてプリントされます。
  （［1］［＊］［8］を入力した場合「1」「＊」「>」「1」「＊」とプリントされます）
- 音程とダイヤル入力表の同じ列の音を続けて入力した箇所は、音の区切りに入力した［>］がプリントされます。
  （「ソ」の音を続けて入力した場合「5」「>5」とプリントされます）

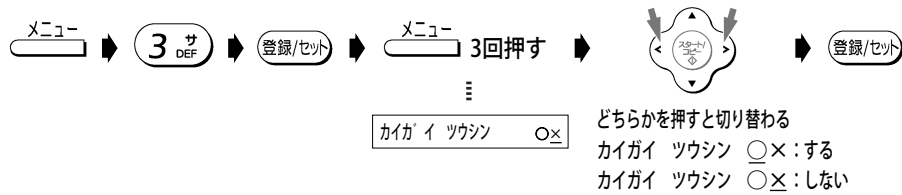
<オリジナルメロディ入力例>　曲名：歌劇「魔笛」より　「パパゲーノのアリア」

［1］ド　［4］［＊］ファ(8分音符)　［0］［＊］8分休符　［4］ファ　［5］［＊］ソ(8分音符)　［0］［＊］8分休符　［5］ソ　［6］［9］［9］ラ(付点8分音符)　［8］［6］［＊］［＊］ラ＃(16分音符)　［>］カーソル移動　［6］［9］［9］ラ(付点8分音符)

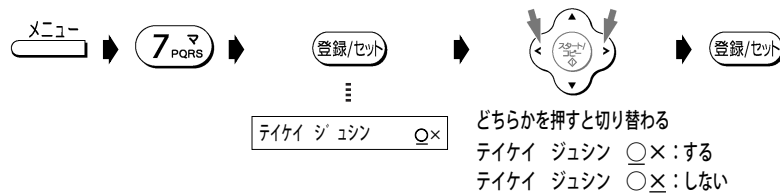
［5］［＊］［＊］ソ(16分音符)　［4］［＊］ファ(8分音符)　［0］［＊］8分休符　［4］ファ　［6］［6］［＊］ラ＃(8分音符)　［0］［＊］8分休符　［6］［6］ラ＃　［>］カーソル移動　［6］［9］［9］ラ(付点8分音符)　［5］［＊］［＊］ソ(16分音符)

［6］［9］［9］ラ(付点8分音符)　［8］［6］［＊］［＊］ラ＃(16分音符)　［5］［9］［9］［9］ソ(付点2分音符)

海外にファクスを送るとき（お買い上げのとき：しない）

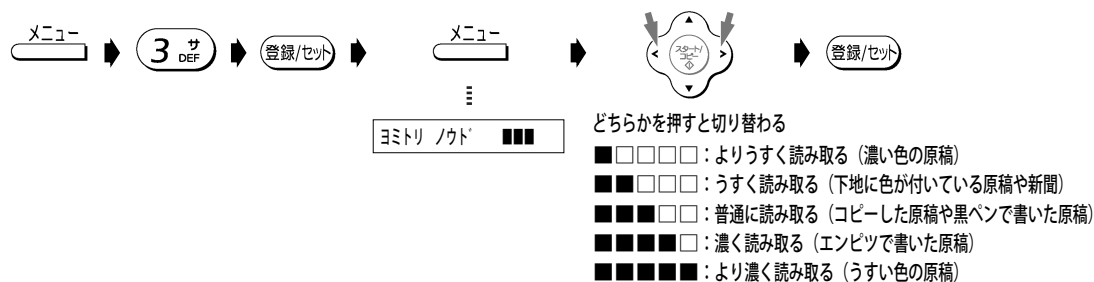
海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻してください。

・海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。

受信したファクスを縮小する<定型受信>（お買い上げのとき：する）

・定型受信「する」に設定すると、送信される文書が発信元記録の付加などで縦方向にA4サイズをわずかに超える場合も縦方向に93%縮小してプリントします（縮小率93%は固定です）。
・「する」に設定すると縮小（93%）することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、定型受信「しない」に設定してください。
・「しない」に設定すると、受信した原稿を等倍（原寸大）でプリントします。
・「する」「しない」いずれの場合でも、印字範囲を縦方向にはみ出した部分は次の記録紙にプリントされます。

ファクスやコピーの読み取り濃度を変える（お買い上げのとき：普通）

用紙に色がついているときや原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信やコピーの前に設定してください。ファクス送信やコピーが終わったら「普通」（■■■□□）に戻してください。

ヨミトリ ノウド ■■■

どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく読み取る（濃い色の原稿）
■■□□□：うすく読み取る（下地に色が付いている原稿や新聞）
■■■□□：普通に読み取る（コピーした原稿や黒ペンで書いた原稿）
■■■■□：濃く読み取る（エンピツで書いた原稿）
■■■■■：より濃く読み取る（うすい色の原稿）

・次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
　ー 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
　ー うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
　ー 赤い紙に黒で書かれた原稿（赤色は黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
・受信したファクスが不鮮明なときは、相手側で調整し、送信し直してもらってください。

読み取りの具合を確認したい

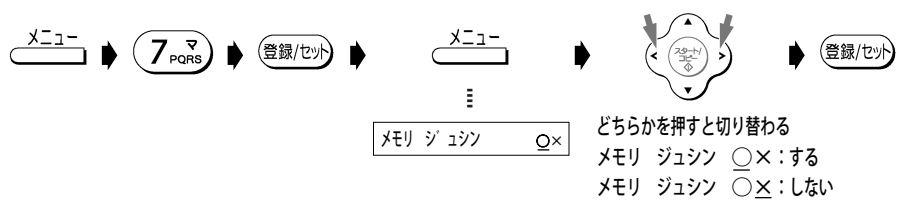
ファクス送信をする前にコピーを取って確認してください。コピーを取る ➔p39

ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積する<メモリ受信>

（お買い上げのとき：する）

メモリ受信を「する」に設定すると、ファクス受信のとき、いったんメモリに蓄積してからプリントします。

メモリ ジュシン ○×

どちらかを押すと切り替わる
メモリ ジュシン ○×：する
メモリ ジュシン ○×：しない

- 「する」に設定すると、写真などのデータ量の多い原稿は受信できないことがあります。そのときは、不要な用件を消去する（➔p45 ）か、メモリ受信を「しない」に設定してください。
- 「しない」に設定したとき、ファクス受信中に以下がおこると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません（メモリ代行受信も行いません）。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください。
  - 記録紙がなくなった
  - インクフィルムがなくなった
  - 操作パネルが開いた
  - 記録紙がつまった
  - サーマルヘッドが過熱した

記録紙モードの設定（お買い上げのとき：普通紙）

本機にセットする記録紙は、普通紙または感熱紙のうち、いずれかを選べます。

セットする記録紙	インクフィルム	記録紙モード
普通紙	必要	フツウシ
感熱紙	不要	カンネツシ

記録紙モードの設定を間違えた場合（感熱紙を使用するのに“フツウシ”を選択してしまったなど）は、いったん操作パネルを開け、閉じるとインジモード選択の手順になりますので選択し直してください。

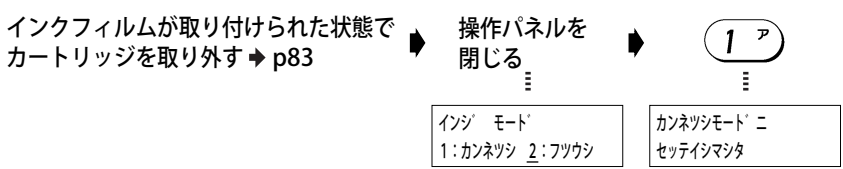
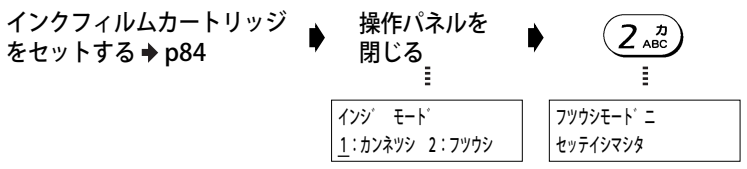
■ 普通紙モードから感熱紙モードに変更する

- 感熱紙モードで使用するときは、必ず感熱紙をセットしてください。普通紙をセットすると、白紙となります。
- 普通紙モードで使用するときは、必ず普通紙をセットしてください。感熱紙をセットすると故障の原因になることがあります。
- 感熱紙の印字面を必ず「下向き」にして記録紙カセットにセットしてください。裏・表を間違えると、白紙となります。
  記録紙を準備する ➔p14
- 感熱紙モードのときに普通紙をセットしたり、感熱紙の裏・表を間違えたりして白紙となった場合、ファクス受信した内容は再プリントできませんので注意してください。
- 取り外したカートリッジ（インクフィルムが取り付けられた状態）は直射日光の当たらない場所に保管してください。

インクフィルムが取り付けられた状態でカートリッジを取り外す ➔ p83 ➔ 操作パネルを閉じる ➔ 1 ア

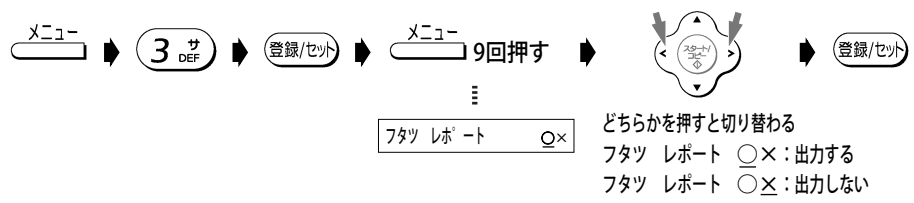
■ 感熱紙モードから普通紙モードに変更する

インクフィルムカートリッジをセットする ➔ p84 ➔ 操作パネルを閉じる ➔ 2 カ ABC

インジ　モード
1：カンネツシ　2：フツウシ

不達レポートを出力する（お買い上げのとき：する）

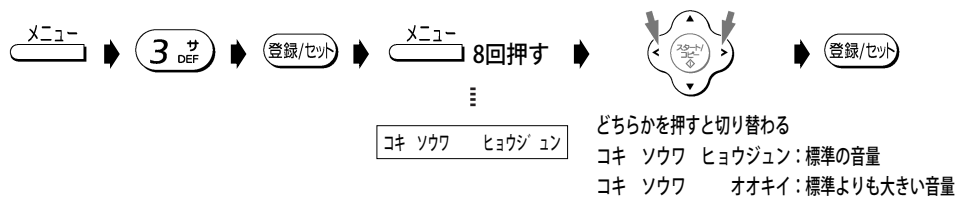
ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートを出力することができます。

フタツ レポート ○×

どちらかを押すと切り替わる
フタツ レポート ○×：出力する
フタツ レポート ○×：出力しない

子機の送話音量を全体的に大きくする（お買い上げのとき：標準）

相手側でこちら側の子機の声が聞こえにくいときは、送話音量を「大きい」に設定してください。相手側で声が聞き取りやすくなります（親機で操作します）。

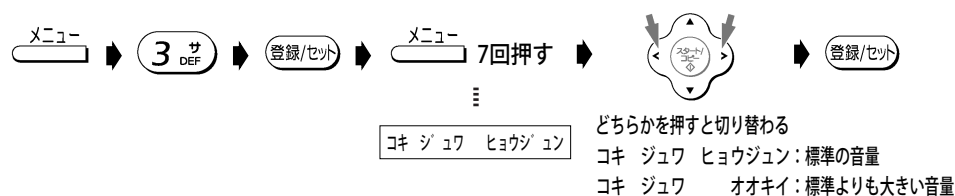
コキ ｿｳﾜ　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

どちらかを押すと切り替わる
コキ　ソウワ　ヒョウジュン：標準の音量
コキ　ソウワ　　オオキイ：標準よりも大きい音量

・内線通話時の送話音量は変更されません。

子機の受話音量を全体的に大きくする（お買い上げのとき：標準）

相手側の声が聞き取りにくいときは、受話音量を「大きい」に設定してください（親機で操作します）。

コキ ｼﾞｭﾜ　ﾋｮｳｼﾞｭﾝ

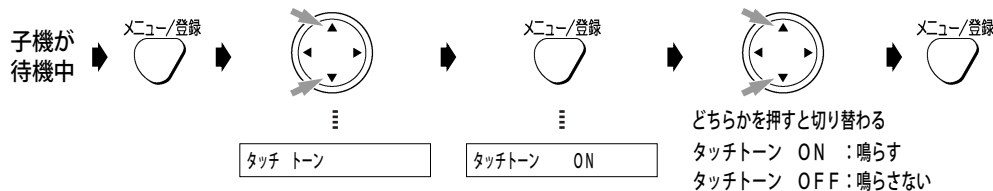
どちらかを押すと切り替わる
コキ　ジュワ　ヒョウジュン：標準の音量
コキ　ジュワ　　オオキイ：標準よりも大きい音量

・ここでの設定では、内線通話時の受話音量は変更されません。

子機のキータッチトーンを設定する（お買い上げのとき：鳴る）

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行えていることが、この音で確認できます。子機では、このキータッチトーンを鳴らさないようにすることができます。

ﾀｯﾁ ﾄｰﾝ

ﾀｯﾁﾄｰﾝ　ON

どちらかを押すと切り替わる
タッチトーン　ON　：鳴らす
タッチトーン　OFF：鳴らさない

・キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音も鳴らなくなります。ただし、キータッチトーンのON／OFFを設定したときの音は鳴ります。
・親機のキータッチトーンを鳴らさない設定にすることはできません。

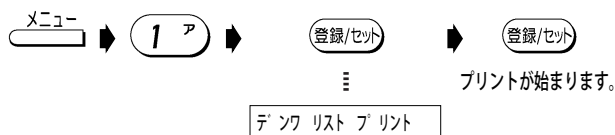
電話番号リストなどをプリントする

あなたが登録や変更した内容などをプリントできます。

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする

・電話番号リストは、次の順にプリントされます。
　空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 名前を登録していない電話番号
・電話番号リストは、1ページに50件までプリントされます。

デﾞンワ リスト プﾟリント

プリントが始まります。

・子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
・電話帳に電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“デンワバンゴウミトウロク”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

デ゛ンワ　バ゛ンゴ゛ウ　リスト（1）

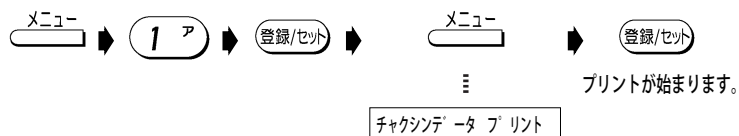
2001. 10.　1　11：56

ニチデ゛ンタロウ

アイテサキ	デ゛ンワ　バ゛ンゴ゛ウ	チャクシン　ナリワケ	プ゜ライベ゛ート　コール
イトウ	0312345678	シテイナシ	スベ゛テ
カトウ	0112222333	ベ゛ル（ナリワケ）	ナイセン1（オヤキ）
キクオ	0537799000	ベ゛ル（ヒョウジ゛ュン）	ナイセン2（コキ）

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする

チャクシンデﾞータ プﾟリント

プリントが始まります。

・子機に記憶された着信データはプリントできません。
・ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません。
・着信データが記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合

チャクシンデ゛ータ　リスト

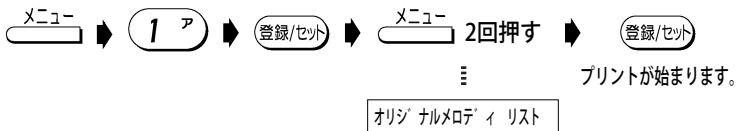
2001. 10.　1　12：50

ニチデ゛ンタロウ

No.	チャクシンニチジ゛	チャクシンデ゛ータ	アイテサキ
1	10.　1　12：47	123456	ニッポ゜ンデ゛ンキ
2	10.　1　11：47	ヒツウチ	
3	9. 21　12：00	コウシュウデ゛ンワ	

オリジナル着信メロディの登録内容をプリントする

メニュー ➡ 1ア ➡ 登録/セット ➡ メニュー 2回押す ➡ 登録/セット

プリントが始まります。

オリジ゛ナルメロデ゛ィ リスト

・オリジナル着信メロディが登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに"オリジナルメロディミトウロク"と表示されます。

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

オリジ゛ナルメロデ゛ィ リスト

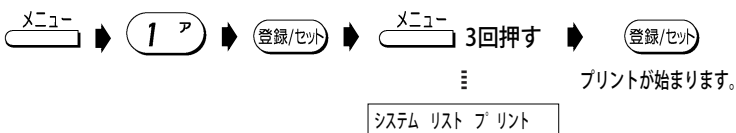
テンポ゜：140

1：ド゛ 4	2：ファ 8	3：■ 8	4：ファ 4	5：ソ 8	6：■ 8	7：ソ 4
1	4*	0*	4	5*	0*	5

8：ラ 8゜	9：ラ# 16	10：ラ 8゜	11：ソ 16	12：ファ 8	13：■ 8	14：ファ 4
699	>66**	>699	5**	4*	0*	4

本機の設定状態（システムリスト）をプリントする

メニュー ➡ 1ア ➡ 登録/セット ➡ メニュー 3回押す ➡ 登録/セット

プリントが始まります。

システム リスト フ゜リント

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

システム リスト

2001. 10. 1 16：13

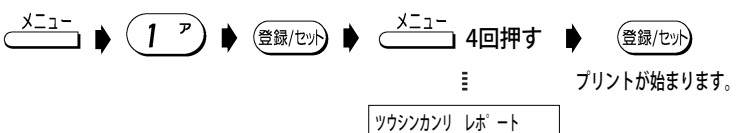
NEC

コウモク	ナ イ ヨ ウ
ムメイド゛ウ チャクシン	シナイ
オンセイ メッセージ゛	ナガ゛サナイ
チャクシンベ゛ル カイスウ	6 カイ

通信管理レポートをプリントする

ファクスを送信または受信した履歴を、最新の20件までプリントします。

メニュー ➡ 1ア ➡ 登録/セット ➡ メニュー 4回押す ➡ 登録/セット

プリントが始まります。

ツウシンカンリ レポ゜ート

途中でプリントをやめたいとき ［ストップ］ボタンを押してください。

プリント例

ツウシン カンリ レポ゜ート

2001. 10. 27 13：54

ニッポ゜ン デ゛ンキ

(ソウシン)

ツウシン カイシ ニチジ゛	ツウシン ジ゛カン	ア イ テ サ キ	モード゛	マイスウ	ツウシン ケッカ
10. 1 13：07	0'27"	30	ECM	1	O. K.
10. 1 13：43	0'26"	イトウ	ECM	1	O. K.
10. 3 13：43	0'29"	カトウ	ECM	1	O. K.

コミスタを利用する

ここでは、NTT コミュニケーションズが提供するコミスタのいろいろなサービスとご利用のしかたなどを説明しています。

コミスタとは、NTTコミュニケーションズが提供するサービスで、ACR（自動電話会社選択）機能、割引サービス簡単自動登録機能、着信メロディーダウンロードサービス、料金表示サービスを含みます（平成13年9月現在のサービス内容です）。

コミスタを利用した便利な機能

コミスタの機能は本機をつなぐだけの操作でご利用いただけるようになります。基本料金もかかりません。

➔本ページ右側

- ACR（自動電話会社選択）機能＊1
  市外（県外）＊2通話の際、NTTコミュニケーションズの回線を選択＊3します。
  （マイラインプラスをご利用の場合は、マイラインプラスに登録した電話会社のご利用となります。➔p67）
- 割引サービス簡単自動登録機能
  簡単な操作で市外（県外）＊2・国際通話がまるごと最大30%おトクになる「ホーム・オフィス割引」と「長期利用割引（コーレージ割引）」のお申し込み登録ができます。➔p64
- 着信メロディーダウンロードサービス
  常時100曲のラインナップの中から着信メロディーを1曲ダウンロードできます（試聴もできます＊4）。使用料は無料です。＊5 ➔p66
- 料金表示サービス
  ご利用になった通話料金がディスプレイに表示されます。➔p66
  （NTTコミュニケーションズの回線を選択したときのみ）

＊1 コミスタ搭載電話機が市外（県外）通話でNTTコミュニケーションズを選択した際は、自動的に識別番号「0033」をつけて発信します。 ➔67

＊2 市外（県外）通話とは、NTT東日本またはNTT西日本の電話回線・ISDN回線からの都道府県をまたがる市外通話／通信で、この場合の都道府県は行政区分上の都道府県と異なる場合があります。詳しくは、NTTコミュニケーションズ（0120−506506）までお問い合わせください 。

＊3 他の電話会社と市外通話料金を比較することができます（お申し込み手続きが必要です）。➔p63

＊4 着信メロディーの試聴は和音のメロディーですが、ダウンロードしたあとの再生は単音メロディーとなります。曲目によっては、再生時に曲調が乱れる場合があります。

＊5 横浜（045）までの通話料がかかります。

コミスタについてのお問い合わせは

NTTコミュニケーションズ
コミスタサービスセンター

0120−083956（オヤスクコール）（無料）
※携帯・自動車電話・PHSからもご利用になれます。

受付時間　午前9:00〜午後9:00（年末年始は除く）

コミスタに関する情報は、ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス
http://www.ntt.com/comista/

ご利用にあたってのご注意

他社の割引サービスにご加入されている場合は、割引が適用されなくなる場合があります。また、定額料のかかる他社の割引サービスにご加入の場合、他社から定額料のみ請求されるおそれがありますのでご注意ください。

ご利用についてのお願い

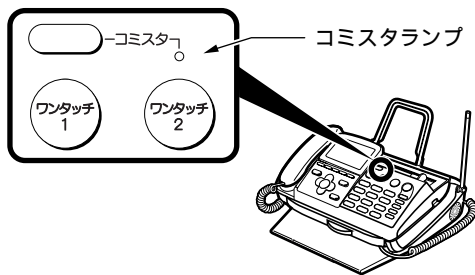
次のような使いかたをされる場合は、コミスタが使えなかったり、正しくはたらかない場合がありますので、必ず「コミスタサービスセンター」（➔本ページ左側）までご連絡ください。

- 他の電話会社のACR/LCR用アダプタをお使いの場合は、取り外してから本機をつないでください（取り外したACR/LCR用アダプタについては、加入されている電話会社にお問い合わせください）。
- 本機と他の電話機やパソコン、ファクスなどを並列につなぐと、NTTコミュニケーションズのセンターからのACRデータが受信できないことがあります。
- 本機と他のACR/LCR付電話機を並列につながないでください。それぞれの電話機でACR機能をはたらくようにしておくと、ACRデータが受信できなくなり、コミスタ機能が正しくはたらかなくなります。
- 本機をINSネット64にターミナルアダプタを通してつないでいる場合は、ターミナルアダプタの種類によっては、ACRデータの受信ができない場合があります。
- この電話回線がピンク電話契約の場合、コミスタはご利用いただけません。必ず「コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）」の操作を行ってください。➔p62

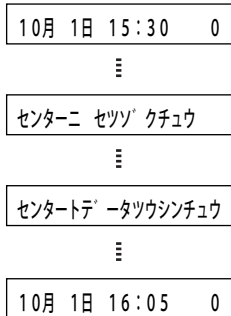
コミスタを利用するには

お買い求め時、電話回線に接続し、本機の電源を入れると、自動的に利用が開始されます。

- データ受信中は電話はかけられません。データ受信を終了または中断し、待機画面に戻ってからご利用ください。
- データ受信中に受話器をとる、または［ストップ］ボタンを押すと、データの受信は中断されます。
  “センターニ　セツゾクチュウ”表示中は受話器を取っても、データの受信は中断されません。
  子機の［通話］ボタンを押す、または親機の［オンフック］ボタンを押してもデータの受信は中断されません。
- コミスタのご利用開始後も、料金の改定などによりデータの更新を行うため、本機が自動的にNTTコミュニケーションズのセンターへ発信することがあります（通話料無料）。

・NTTコミュニケーションズのセンターへ自動的に発信した際には、NTT東日本またはNTT西日本の発信者番号通知サービスにより、お客様の電話番号がNTTコミュニケーションズのセンターに通知されます。
・この通知は「割引サービス簡単自動登録」機能による割引サービス開始手続きを行うため、および最新の料金情報を送るために必要な情報であり、他の目的に使用するものではありません。この場合「通常非通知」を契約されているお客様の番号も「186」が自動的に付加され、電話番号がNTTコミュニケーションズに通知されますのでご了承ください。また、NTTコミュニケーションズより、確認のため電話連絡が入る場合があります。
・電源を入れてから約30分以内にコミスタの利用を「しない」に設定する（➔本ページ右側）と、NTTコミュニケーションズのセンターへの発信が行われません。コミスタ機能を利用するためには、「コミスタを再びご利用になる場合は（コミスタオン）」（➔本ページ右側）を行ってください。
・ISDN回線ご利用のお客様は、ISDNの契約条件および端末の設定内容によってはデータが正常に受信できないことがあります。
・本機を電話回線に接続後、1日たってもコミスタランプが点灯しないときは、「コミスタのデータを新たに受け取るには」（➔p63）の操作を行ってください。操作してもコミスタランプが点灯しないときは、コミスタサービスセンター（➔p61）にご連絡ください。

1 本機を電話回線に接続し、電源を入れる

回線の種類が自動設定されます。➔p15
約30分後に本機が自動的にNTTコミュニケーションズのセンターに電話をかけ、登録を行います（通話料無料）。
コミスタを利用するのに必要なデータが電話回線を通じて送られてきます。
しばらくすると待機画面に戻り、コミスタランプが点灯し、コミスタがご利用になれます。

10月 1日 15:30 0
⋮
センターニ セツゾクチュウ
⋮
センタートデータツウシンチュウ
⋮
10月 1日 16:05 0

コミスタをご利用にならない場合は 「コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）」、再び利用する場合は「コミスタを再びご利用になる場合は（コミスタオン）」の操作をしてください。➔ 本ページ右側

コミスタに関して問い合わせる

コミスタサービスセンターに、電話による問い合わせができます（通話料無料）。

1 [コミスタ] を3回押す

2 [登録/セット] を押す

コミスタ トイアワセ
1:ジッコウ 2:トリケシ

3 [1 ア] を押す

問い合わせをやめたい ［2］ボタンを押します。

4 受話器を取る

オペレータにお問い合わせの件をお話しください。

5 用件が済んだら、受話器を戻す

NTTコミュニケーションズに関して問い合わせる

コミスタ以外のNTTコミュニケーションズのサービスについての質問がある場合は、次の操作を行います。

1 [コミスタ] を4回押す

2 [登録/セット] を押す

NTTコム トイアワセ
1:ジッコウ 2:トリケシ

3 [1 ア] を押す

問い合わせをやめたい ［2］ボタンを押します。

4 受話器を取る

オペレータにお問い合わせの件をお話しください。

5 用件が済んだら、受話器を戻す

コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）

コミスタをご利用にならない場合は、コミスタ機能をオフ（解除）することができます。

・コミスタのご利用を解除されますと、着信メロディーダウンロードサービスと料金表示サービスがご利用いただけなくなります。
・コミスタのご利用を解除された場合でも、NTTコミュニケーションズのセンターからデータが送信されることがありますが、コミスタをご利用にならない状態のままになります。
・NTTコミュニケーションズのセンターからのデータ送信を停止したい場合は、コミスタサービスセンター（➔p61）にお申し出ください。

1 [コミスタ] を7回押す

コミスタサービス リヨウ ○×

2 [◀][▶] どちらかを押して“×”にカーソルを合わせる

3 [登録/セット] を押す

自動的に設定が完了して、コミスタランプが消灯します。

コミスタを再びご利用になる場合は（コミスタオン）

1 [コミスタ] を7回押す

コミスタサービス リヨウ ○×

2 [◀][▶] どちらかを押して“○”にカーソルを合わせる

3 [登録/セット] を押す

上記操作のあと、コミスタランプが早い点滅をしているときは、コミスタデータを正常に受信できていません。そのときは、「コミスタのデータを新たに受け取るには」（➔p63）の操作を行ってください。

コミスタを利用して電話をかける

直接相手の方の電話番号をダイヤルしてください。市外（県外）通話をおかけになる場合に、NTTコミュニケーションズの回線を自動的に選択します。また、他の電話会社の市外通話料金と比較することもできます。

コミスタ **コミスタが利用されると、コミスタランプが数秒間点滅します。**

・NTTコミュニケーションズをご利用になった通話料金については、NTT東日本またはNTT西日本利用分（基本料金等）といっしょに請求されます。
・ダイヤル中に受話口からダイヤル音が少し漏れて聞こえる場合があります。

コミスタを利用して国際電話を使う

「010＋相手国番号＋相手国内番号」の順にダイヤルしてください。NTTコミュニケーションズの回線を自動的に選択します（マイラインプラスをご利用の場合は、マイラインプラスに登録した電話会社のご利用となります）。

［例］アメリカへかける場合
［0］［1］［0］→1→×××−×××−××××
相手国番号　相手国内番号

平成15年4月までは、「0033＋相手国番号＋相手国内番号」でもNTTコミュニケーションズをご利用いただけます。

特定の通話に限り電話会社を指定して電話をかける

特定の通話に限り、電話会社を指定して電話をかける場合は、当該電話会社の識別番号を、おかけになる電話番号の前に押してください。

他の電話会社の市外通話料金と比較する

市外通話について、日本テレコム、KDDI（001番国内電話および0070は対象外）のうち、お客様がご指定のいずれか1社と料金の比較をすることができます。

・料金比較は3分間ご利用時の基本通話料金で行い、同額の場合はNTTコミュニケーションズ「市外（県外）通話」に接続します。マイラインプラスをご利用の場合は、マイラインプラスに登録した電話会社のご利用となります。➔ p67
・他の電話会社の市外通話料金との比較は、お申し込みが必要です。コミスタサービスセンターまでお申し出ください。➔ p61
・他の電話会社との料金比較をご希望された場合、比較の結果、他の電話会社に接続された通話は、割引サービス簡単自動登録機能でお申し込みいただいたホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）が適用されません。割引サービス簡単自動登録機能でホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）をご利用の場合は、「他の電話会社の市外通話料金との比較」を申し込まれないことをおすすめいたします。

親機のコミスタランプ表示について

コミスタランプが消灯しているときは、コミスタは使えません。

点灯………… コミスタが正常に動作しています。
遅い点滅…… ・着信メロディーを受信中のとき
・電話をかけるときに、コミスタでNTTコミュニケーションズが選択されたとき
・コミスタのデータを受信中のとき
速い点滅……コミスタのデータが正常に受信できていないとき「コミスタのデータを新たに受け取るには」の操作を行ってください。➔本ページ右側
消灯…………お買い求め時、またはコミスタが動作していません。「コミスタを再びご利用になる場合は（コミスタオン）」の操作を行ってください。➔ p62
操作後、本機が自動的にNTTコミュニケーションズのセンターへ発信します（通話料はかかりません）。コミスタ利用に必要なデータが電話回線を通じて送られてきます。コミスタランプが再び点灯すると、コミスタがご利用になれます。

・「コミスタのデータを新たに受け取るには」（➔下記）の操作を行ってもコミスタランプが点灯しないときは、コミスタサービスセンターへお申し出ください。➔ p61

転居したときは

転居先で本機をつないだときは、コミスタランプをお確かめください。

コミスタランプが点灯している場合
コミスタの転居前の古いデータが保持されています。

コミスタランプが消灯している場合
コミスタのデータが消えています。

コミスタランプの点灯・消灯にかかわらず、再度データを受け取る必要があります。「コミスタのデータを新たに受け取るには」の操作を行ってください。➔ 下記
必要なデータが電話回線を通じて送られてきます。コミスタランプが点灯に変われば、コミスタの各機能がご利用になれます。

コミスタのデータを新たに受け取るには

転居などによりお客様のデータが変更になった場合、コミスタのデータを新たに受け取ることができるようにする必要がありますので、次の操作をしてください。

・他の電話会社の割引サービスにご加入の場合は、コミスタサービスセンターにお問い合わせください。➔ p61
・同じ電話回線に、本機と他の電話機やパソコン、ファクスなどを並列に接続すると、NTTコミュニケーションズのセンターからのデータを受信できないことがあります。また、同様に接続した他の電話機やパソコン、ファクスなどではコミスタははたらきません。並列に接続するときは、お手数ですがコミスタサービスセンターまでご連絡ください。➔ p61
・製品の故障や誤作動や不具合などにより、コミスタにおいて利用の機会を逸したために発生した付随的損害の補償について、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・データ受信中に受話器をとる、または［ストップ］ボタンを押すと、データの受信は中断され、コミスタランプが点滅または消灯します。

1 [ ]―コミスタ を5回押す
コミスタデ゛ータ コウシン

2 [登録/セット] を押す
コミスタデ゛ータ コウシン
1：ジ゛ッコウ 2：トリケシ

3 [1 ア] を押す
センターニ セツゾ゛クチュウ

自動的にセンターにダイヤルし、コミスタデータの更新を開始します。更新を終了すると、待機画面に戻ります。コミスタランプが点灯すれば、コミスタがご利用になれます。

途中でやめたい ［2］ボタンを押します。

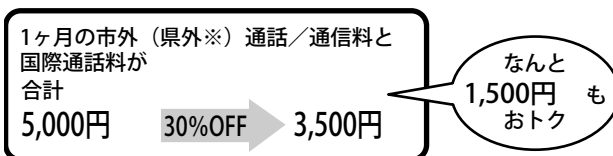
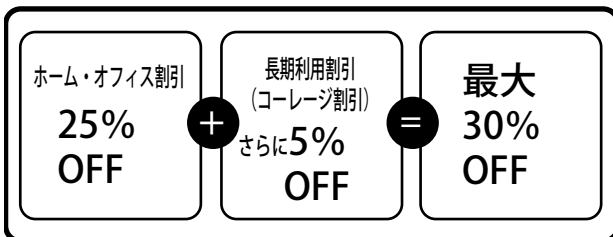
・「コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）」（➔p62）の操作を行っている場合は、「コミスタのデータを新たに受け取るには」の操作をしてもコミスタランプが消灯したままで、コミスタを利用することができません。「コミスタを再びご利用になる場合は（コミスタオン）」（➔p62）の操作のあと、「コミスタのデータを新たに受け取るには」の操作を行ってください。

割引サービス簡単自動登録機能について

割引サービス簡単自動登録機能をご利用になると、市外（県外※）・国際通話がまるごと最大30%おトクになる、NTTコミュニケーションズのホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）を簡単な操作でお申し込みいただけます。

ホーム・オフィス割引、長期利用割引（コーレージ割引）

ホーム・オフィス割引は、市外（県外※）通話／通信料と0033国際電話の通話料の合計が2,000円／月以上になる場合、曜日・時間帯にかかわらず25% OFF。月々の定額料金、お申し込み費用は無料！どなたでも安心してご利用になれます。さらに、長期利用割引（コーレージ割引）にもセットで申し込めますので、ご利用継続期間に応じて最大5%追加割引、あわせて最大30%OFFになります。（平成13年9月現在、サービス内容が変更になる場合があります。）「ホーム・オフィス割引、長期利用割引（コーレージ割引）のご提供条件およびご利用上の注意」➔ p65

1ヶ月の市外（県外※）通話／通信料と国際通話料が合計
5,000円　30%OFF　3,500円
なんと 1,500円 も おトク

上記の例はホーム・オフィス割引のご利用継続期間が3年以上で、長期利用割引（コーレージ割引）の適用を受けている場合です。

※NTT東日本またはNTT西日本の電話回線・ISDN回線からの都道府県をまたがる市外通話／通信が対象になります。都道府県とは行政区分上の都道府県と異なる場合があります。詳しくは、NTTコミュニケーションズ（0120−506506）にお問い合わせください。

割引サービスを自動登録するには

・割引サービス簡単自動登録機能でNTTコミュニケーションズに発信する場合、NTT東日本またはNTT西日本の発信者番号通知サービスにより、お客様の電話番号がNTTコミュニケーションズに通知されます。この場合「通常非通知」を契約されているお客様の番号も「186」が付加され、NTTコミュニケーションズに通知されます。
お客様の電話番号は割引サービス開始手続きを行うために必要となります。
他の目的で使用するものではありませんので、ご了承ください。
また、NTTコミュニケーションズより確認のため連絡が入る場合があります。
・構内交換機（PBX）やホームテレホンの内線電話、ビル電話（CES）としてご利用になる場合は、割引サービス簡単自動登録機能がご利用できません。
・ISDN回線をご利用の場合、ISDNの契約条件によっては、自動登録できないことがあります。
・割引サービス簡単自動登録機能でホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）をお申し込みいただく場合は、サービス適用通話／通信を把握する必要があるため、通話／通信の料金明細内訳を記録させていただきます。現在、通話／通信の料金明細内訳の記録をご希望されていないお客様が割引サービス簡単自動登録機能の操作をされますと、コミスタサービスセンター（➔p61）へおつなぎする場合があります（コミスタサービスセンターより、確認のお電話をさせていただく場合があります）。
・NTTコミュニケーションズの他の割引サービスとあわせての契約はできません。現在ご利用の割引サービスを解約して、ホーム・オフィス割引のお申し込みをご希望のお客様は、NTTコミュニケーションズ（0120−506506）までお申し出ください。
また、これらのサービスをご契約のとき、割引サービス簡単自動登録機能の操作をされますと、コミスタサービスセンター（➔p61）より、確認のお電話をさせていただく場合があります。
・割引サービス簡単自動登録機能でお申し込みされたホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）のご解約は、コミスタサービスセンター（➔p61）までお申し出ください。
・コミスタおよび割引サービス簡単自動登録機能以外のNTTコミュニケーションズの割引サービスに関するお問い合わせ、お申し込みは、NTTコミュニケーションズ（0120−506506）までお申し出ください。
・ホーム・オフィス割引と長期利用割引（コーレージ割引）の自動申し込み完了後、料金割引の開始日などを記載した「お知らせ」を郵送いたします。

1 [ ]ーコミスタ を2回押す

2 [登録/セット] を押す

```
ﾜﾘﾋﾞｷ ｻｰﾋﾞｽ
1:ｼﾞｯｺｳ 2:ﾄﾘｹｼ
```

3 [1 ｱ] を押す

自動的にセンターにダイヤルします。

登録をやめたい ［2］ボタンを押します。

4 受話器を取る

ガイダンスにしたがって操作してください。

ダイヤル回線をご利用の場合は ［＊］ボタンを押してから、ガイダンスにしたがって操作してください。

5 操作を終了したら、受話器を戻す

ホーム・オフィス割引、長期利用割引（コーレージ割引）のご提供条件およびご利用上の注意

ホーム・オフィス割引のご提供条件およびご利用上の注意

本サービスの契約は、NTTコミュニケーションズの電話等サービス契約約款によるものとします。

■ ご提供条件

1 本サービスをご契約いただけるのは、NTTコミュニケーションズの電話等利用契約者です。ただし、NTT東日本またはNTT西日本の電話回線（加入電話）、ISDN回線（INSネット64およびINSネット64・ライト）のご利用者に限ります。ご契約は、回線番号単位とさせていただきます。なお、NTT東日本またはNTT西日本の電話回線またはISDN回線を臨時でご利用のお客様、カード式ピンク電話等をご利用のお客様につきましては、ご契約の対象外とさせていただきます。
2 シャベリッチ、テレチョイス／INSテレチョイス、テレワイズ、テレジョーズ、テレワイズ・ワイド、スーパー・テレワイズ、異名義割引 サービス、メンバーズネット、コーポレートネット、OCNホームパック、OCNシャベリッチ、Arcstarビジネス割引等とあわせて契約　はできません。
3 割引対象通話／通信は、一般ダイヤル通話／INS通話等のうち、お客様の電話回線等が所在する都道府県の区域と異なる都道府県の区域への通話／通信および国際ダイヤル通話（0033）および料金即知サービス（00347）による通話とさせていただきます。都道府県の区域とは、郵政省令第24号（平成11年7月1日施行）によって定められた区域をいい、行政区分上の都道府県と異なる場合があります。詳しくはお問い合わせください。
4 NTTコミュニケーションズ以外の中継系電話会社、国際系電話会社への接続用電話番号で始まる通話／通信（NTTコミュニケーションズ以外の回線を利用した通話／通信）および携帯電話・自動車電話・PHSへの通話／通信、フリーダイヤル、ナビダイヤル、テレゴング、テレドーム、データドーム、Fネット、ArcstarInternetFAX、伝言ダイヤルの利用料、100番電話、コレ　クトコール、クレジット通話／通信（自動クレジットおよびオペレータ扱い）、GSS通話／通信（グループ内）、INSパケット通信、国際ISDNディジタル通信モード、国際フリーダイヤル、国際メンバーズネット、第三者課金サービス（00345）等による通話／通信、多言語要求の対象となる国際通話、携帯電話・自動車電話・PHSによる国際電話等は、割引の対象外とさせていただきます。

（参考）

【「NTTコミュニケーションズ国際ホームディスカウント」または「Arcstar国際コーポレートディスカウント」をご利用の場合】

国際電話サービス（0033、00347等）による通話についてはNTTコミュニケーションズ国際ホームディスカウントまたはArcstar国際コーポレートディスカウントが適用され、国際ダイヤル通話料はNTT東日本またはNTT西日本の請求書とは別にNTTコミュニケーションズから直接請求させていただきます。この場合、本サービスの割引は国際ダイヤル通話料を除く、NT　Tコミュニケーションズご利用分のうちの一般ダイヤル通話／INS通信料が1ヶ月で2,000円以上の場合に適用されます。

【NTT東日本またはNTT西日本の割引サービス「INSエリアプラス・エリアプラス」をご利用の場合】

「隣接・20kmまで」の通話／通信についてはINSエリアプラス・エリアプラスが適用されます。「隣接・20kmまで」の通話とは、お客様の属する単位料金区域（以下MA）に隣接するMAへの通話、またはお客様の属するMAからの区域間距離が20km以下となるMAへの通話のことをいいます。

【NTT東日本またはNTT西日本の割引サービス「INSテレホーダイ・テレホーダイ」をご利用の場合】

INSテレホーダイ・テレホーダイの適用時間帯（深夜・早朝）における対象電話番号への通話／通信についてはINSテレホーダイ　・テレホーダイが適用されます。

■ ご利用上の注意

1 本サービスをご利用いただく場合は、サービス適用通話／通信を把握する必要があるため、通話／通信の料金明細内訳を記録させていただく必要があります。また、国際通話については、特にお客様からのお申し出がない限り、通話開始時刻、通話時間、通話先対地名等を記載した通話明細書を送付させていただきます。
2 本サービスの通話に対する割引は、NTTコミュニケーションズご利用分のうち一般ダイヤル通話／INS通信料および国際ダイヤル通話料が、1ヶ月で2,000円以上の場合に適用されます。
3 割引計算期間は、一般ダイヤル通話／INS通信料等の計算期間（お客様により異なります）に合わせて、1ヶ月単位とします。
4 本サービスの割引開始日は、お客様により異なりますので、お申し込みの際にお問い合わせください。
5 本サービスは、解約のお申し出がない限り、翌月以降も継続されます。
6 本サービスをご契約のお客様が、NTT東日本またはNTT西日本の電話回線からISDN回線へ（またはISDN回線から電話回線へ）変更された場合、本サービス割引適用は、ISDN回線（電話回線）への変更日までとなります。ISDN回線（電話回線）へ変更後も本サービスのご利用を希望される場合は、新たに本サービスをお申し込みいただく必要があります。その場合、割引適用は翌月の割引計算期間からとさせていただきます。また、電話番号の変更をともなう移転および名義変更（譲渡）の場合も、新たに本サービスをお申し込みいただく必要があります。
7 本サービスをご利用いただくにあたっての契約料、工事費は不要です。

長期利用割引（コーレージ割引）のご提供条件

■ ご提供条件

1 本サービスのご契約には、シャベリッチ、OCNシャベリッチ、ホーム・オフィス割引、OCNホームパック（以下、対象割引サービス）のいずれかのご契約が必要です。
2 対象割引サービスのご利用期間は、長期利用割引（コーレージ割引）ご契約時点での対象割引サービスのご契約日を起算日として計算します。長期利用割引（コーレージ割引）ご契約前にNTT東日本またはNTT西日本の電話回線からISDN回線へ（またはISDN回線から電話回線へ）の変更および移転等による電話番号の変更があった場合には、その変更された日を起算日として計算します。既に、長期利用割引（コーレージ割引）をご契約いただいているお客様が、他の対象割引サービスに変更された場合、NTT東日本またはNTT西日本の電話回線からISDN回線へ（またはISDN回線から電話回線へ）変更された場合および移転等による電話番号の変更があった場合も、起算日は変わりません。名義変更（譲渡）の場合、シャベリッチは譲渡日を、OCNシャベリッチ、OCNホームパック、ホーム・オフィス割引は譲渡後新たに対象割引サービスをお申し込みいただいた日を起算日とします。電話等利用契約の解除、一般電話等サービスの利用休止があった場合は、本サービスを解約させていただきます（ご利用期間の累積は消滅します）。お客様がNTT東日本・NTT西日本の電話回線（加入電話）、ISDN回線（INSネット64およびINSネッ　ト64・ライト）の利用を中止され、NTTコミュニケーションズに届出いただいた場合もしくはその事実をNTTコミュニケーションズが知った場合は、本サービスを解約させていただきます（ご利用期間の累積は消滅します）。
3 長期利用割引（コーレージ割引）のご契約日を含む料金計算月（お客様により異なります）の翌料金計算月から割引を適用いたします。ただし、長期利用割引（コーレージ割引）をご契約いただいた時点で対象割引サービスのご契約から12料金計算月が経過していないお客様の場合は、対象割引サービスのご契約から1年後の当日を含む料金計算月から適用となります。

着信メロディーをダウンロードする

常時100曲の中からお好きなメロディーを本機にダウンロードし、ベルの代わりにメロディーを流すことができます（ダウンロードをする前に、メロディーを視聴することができます）。お申し込み手続きは不要です。

- 着信メロディーの試聴は和音メロディーですが、ダウンロードしたあとの再生は単音メロディーとなります。
曲目によっては、再生時に曲調が乱れる場合があります。
- 着信メロディーダウンロードサービスは、新曲J–POPなどのジャンルから100曲をご用意し、曲目は定期的に入れ替えを行っています。最新の曲目については、ホームページ（http://www.ntt.com/comista/　）でもご覧いただけます。また、コミスタサービスセンター（➡p61）でもお知らせいたします。
- 情報料や使用料金は不要です。ただし、メロディーセンター（横浜045）までの通話料金がかかります。ダウンロードに必要な時間は、曲目によって異なりますが、約5分です。
- はじめてご利用になるときは、コミスタランプが点灯しているかお確かめください。消灯しているときは「コミスタのデータを新たに受け取るには」（➡ p63）の操作をしてください。

着信メロディーダウンロードサービスとは

- お申し込み手続きなしでご利用になれる着信メロディーのダウンロードサービスです。
- 100曲の中からお好きなメロディーを1曲本機に取り込むことができます。
- ダウンロードする前に、メロディーの試聴が可能です。
- 基本料金などはかかりません。

着信メロディーをダウンロードするには

- 新しい着信メロディーを保存すると、保存されていたメロディーが上書きされ、新たに保存したメロディーに置き換えられます。
- 着信メロディーの音声ガイダンス中は、親機の受話器をとる、または［オンフック］ボタンを押しても中止しません。［ストップ］ボタンを押すと、中止できます。
- 着信メロディーダウンロード中は、電話をかけたり受けたり、他の操作をするとダウンロードできないことがあります。
- 電話回線、ISDN回線のご利用時の状態によってはダウンロードできないことがあります。その場合は再度操作をやりなおしてください。
- メロディーセンターが混み合っているときはダウンロードできないことがあります。その場合はしばらくしてから操作をやりなおしてください。
- キャッチホンサービスを利用されているお客様は、「セツゾクチュウ」が表示されているときに電話がかかってくるとダウンロードできない場合があります。この場合、メロディーセンターより利用できない旨のガイダンスが流れますので、もう一度操作をやり直してください。
- 着信メロディーの音声ガイダンス中にキャッチホンが入ったときは、［ストップ］ボタンを押してください。メロディーセンターとの接続が切れます。その後、呼出音が鳴ったら、受話器をとると、相手の方とお話しすることができます。
- 着信メロディーの試聴は和音メロディーですが、ダウンロードしたあとの再生は単音メロディーとなります。
曲目によっては、再生時に曲調が乱れる場合があります。
- 「着信メロディーダウンロードサービス」を利用して、メロディーを取り込んだときの通話料金を確かめることはできません。
- 構内交換機（PBX）やホームテレホンの内線電話、ビル電話（CES）に接続してお使いの場合には、「着信メロディーダウンロードサービス」はご利用になれません。
- 「着信メロディーダウンロードサービス」についてのお問い合わせは、「コミスタサービスセンター」へお問い合わせください。➡ p61

1 ［コミスタ］を押す

メロディー ダウンロード

2 ［登録/セット］を押す

メロディー ダウンロード
1:ジッコウ 2:トリケシ

3 ［1 ア］を押す

センターニ ダイヤルチュウ

自動的にセンターにダイヤルします。

上書きする場合は　もう一度［1］ボタンを押します。

ダウンロードをやめたい　［2］ボタンを押します。

4 音声ガイダンスにしたがってジャンルと曲目を選ぶ

ダウンロードを開始し、終了すると完了画面になります。

オンセイニシタガッテクダサイ
⋮
ダウンロードチュウ

- ダウンロード中は、［ストップ］ボタンを押してもダウンロードを中止できません。

ダウンロードしたメロディーをベルの代わりに流す場合は

「ベルの音色／メロディを変える」の操作をしてください。
➡ p53

料金表示の設定

コミスタが利用可能になると、電話をかけたとき、電話がつながってからの通話料金を表示するように設定できます。通話料金を表示するには、「スル」に設定してください。

- 次の場合は通話料金を確かめることができません。
  - NTTコミュニケーションズ以外の電話会社を使ったとき
  - 市内通話、県内の市外通話
  - 市外局番から始まる場合を含む、1から始まる3ケタの電話番号（104や117など）
  - フリーダイヤル（0120など）
  - ダイヤルQ2サービス（0990）
  - PHS、携帯電話など（070、090）など
  - その他エンジェルライン（0190）などの特殊ダイヤルサービス

  ※ キャッチホンやトリオホンサービス、ダイヤルインサービスを利用している場合、通話料金が正確でないことがあります。
  また、ISDN回線に接続した場合、ターミナルアダプタによってはご利用になれない場合があります。

1 ［コミスタ］を6回押す

リョウキン ヒョウジ　○×

2 ◀ ▶ どちらかを押して“○”にカーソルを合わせる

3 ［登録/セット］を押す

コミスタとマイライン・マイラインプラスについて

NTTコミュニケーションズの事業者識別番号「0033」の自動付与

本機から市外（県外※）通話／通信をご利用になると、NTTコミュニケーションズの事業者識別番号「0033」を自動的に付与し発信します。
他社の割引サービスにご加入されている場合は、割引が適用されなくなる場合があります。また、定額料のかかる他社の割引サービスにご加入の場合、他社から定額料のみ請求されるおそれがありますのでご注意ください。
※NTT東日本またはNTT西日本の電話回線・ISDN回線からの都道府県をまたがる市外通話となります。都道府県とは行政区分上の都道府県とは異なる場合があります。

マイライン・マイラインプラス

電話会社選択サービス「マイライン」・電話会社固定サービス「マイラインプラス」は、あらかじめご利用になる電話会社を登録していただくことにより、通話の際に電話会社の識別番号をダイヤルせずに、その電話会社をご利用できるサービスです。

電話会社選択サービス「マイライン」

ACR機能（コミスタもこれに含まれます）をご利用の場合は、マイラインのご登録にかかわらず、本機が選択した電話会社に接続されます。

電話会社固定サービス「マイラインプラス」

登録した電話会社のみのご利用となります。ACR機能が選択した電話会社とマイラインプラスに登録した電話会社が違う場合は、「プププ」音が鳴り、マイラインプラスに登録した電話会社に接続されます（「プププ」音は、ACR機能が選択した電話会社とは別の電話会社に接続されることをお知らせする交換機からの信号音で、本機の故障ではありません）。
※マイライン・マイラインプラスは、NTT東日本、NTT西日本のサービスです。

コミスタとマイライン・マイラインプラスの関係

本機をご利用のお客様がマイライン・マイラインプラスをお申し込みされますと、市外（県外）通話をご利用になるとき、電話会社が下図のように選択されます。

マイラインプラスで…

NTTコミュニケーションズを登録した場合

他の電話会社を登録した場合

コミスタ

コミスタ

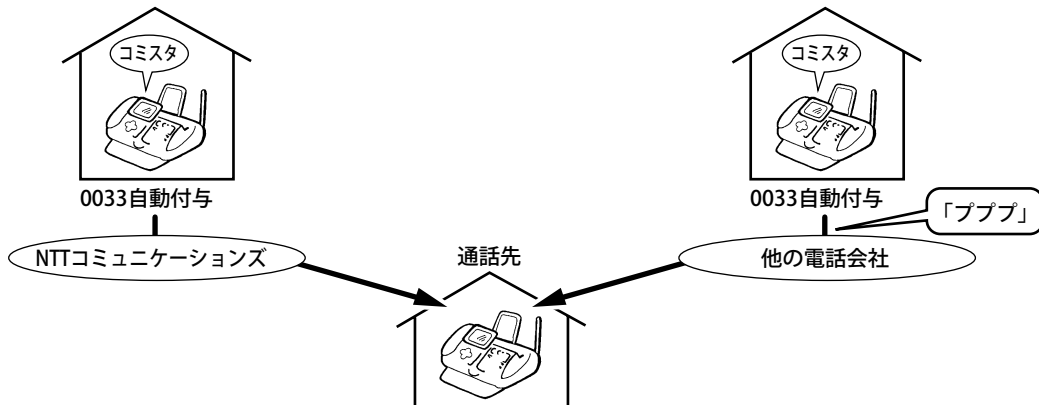
0033自動付与

0033自動付与

「プププ」

NTTコミュニケーションズ

通話先

他の電話会社

「プププ」音が気になる場合は、「コミスタをご利用にならない場合は（コミスタオフ）」（➡ p62）の操作をしていただくか、「コミスタご利用の解除」をコミスタサービスセンター（ ➡ p61）へお申し出ください。ただし、コミスタのご利用の解除をされますと、着信メロディーダウンロードサービスなどの便利な機能がご利用いただけなくなります。コミスタの各機能を最大限にご利用いただくためにも、マイライン・マイラインプラスへの登録電話会社をNTTコミュニケーションズにしていただくことをおすすめいたします。

市内・市外（県内）通話について

市内・市外（県内）通話に関しては、マイライン・マイラインプラスに登録した電話会社のご利用となります。

他の電話会社と市外通話料金を比較してご利用の場合

マイラインプラスをご利用で、本機が選択した電話会社とマイラインプラスに登録した電話会社が違う場合は、「プププ」音が鳴り、マイラインプラスに登録した電話会社に接続されます。

ナンバー・ディスプレイ

ここでは、ナンバー・ディスプレイの
いろいろな使いかたを説明しています。

利用できる機能について

ナンバー・ディスプレイを利用すると、次のようなことができます。

・かかってきた相手の電話番号を、電話に出る前にディスプレイに表示させる
・電話帳に登録されている相手だけ、特別な受けかたをする
　－ 自作メッセージで応答 ➡p70
　－ 着信鳴り分けとプライベートコール ➡p71
・番号リクエスト ➡p71
・着信拒否 ➡p72
・着信データの活用 ➡p73
・キャッチホン・ディスプレイ ➡p75

・次の場合は電話番号が表示されません。
　－ 国際電話
　－ オペレーター扱いの通話（100番・106番）
　－ 相手が番号非通知のとき
　－ 相手が公衆電話からかけてきたとき
　－ 相手が圏外からかけてきたとき
　－ 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

利用申し込みにあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。

・本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
　－ 転送でんわ（ボイスワープを除く）
　－ ダイヤルQ2（情報提供側）
　－ テレドーム（情報提供側）
　－ ノーリンギング通信サービス（センター回線）
・ブランチ接続では使えません。

＜お問い合わせ先＞
NTT東日本・NTT西日本
ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター

フリーダイヤル：0120－848521
受付時間：午前9:00～午後5:00（月曜～土曜）

ダイヤルインサービスを同時に利用するとき

必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているとき

ターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタをご使用ください。

バックライト色と表示の見かた

電話がかかってくると、相手の番号が次のように表示され、バックライトの色でお知らせします。

・バックライトの色を変えることはできません。

・ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されていない相手のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:0312345678	0312345678

バックライト色：ピンク

・ワンタッチダイヤル、電話帳に登録されている相手のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL:0312345678	ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ 0312345678

バックライト色：ブルー

親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録している　親機と子機、それぞれに登録した名前が表示されます。

・相手が番号非通知のとき
ﾋﾂｳﾁ
バックライト色：レッド

・相手が公衆電話のとき
ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
バックライト色：グリーン

・相手が海外など、圏外からかけてきたとき
ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ
バックライト色：アクアマリン

・一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき
ｼﾞｭｼﾝ ｴﾗｰ

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。

・電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

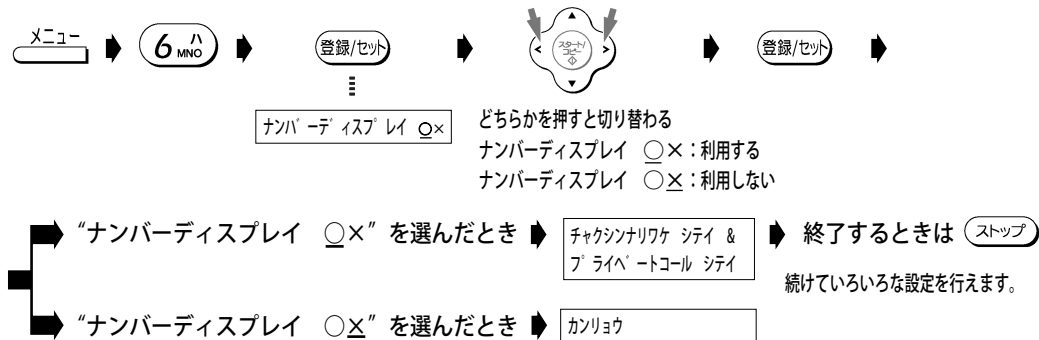
	契約の内容	
	通話ごと非通知	回線ごと非通知
相手に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	［1］［8］［6］のあと相手の番号をダイヤル
相手に電話番号を通知しない	［1］［8］［4］のあと相手の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

自分がどちらで契約しているかわからない

NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

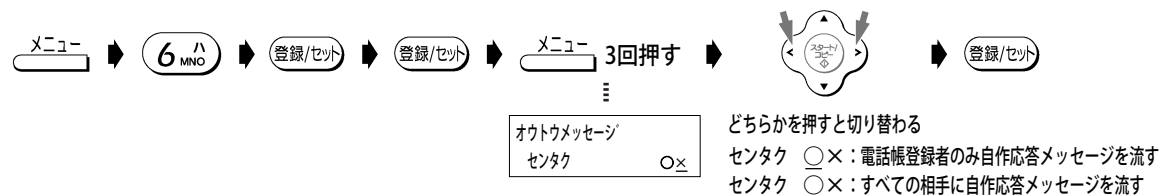
必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定（お買い上げのとき：利用する）

・ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」、契約していない場合は「利用しない」に必ず設定してください。この設定が間違っていると、電話が受けられないことがあります。

いろいろな設定

電話帳に登録している相手にだけ自作メッセージで応答する

（お買い上げのとき：すべての相手に自作メッセージを流す）

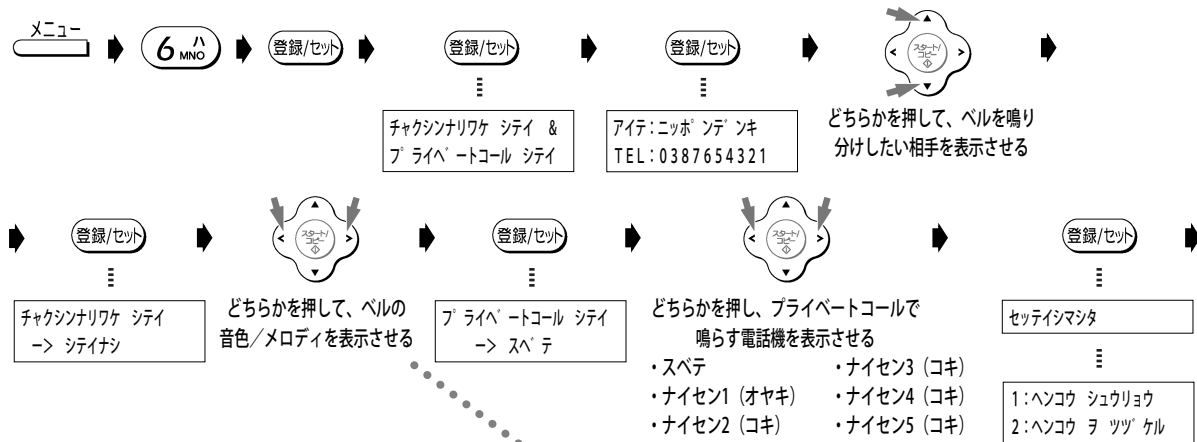
留守設定中に電話がかかってきたとき、電話帳に登録してある相手にだけ自分の声で、登録していない相手には機械の声で応答メッセージを流すことができます。

・相手に流す自作応答メッセージは、留守設定のときと同じメッセージです。
・自作応答メッセージを録音していない場合は、すべて固定応答メッセージになります。

応答メッセージを録音／消去する ➔ p45

かけてくる相手によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>

（お買い上げのとき：着信鳴り分け「シテイナシ」、プライベートコール「スベテ」）

電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えたり（着信鳴り分け）、親機だけのベルまたは子機だけのベルを鳴らすことができます（プライベートコール）。
ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。

・スベテ
・ナイセン1（オヤキ）
・ナイセン2（コキ）
・ナイセン3（コキ）
・ナイセン4（コキ）
・ナイセン5（コキ）

設定を終わるとき：1 ア

続けて別の相手の着信鳴り分けを設定するとき：2 カ ABC

ベルの音色／メロディの種類について

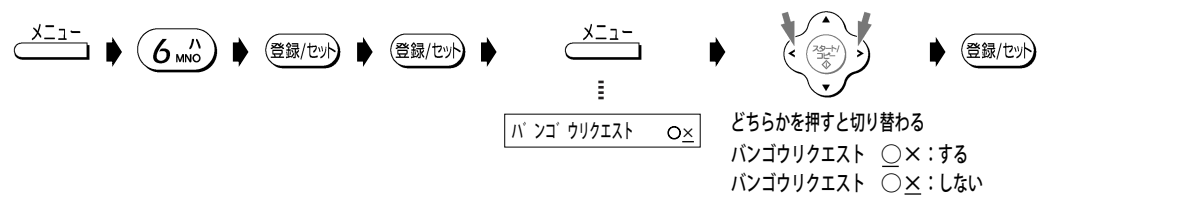
・シテイナシ：「ベルの音色／メロディを変える」で指定したベル ➔p53
・ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
・ベル（ナリワケ）：「ヒョウジュン」とは違う音色
・メロディ（A）：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
・メロディ（B）：春
・メロディ（C）：トルコ行進曲
・オリジナルメロディ：オリジナル着信メロディで入力した曲 ➔p54
・コミスタメロディ：コミスタの着信メロディーダウンロードサービスで取り込んだ曲 ➔p66

・電話帳に登録されている番号に［＊］［＃］［－］（ポーズ）が含まれていたり、市外局番が登録されていないと、ナンバー・ディスプレイの機能が正常に働きません。電話帳に登録するときはご注意ください。

“デンワバンゴウミトウロク”と表示された　電話帳に何も登録されていません。

電話番号を通知してこない相手にメッセージを流す<番号リクエスト>

（お買い上げのとき：しない）

非通知の相手からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。
・非通知の相手に流すメッセージ…「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」（固定）

・番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
・公衆電話や表示圏外からの電話は、通常通り着信します。

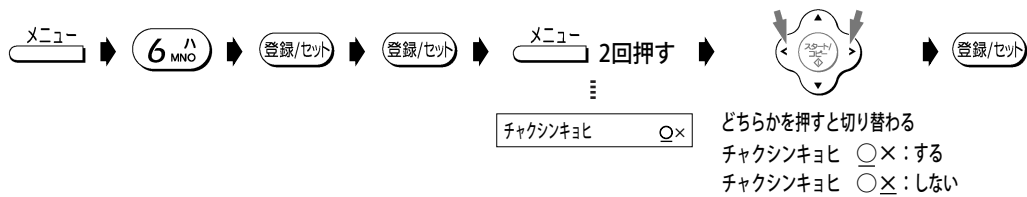
電話を受けたくない相手を設定する＜着信拒否＞（お買い上げのとき：する）

着信拒否に登録してある相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。
・着信拒否の相手に流すメッセージ：「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」（固定）

■ 着信拒否機能を利用する／しないを設定する

メニュー ➡ 6 ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー 2回押す ➡ ▲▼ ➡ 登録/セット

チャクシンキョヒ ○×

どちらかを押すと切り替わる
チャクシンキョヒ ○×：する
チャクシンキョヒ ○×：しない

・着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手からの電話は留守録音やファクス受信ができません。

■ 着信拒否する相手を登録する

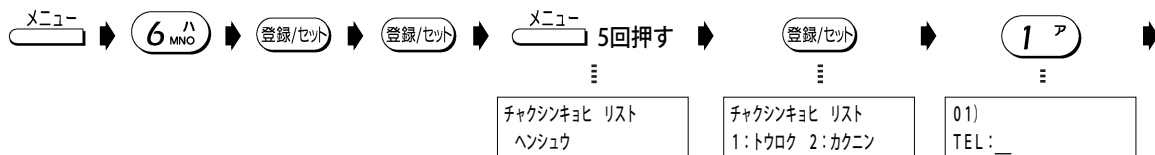
受けたくない相手の電話番号（10件まで）を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。

メニュー ➡ 6 ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー 5回押す ➡ 登録/セット ➡ 1 ➡

チャクシンキョヒ リスト
ヘンシュウ

チャクシンキョヒ リスト
1:トウロク 2:カクニン

01)
TEL:_

➡ 相手の電話番号の入力 ➡ 登録/セット

市外局番から入力します。

着信データの番号を着信拒否に登録したい

・子機の着信データは着信拒否に登録できません。

◀ ➡ ▲▼ ➡ 登録/セット ➡ 2 ➡ ストップ

登録する相手を表示させる

“チャクシンキョヒ　リスト　フル”と表示された 着信拒否を登録できるのは10件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。

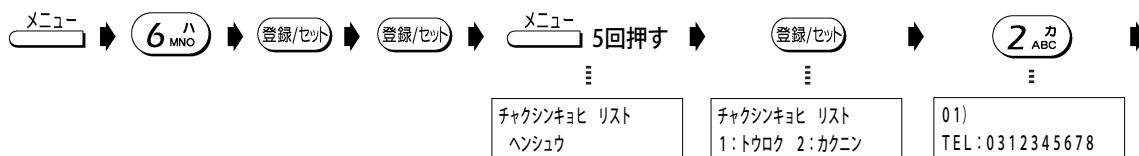
■ 登録内容を確認する

メニュー ➡ 6 ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー 5回押す ➡ 登録/セット ➡ 2 ➡

チャクシンキョヒ リスト
ヘンシュウ

チャクシンキョヒ リスト
1:トウロク 2:カクニン

01)
TEL:0312345678

➡ ▲▼ ➡ ストップ

どちらかを押して確認する

“チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク”と表示された 着信拒否する相手が1件も登録されていません。

■ 着信拒否リストから消去する

上記の操作で消去したい相手の電話番号を表示させる ➡ 消去

着信データの活用

電話がかかってきた日時と相手の情報が、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順に消去されます。

・電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

着信データをプリントしたい

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする➡p59

過去にかかってきた相手を確認する<着信データの表示>

■ 親機で

他の着信データを見る

ディスプレイには、最新の着信データから順に表示されます。

電話帳に登録している相手	電話帳に登録していない相手
着信した順番（新しい順）　着信した日時	着信した順番（新しい順）　着信した日時
01）10月 1日 21:44 ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ	01）10月 1日 21:44 ｱｲﾃ:0312345678
相手の名前が表示されます	相手の電話番号が表示されます

“チャクシンデータ　アリマセン”と表示された

着信データが記憶されていません。
ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません。➡p69

■ 子機で

または

他の着信データを見る

ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ　1
10月 1日 21:44

2秒後

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
0312345678

電話帳に登録してある相手の場合、相手の名前と電話番号が表示されます。

・子機にかかってきた場合は、相手の電話番号などがディスプレイに表示されたときに着信データとして記憶されます。電波の届かないところに置くと記憶されません。

「ピーピーピー」と音がした　操作を始めてから20秒間何もしないと「ピーピーピー」という音のあと、待機状態に戻ります。

着信データを消す

■ 親機で

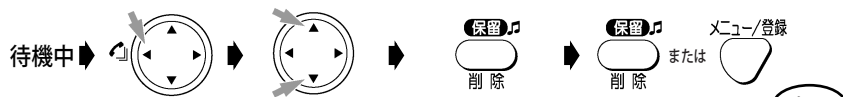
消したい着信データを表示させる

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
1:ｼﾞｯｺｳ 2:ﾄﾘｹｼ

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

2秒後に次の着信データが表示されます。

■ 子機で

待機中➡

消したい着信データを表示させる

ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ　1
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?

ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ　1
ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

すべての着信データを一度に消したいとき　“ショウキョ　シマスカ？”と表示されたところで［▲］または［▼］を押し“ゼンチャクシンデータ　ショウキョ　シマスカ？”と表示されたら［保留／削除］ボタンまたは［メニュー／登録］ボタンを押してください。

途中で消去をやめたいとき　“ショウキョ　シマスカ？”と表示されたところで［▲］または［▼］を押し“チュウシ　シマスカ？”と表示されたら［メニュー／登録］ボタンを押してください。

着信データを使って電話をかける<コールバック>

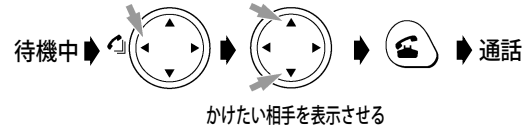
着信データの電話番号へかんたんに電話をかけることができます。

■ 親機で

 ➧ ➧ ➧ 通話

かけたい相手を表示させる

■ 子機で

待機中 ➧ ➧ ➧ ➧ 通話

かけたい相手を表示させる

「“チャクシンデータ　アリマセン”と表示された」 着信データが記憶されていないので、コールバックできません。

ファクスを送信したい

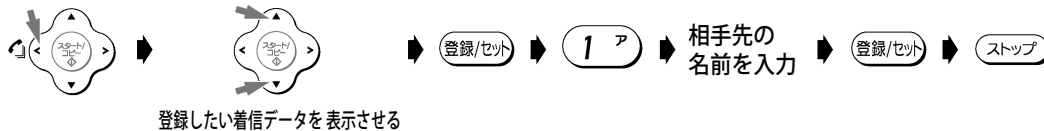
原稿をセットしてから、送信したい相手を表示させ［スタート／コピー］ボタンを押してください。

着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>

着信データの電話番号を電話帳に登録できます。子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

■ 親機で

 ➧ ➧ ➧ ➧ 相手先の名前を入力 ➧ ➧

登録したい着信データを 表示させる

「“チャクシンデータ　アリマセン”と表示された」 着信データが記憶されていないので、登録できません。

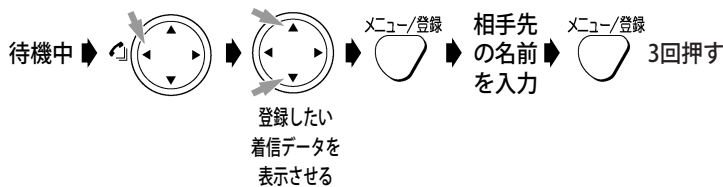
「“デンワチョウ　フル”と表示された」 電話帳から不要な電話番号を消去してください。

親機の電話帳の登録内容を消去する ➧p29

「文字入力のしかたがわからない」 文字入力一覧表 ➧本書の最終ページ

■ 子機で

待機中 ➧ ➧ ➧ ➧ 相手先の名前を入力 ➧ 3回押す

登録したい着信データを表示させる

「文字入力のしかたがわからない」

文字入力一覧表 ➧本書の最終ページ

「“トウロク　デキマセン”と表示された」

電話帳から不要な電話番号を消去してください。

子機の電話帳の登録内容を個別に消去する ➧p30
子機の電話帳の登録内容をすべて消去する ➧p30

留守中にかけてきた相手を確認する<留守録着信データ>

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートや子機のリモコン操作で用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手であれば、応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても記憶されます。

録音された用件を聞く（子機） ➧p44
外出先から用件を聞く ➧p47

・留守録着信データには次のような制限があります。
　－ 用件が消去されると留守録着信データも同時に消去されます。
　－ 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
　－ 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

■ 親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録している相手	電話帳に登録していない相手
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ ｻｲｾｲﾁｭｳ　　1/ 5	ｱｲﾃ:0312345678 ｻｲｾｲﾁｭｳ　　1/ 5
相手の名前が表示されます。	相手の電話番号が表示されます。

■ 子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと時間と相手の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手が用件を録音していないと、用件のかわりにビジートーン（話中音）が聞こえ、そのあと時間と相手の電話番号が聞こえます。
- 相手の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたはナンバー・ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー・ディスプレイを契約（有料）した上で、キャッチホン・ディスプレイの契約（有料）をしてください。

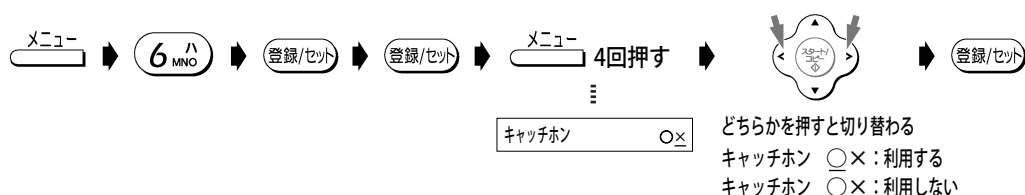
ダイヤルインサービスも同時に利用したい

モデムダイヤルインサービスに変更してください。「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」（➔p69）または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

ISDN回線を利用している

キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する（お買い上げのとき：利用しない）

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。

キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プッププッ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間（約1秒間）通話が途切れます。
- 子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても、相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録操作中、通話録音中、通話再生中、外線転送中、コミスタデータ受信中
  - 大声で通話したとき
  - 周囲の雑音が大きいとき
  - NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

- キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
  - ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。またこの場合、電話がかかってきたことはこちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
  - 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（➔p37）は動作しません。手動受信の操作によりファクスを受信することもできますが、受信中は前の方とのお話に戻ることができません。親機の［キャッチ］ボタンまたは子機の［キャッチ］ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話しください。
  なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送られてきた相手の方は通信エラーになってしまいます。また続けてファクスが送られてくることが考えられますので、早めにお話を終えられることをおすすめします。
  - 通話中にキャッチホン・ディスプレイにより割り込まれた相手がコミスタサービスセンターの場合は、「ピポパ・ピポパ」またはセンターからのガイダンスが流れますが、センターとのデータ通信は行いません。親機の［キャッチ］ボタンまたは子機の［キャッチ］ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話しください。また続けてセンターから電話がかかってくることが考えられますので、早めにお話を終えられることをおすすめします。

キャッチホン・ディスプレイの表示について

- 着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。
- 番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手もキャッチホン着信して“ヒツウチ”と表示されます。
- プライベートコールに指定されている番号も表示されます。
- キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。
- かけてきた相手によるバックライトの色分けは行われません。

キャッチホン／ダイヤルイン

ここでは、NTT のいろいろなサービスの利用のしかたを説明しています。

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、相手と話し中、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

・ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。
・コミスタデータの受信中にキャッチホンが入っても電話を受けることはできません。

ナンバー・ディスプレイも利用している

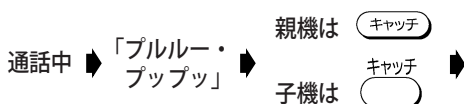
キャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかけてきた相手の番号を表示できます。

キャッチホン・ディスプレイについて ➜p75

キャッチホンを受ける

通話中にキャッチホンが入ると「プルルー・プップッ」という音（キャッチホンの着信音）が聞こえます。

・キャッチホンが入っていないときに、親機の［キャッチ］ボタンや子機の［キャッチ］ボタンを押さないでください。電話が切れてしまいます。

通話中 ➜ 「プルルー・プップッ」 ➜ 親機は キャッチ ／ 子機は キャッチ ➜

➜ あとからかけてきた相手と通話 ➜ ［キャッチ］ボタンを押すごとに通話の相手を切り替えられます。

一方と通話中、もう一方の相手は 自動的に保留されます。

キャッチホンで入った相手がファクスだったとき

いったん最初の相手に切り替え、電話を切ってもらってください。その後、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください。手動で受ける ➜p37
ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

利用申し込みにあたって

ダイヤルインサービスを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。

・本機でダイヤルインサービスを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
 － キャッチホン　－ 転送でんわ　－ トーキー案内
 － トリオホン　－ 電話会議　－ ボイスワープ
・いままで使っていた電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。
・ブランチ（並列）接続では使えません。➜ p13
・電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
・停電中は、電話もファクスも使えません。
・ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると電話が使えなくなることがあります。

ナンバー・ディスプレイを同時に利用するとき

モデムダイヤルインサービスを契約してください。また、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」（お買い上げ時）にしてください。
通常のダイヤルインサービスは、ナンバー・ディスプレイと同時に利用できません。設定を「利用しない」に変更してください。ナンバー・ディスプレイの設定 ➜p70

・ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります。

ISDN回線を利用している

ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い上げ時）のままにしてください。

ダイヤルインの登録 ➜p7 8
INSネット64を利用するには ➜p7　9

契約のしかた

契約の際、次の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

- 電話番号（送出番号）は「下4桁」
  「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

窓口：116（無料）
　　　受付時間　午前9:00～午後5:00

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。

- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス自動切替が働きます。自動切替にしたくないときは、電話モードに設定してください。➜ p53
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

電話用の番号にファクスが送られたとき

電話用の番号にファクスが送られてくると、ベルが鳴ります。電話に出ると「ポー、ポー、ポー…」という音が聞こえたり、または無音になっていますので、ファクスかんたん受信、またはファクスの手動受信の操作をしてください。

ファクスかんたん受信 ➜ p37
手動で受ける ➜ p37

ファクス用の番号に電話がかかってきたとき

ファクス用の番号に電話がかかってくると、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

留守設定をしているとき

- 電話用の番号にかかってくると、留守電の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってきたときは、ファクスの受信だけできます。用件の録音はできません。
- 子機用の番号にかかってきたときは、子機もベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。

- Aさんの場合
  ー 電話用とファクス用の番号を分けたい
  ー 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい
- Bさんの場合
  ー 子機を1台増設したい ➜p86
  ー 親機と子機2台とで3つの電話番号を使い分けたい
  ー ファクス専用の番号は必要ない

1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	×××ーaaaa（電話用）	×××ーcccc（親機用）
ダイヤルイン追加番号	×××ーbbbb（ファクス用）	1. ×××ーdddd（付属子機用） 2. ×××ーeeee（増設子機用）

2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定（次ページ参照）	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクスセンヨウ	○	×
ファクス	bbbb	登録なし
ナイセン1	aaaa	cccc
キョウツウメイドウ	○*	×
ナイセン2	aaaa	dddd
ナイセン3	aaaa	eeee

＊親機に電話がかかってきたときに、子機のベルも鳴らします。

3 以上で、次のように利用できるようになりました

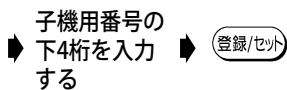
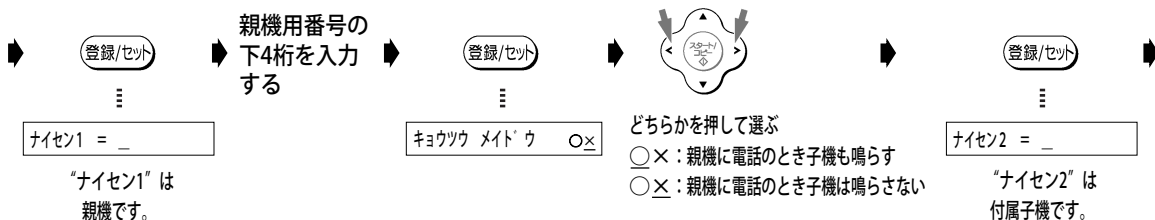
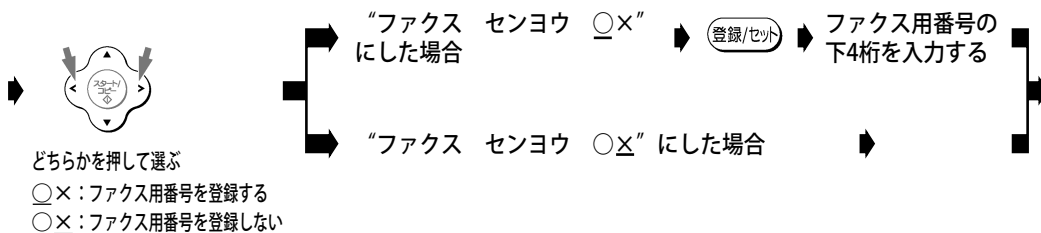
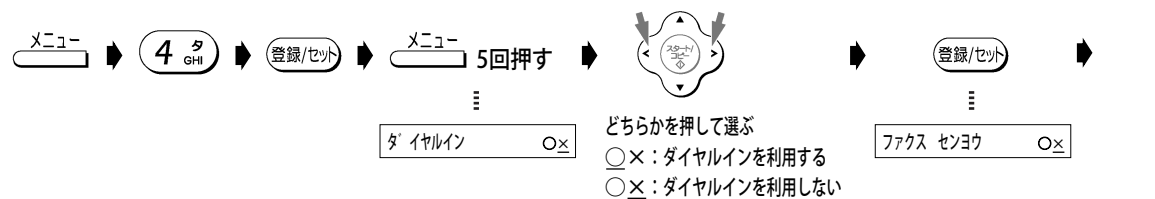
- Aさんに電話するときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。

動　作	ダイヤルする番号	親機の状態	子機の状態
Aさんに電話	×××ーaaaa	ベルが鳴る	ベルが鳴る
Aさんにファクス	×××ーbbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	ベルが鳴らない
Bさんの親機に電話	×××ーcccc	ベルが鳴る	ベルが鳴らない
Bさんの付属子機に電話	×××ーdddd	ベルが鳴らない	付属子機のベルだけが鳴る
Bさんの増設子機に電話	×××ーeeee	ベルが鳴らない	増設子機のベルだけが鳴る
Bさんにファクス	×××ーcccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴らない

ベルが鳴っていない親機や子機で電話に出た

ベルが鳴っているときと同じように電話に出ることができます。

ダイヤルインの登録（お買い上げのとき：利用しない）

・ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行うと、電話がつながらなくなることがあります。

増設子機があるとき

“ナイセン2”（付属子機）用の番号を入力し、［登録／セット］ボタンを押すと、“ナイセン3＝＿”が表示されます。

電話番号を変更したいとき

同じ手順で最初から登録し直してください。

ダイヤルインの利用を解除したいとき

上記操作でダイヤルインを「利用しない」“×”を選び［登録／セット］ボタンを押します。

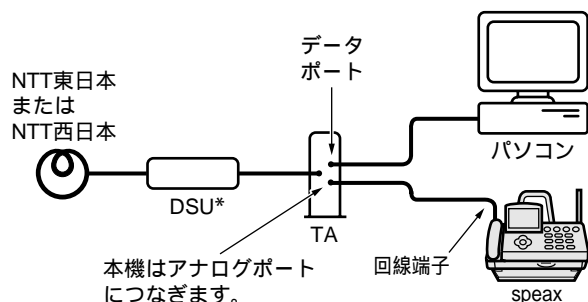
こんなときは

ここでは、必要に応じて見るための いろいろな情報が記載されています。

INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットやパソコン通信しながら電話が使えます。

ご利用にあたって

INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。また、本機のほかに、次の機器が必要となります。
・ISDNターミナルアダプタ（TA）
・デジタルサービスユニット（DSU）

*：TAの機種によっては、DSUが内蔵されています。詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。

ナンバー・ディスプレイを利用したい

INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

ダイヤルインサービスを利用したい

TAの取扱説明書に従い、設定してください。TAの機種または設定によって、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は「ダイヤルインを利用しない」に設定してください。ダイヤルインの登録 ➔p78

相手の番号の前に「0077」などの番号を付けるとき

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、かけられないことがあります。

電話帳登録で「ポーズ」を入力する際のご注意

TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、電話をかけられないことがあります。

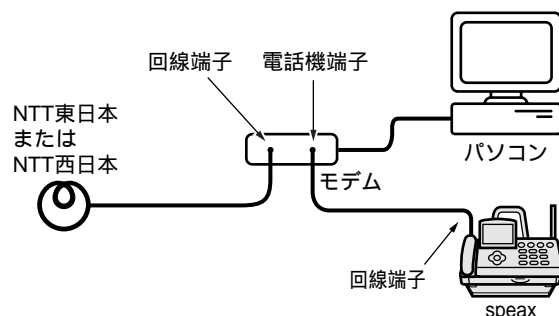
必要な設定

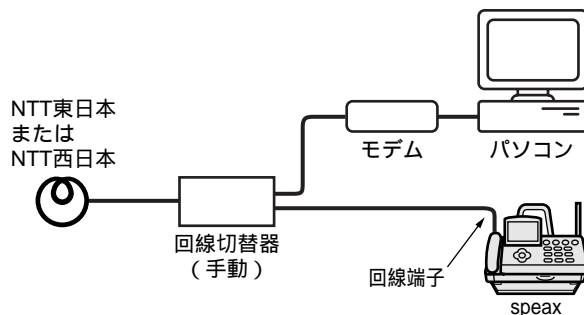
回線種別はTAの取扱説明書をご覧の上、設定してください。回線種別の自動／手動設定 ➔ p49

パソコンやモデムにつなぐには

INSネット64を利用しないでインターネットやパソコン通信する場合、モデム内蔵パソコンやモデムに本機をつなぎます。

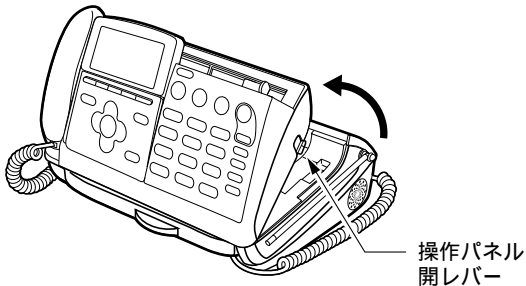
・モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようにするときは、本機の「電話／ファクス自動切替」が働く前に着信するようにしてください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書をご覧ください。
・モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
・本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。
・モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください。

回線種別の自動／手動設定 ➔p4 9

回線切替器を使いたい

下図のようにつなぎます。

“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示されたとき

“キロクシガ　ツマリマシタ”と“ソウサパネル アケテクダサイ”が交互に表示される場合は、記録紙がつまったか、または記録紙の給紙不良が考えられます。
操作パネルを開け、記録紙がつまっているかどうかを確認してください。

親機右側面にある操作パネル開レバーを引き上げながら、矢印の方向に操作パネルを開けてください。

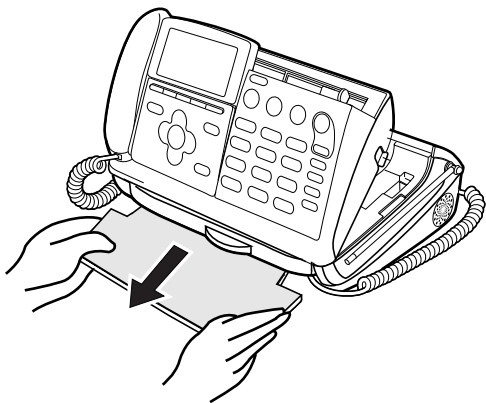
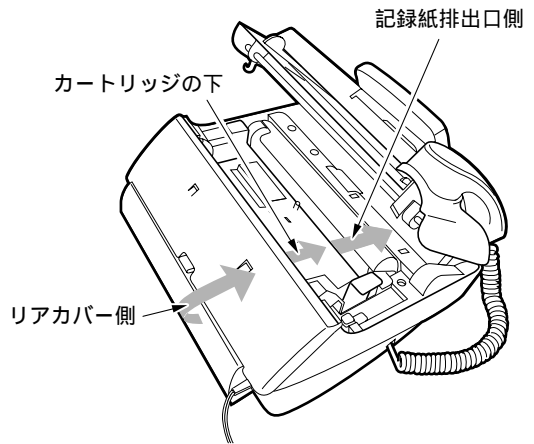
- 受話器を付けている場合は、手で支えた状態で操作パネルを開けてください。そのまま勢いよく操作パネルを開けると、受話器が落ちる場合があります。
- 作業中は、指をはさまないように注意してください。

記録紙がつまっていなかった場合

給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。

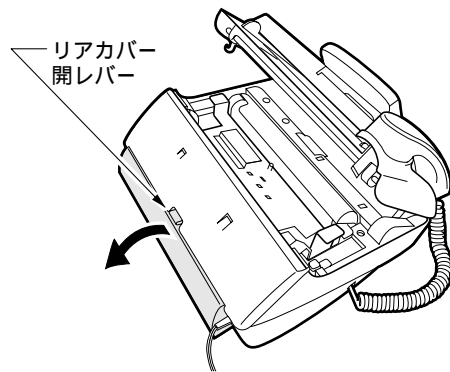
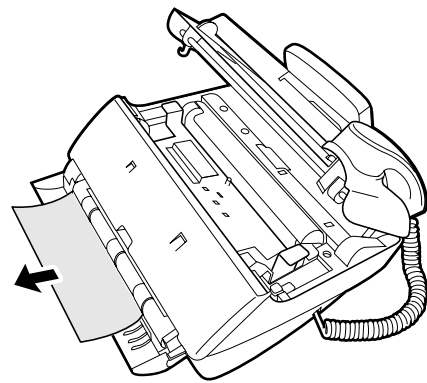
記録紙カセットの清掃 ➔ p87
記録紙給紙用ローラの清掃 ➔ p88

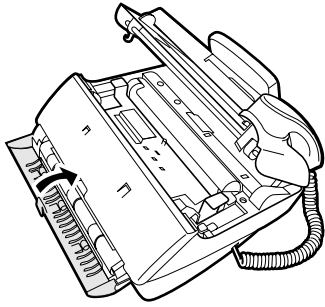
記録紙がつまっていた場合

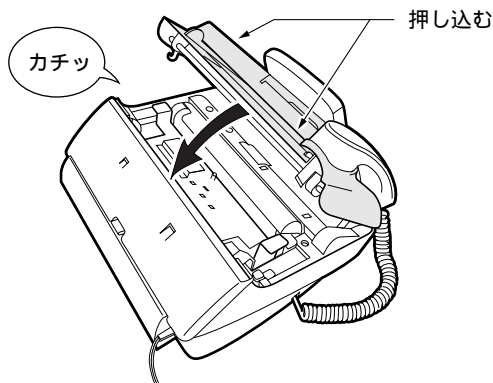
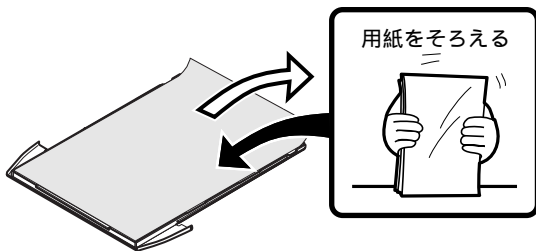
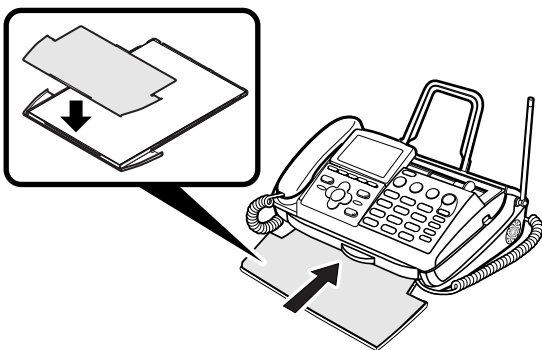
- 記録紙は破れないように静かに取り除いてください。取り除く途中で記録紙が破れてしまったときは、紙片を親機の中に残さないようにすべて取り除いてください。
- 十分なスペースがある場所に移動してください。

1 記録紙カセットを取り外す

2 記録紙がどこにつまっているかを確認する

リアカバー側でつまっているとき ➔下記
記録紙排出口側でつまっているとき ➔p81
カートリッジの下でつまっているとき ➔p81

■ リアカバー側でつまっているとき

1 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける

2 記録紙を取り除く

3 リアカバーを閉める

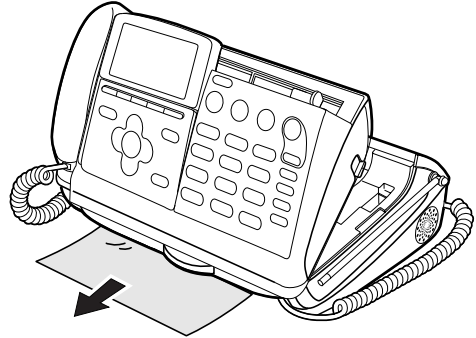
・リアカバーを閉めるときは、リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。

4 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

5 記録紙カセットのカバーを外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す

6 記録紙カセットのカバーを合わせて置き、親機に取り付ける

■記録紙排出口側でつまっているとき

1 カートリッジを取り外す

インクフィルムカートリッジを取り外す ➔p83

・感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取り外す必要はありません。緑色の解除レバーを倒してフィルムカバーを開け（➔p83）、記録紙を取り除いたあと、手順4に進んでください。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。
・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

2 記録紙を取り除く

3 カートリッジを取り付ける

カートリッジを取り付ける ➔p84

4 フィルムカバーを閉じる

5 操作パネルを閉じる

6 記録紙カセットのカバーを外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す

7 記録紙カセットのカバーを合わせて置き、親機に取り付ける

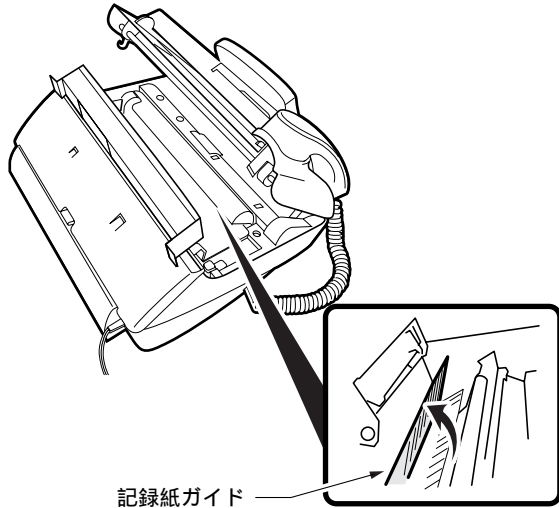
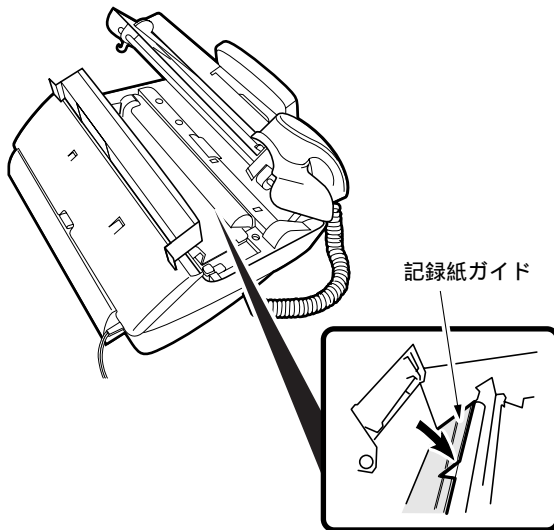
■カートリッジの下でつまっているとき

1 カートリッジを取り外す

インクフィルムカートリッジを取り外す ➔p83

・感熱紙を使用しているときは、カートリッジを取り外す必要はありません。緑色の解除レバーを倒して、フィルムカバーを開けてください。

（次ページへ続く）

2 記録紙ガイドを矢印の方向に起こし、記録紙を取り除く

3 記録紙ガイドを元に戻す

4 カートリッジを取り付ける

カートリッジを取り付ける ➡p84

5 操作パネルを閉じる

6 記録紙カセットのカバーを外したあと記録紙をいったん取り出し、そろえて入れ直す

7 記録紙カセットのカバーを合わせて置き、親機に取り付ける

“XXXX　アイテイマス”と表示された

次のうちのいずれかが表示されたときは、そのカバーが浮いています。確実に閉めてください。

・“ソウサパネルガ　アイテイマス”
・“リアカバーガ　アイテイマス”
・“フィルムカバー　アイテイマス”

“キロクシガ　ツマリマシタ”とくり返し表示された

記録紙カセットの奥側斜面と、記録紙給紙用ローラを清掃してください。

記録紙カセットの清掃 ➡p87
記録紙給紙用ローラの清掃 ➡p88

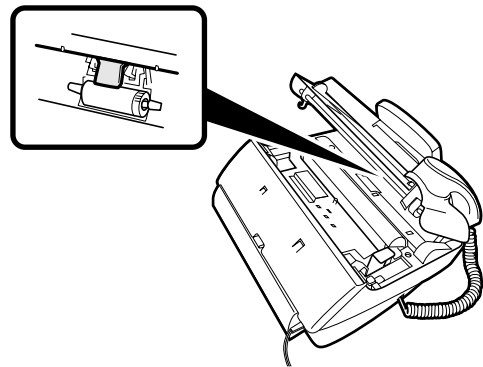
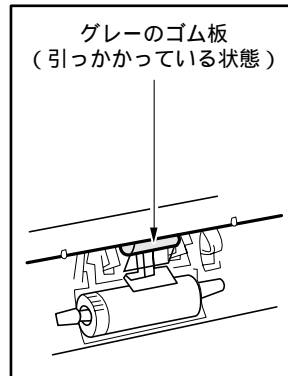
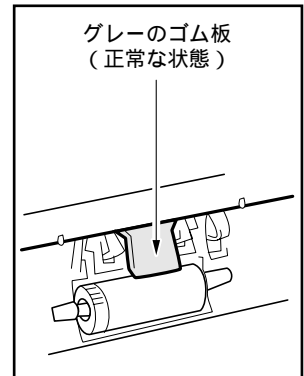
“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されたとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまっています。

・受話器を付けている場合は、手で支えた状態で操作パネルを開けてください。そのまま勢いよく操作パネルを開けると、受話器が落ちる場合があります。
・作業中は、指をはさまないように注意してください。

1 操作パネルを開ける

2 原稿を取り除く

3 内部のグレーのゴム板の状態を確認する

グレーのゴム板が引っかかっていたら、ゴム板に指を引っかけて戻してください。

4 操作パネルを閉じる

・操作パネルはきちんと閉じてください。操作パネルがきちんと閉じていないと原稿づまりの原因となります。
・原稿セットガイドを合わせていない場合、原稿が小さい場合にも“ゲンコウガ　ツマリマシタ”が表示されることがあります。原稿セットのしかた ➡p34

“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”が交互に表示された

原稿送り用ローラを清掃してください。

原稿送り用ローラの清掃 ➡p87

インクフィルムを交換する

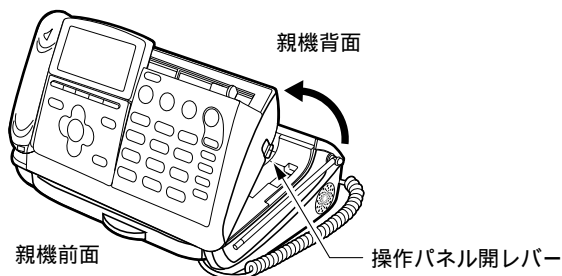
・必ず、指定（型名：SIF−A4040またはSIF−A4030T）のインクフィルムを使用してください。
指定以外のインクフィルムを使用すると、故障や印字かすれなどの原因になることがあります。

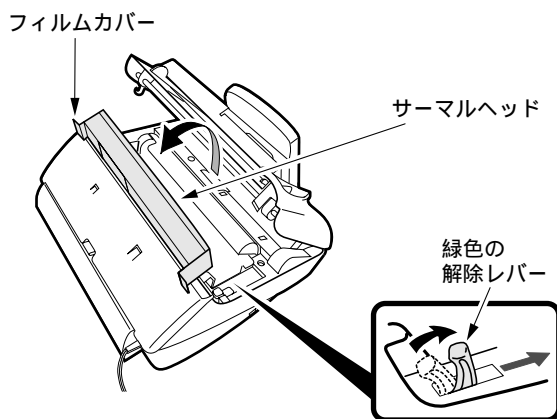
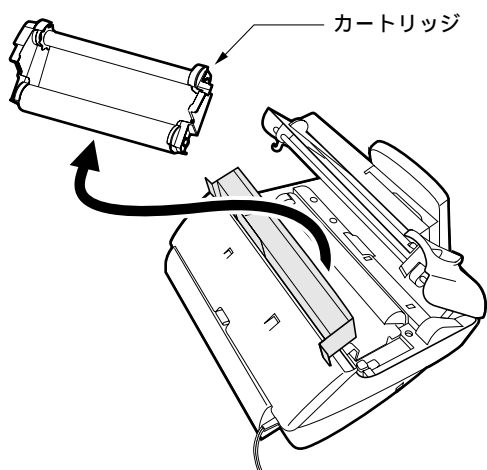
インクフィルムカートリッジを取り外す

下記の手順でインクフィルムカートリッジ（以降カートリッジと略す）を取り外してください。

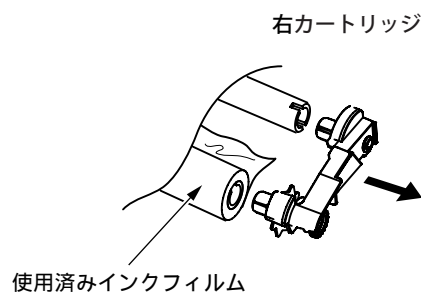
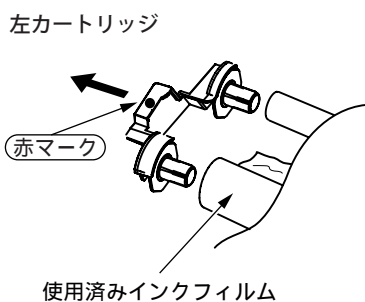
1 操作パネルを開ける

親機右側面にある操作パネル開レバーを引き上げながら、矢印の方向に操作パネルを開けてください。

・受話器が親機に付いている場合は、受話器を手で支えてから操作パネルを開けてください。そのまま勢いよく操作パネルを開けると、受話器が落ちる場合があります。
・作業中は指をはさまないように注意してください。

2 緑色の解除レバーを矢印の方向に倒し、フィルムカバーを開く

・サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。
・サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

3 カートリッジを取り外す

インクフィルムの交換

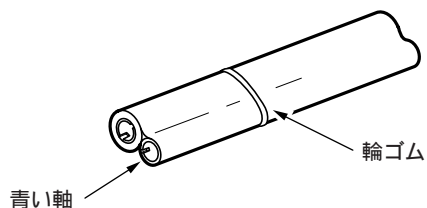
1 左右のカートリッジを使用済みインクフィルムから取り外す

・左右のカートリッジは再利用しますので、廃棄しないでください。

左カートリッジ

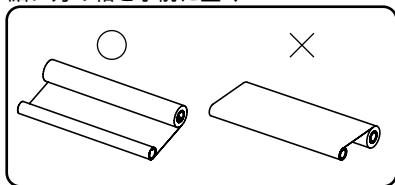
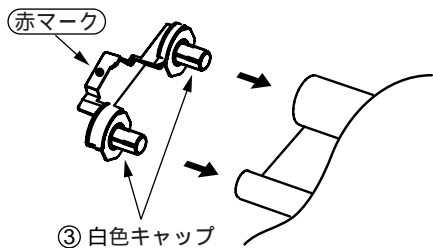
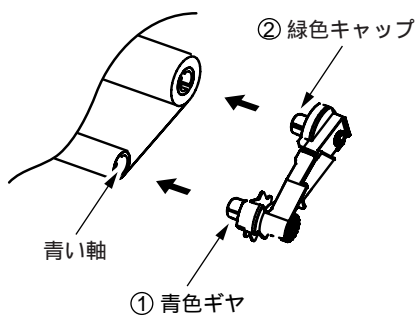
右カートリッジ

（次ページへ続く）

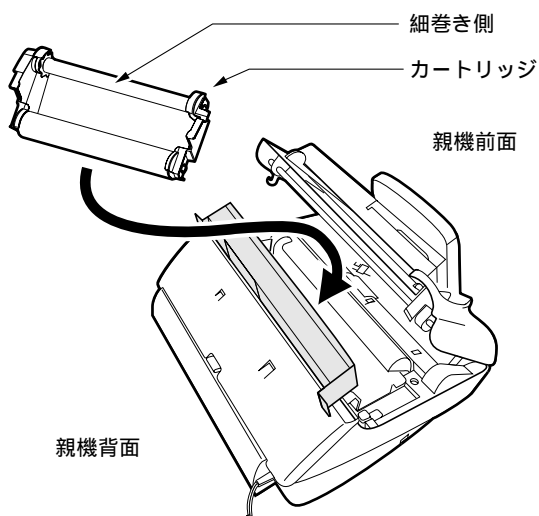
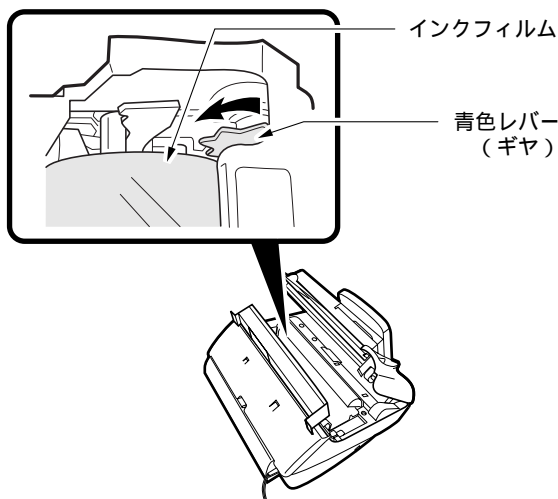
2 新しいインクフィルムを用意する

インクフィルムを箱から取り出し、袋と輪ゴムを取り外してください。
インクフィルムが転がらないよう注意してください。

3 左右のカートリッジをインクフィルムに取り付ける

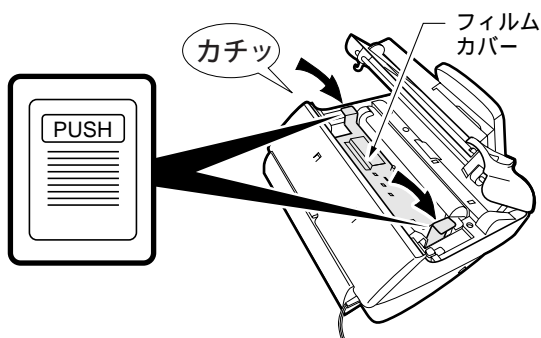
① 右カートリッジの青色ギヤとインクフィルム細巻き側（青い軸）の溝を合わせて、奥まで差し込む。
② 右カートリッジの緑色キャップとインクフィルム太巻き側の溝を合わせて、奥まで差し込む。
③ 左カートリッジの白色キャップ（2個）を軸に、奥まで差し込む。

細い方の軸を手前に置く

左カートリッジ

右カートリッジ

カートリッジを取り付ける

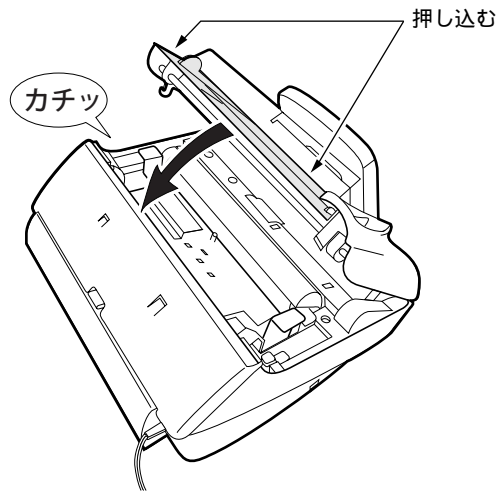
1 カートリッジを取り付ける

フィルム面を下側にし、インクフィルムカートリッジの細巻き側を親機の前面側に向け、親機背面側から先に取り付けます。

2 青色レバーを回し、インクフィルムのたるみを取る

3 フィルムカバーを閉じる

フィルムカバーの両端（部）を同時に押し、「カチッ」と音がするまでしっかり押し込みます。

・フィルムカバーは確実に閉じてください。フィルムカバーを確実に閉じていないと、電源が入っているときはディスプレイに“フィルムカバー　アイテイマス”と表示されます。

4 操作パネルを閉じる

操作パネルの両端を、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。

・操作パネルは確実に閉じてください。操作パネルを確実に閉じていないと、親機を使用できません。電源が入っているときはディスプレイに“ソウサパネルガ　アイテイマス”と表示されます。

インクフィルムの処分方法について

・使用済のインクフィルムには、コピーや受信したときの内容が白く残っています。内容を他の人に見られたくないときは、ハサミなどで切ってから捨ててください。
・インクフィルムの芯は紙、フィルム部分はポリエチレン、カーボンパラフィンなどでできています。
使用済のインクフィルムは、お住まいの地域で定められた分別により捨ててください。

感熱紙を使用する場合は

・「インクフィルムを交換する」(➔p83)の手順1〜3を行ってインクフィルムカートリッジを取り外し、「カートリッジを取り付ける」(➔p84)の手順3、4を行ってフィルムカバー、操作パネルを閉じてください。取り外したインクフィルムカートリッジは、なくさないように保管してください。

子機について

電池パックを交換する

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 万一、電池パックが液漏れして、液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

・電池パックは必ず本機専用のものを使用してください。

電池仕様：SP–N1，2.4V，600mAh，NEC

型名	標準価格
SP–N1　ニカド電池	1,600円

価格には消費税は含まれておりません。

・新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したときは、子機を充電器に置いて9時間以上充電してください。
・電池パックにはニカド電池を使用しています。

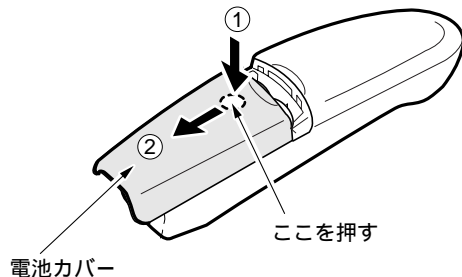
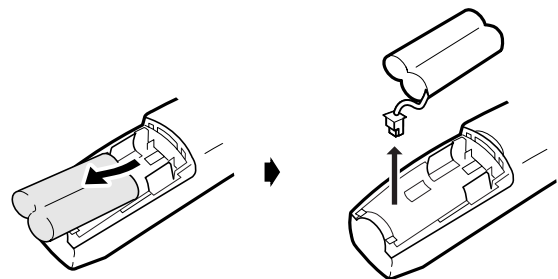
Ni-Cd

ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、電池パックを取り出し、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。

・「ニカド電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。
– 本機または電池パックをお買い求めいただいた販売店
–「（社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局
（（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/ をご参照ください。）
・電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
・電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
・電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。

・電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
・電池パックは必ず本機専用のもの（SP–N1）を使ってください。
・電池パックのコードを、強くひっぱらないでください。故障の原因になります。
・電池パックのコードを、電池カバーではさまないように注意してください。

1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

2 古い電池パックを取り出す

3 新しい電池パックを取り付ける

電池パックを取り付ける ➔p18

4 充電器に置いて充電する

新しい電池パックは充電されていません。9時間以上、充電してください。

子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

・子機が2台以上ある場合、子機同士の通話はトランシーバー方式での簡易子機間通話となります。双方向の通話はできません。

増設できる子機

必ず下記の型名をご指定ください。
指定以外の子機はご使用になれません。

型名	標準価格
SP–ZK20（カナ表示）	14,000円

価格には消費税は含まれておりません。

増設できる子機の台数

SPX–N3は最大3台まで、SPX–N3Wは最大2台まで子機を増設できます。付属の子機と合わせて、合計4台となります。

子機を使える状態にするには

増設子機を使うためには、子機への識別番号（IDコード）の登録が必要です。登録には増設子機と親機が必要です。くわしくは販売店にお問い合わせください。

お手入れのしかた

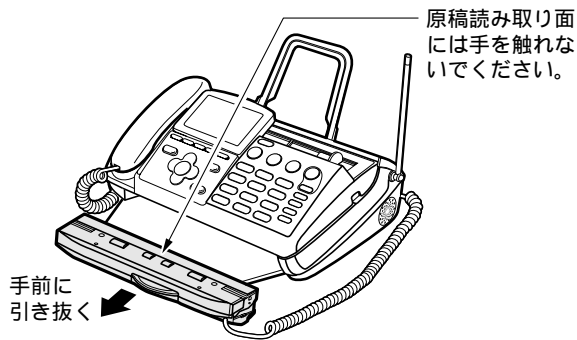
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

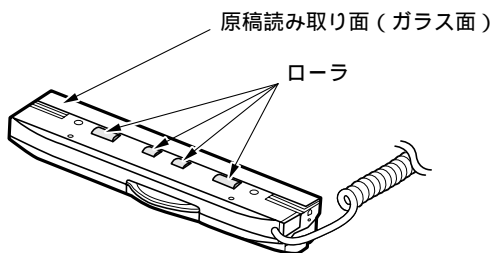
親機・子機の外装の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナを外す

2 ガラス面を柔らかい布で拭く

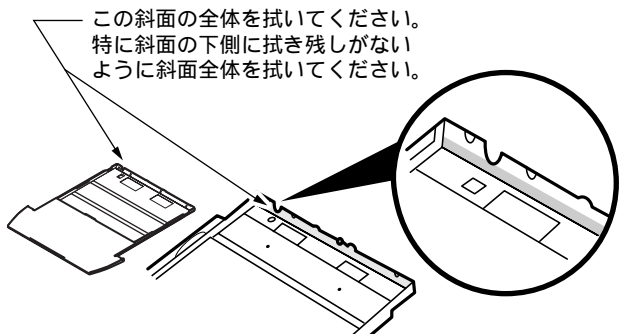
3 ローラを拭く
水に浸した布を固く絞って、拭いてください。

4 ハンドスキャナを戻す
原稿読み取り面を上に向けて、親機に押し込みます。

記録紙カセットの清掃

記録紙カセットが汚れると、記録紙給紙不良の原因となります。記録紙カセットは、月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 記録紙カセットを取り外し、カセットのカバーを外す

2 記録紙を取り出す

3 記録紙カセットの下図の部分を拭く
水に浸した布を固く絞って拭いてください。
斜面に傷を付けないように、柔らかい布を使用してください。

4 記録紙を入れて、カセットのカバーを合わせて置く

5 記録紙カセットを取り付ける

原稿送り用ローラの清掃

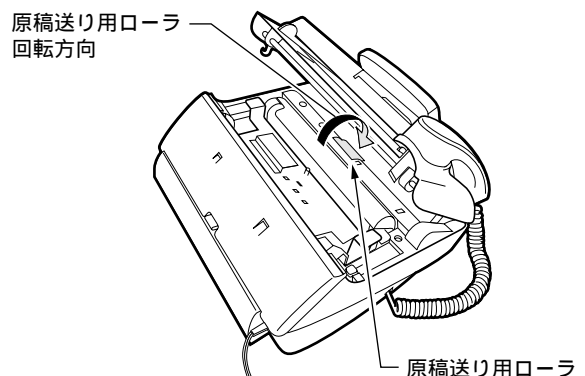
原稿送り用ローラが汚れると、原稿づまりの原因になります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 操作パネルを開ける

- 受話器が親機に付いている場合は、受話器を手で支えてから操作パネルを開けてください。そのまま勢いよく操作パネルを開けると、受話器が落ちる場合があります。
- 作業中は指をはさまないように注意してください。

3 原稿送り用ローラを拭く
水に浸した布を固く絞り、原稿送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます。

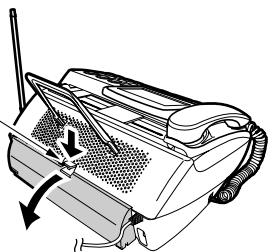
- サーマルヘッドに貼られている黒いフィルムは、絶対にはがさないでください。記録紙づまりの原因になります。
- サーマルヘッドの周辺は高温になっている場合があります。高温時は、手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

4 操作パネルを閉じる

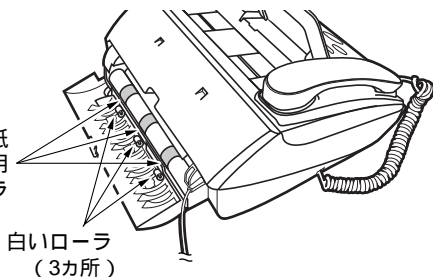
5 電源プラグをコンセントに差し込む

記録紙送り用ローラの清掃

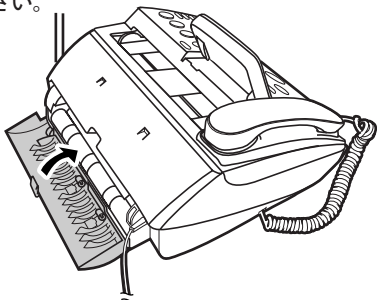
長い間使用していると記録紙送り用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

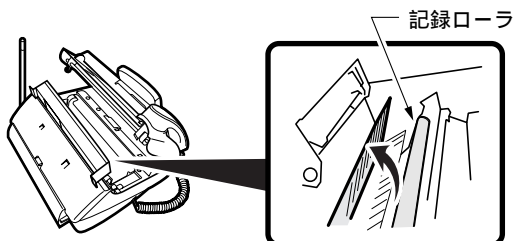
2 リアカバー開レバーを下に押し、リアカバーを開ける

3 記録紙送り用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、記録紙送り用ローラを手で回しながらローラの表面全体を拭きます。

・清掃の際、リアカバーの白いローラに触れないようにしてください。

4 リアカバーを閉じる

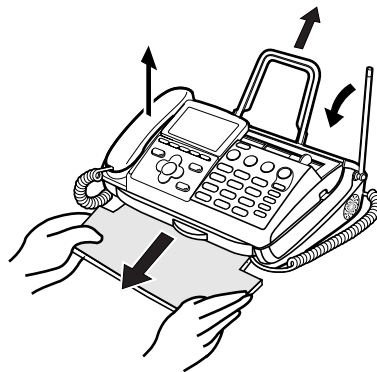
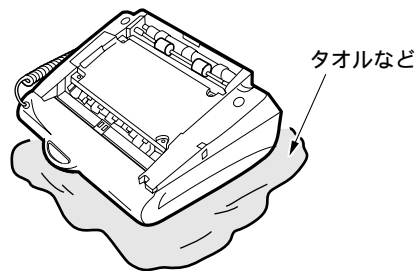
リアカバー開レバーがロックされるまで確実に押し込んでください。

5 電源プラグをコンセントに差し込む

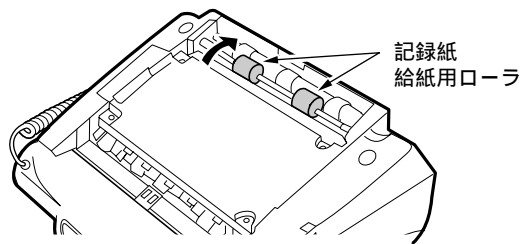
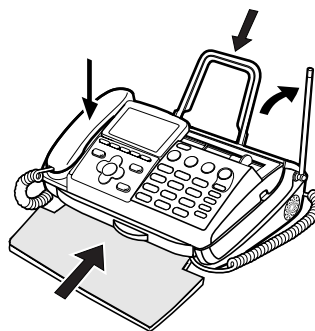
記録ローラの清掃

記録紙がうまく送れないときや、プリントした記録紙が汚れるときは、記録ローラを清掃してください。
水に浸した布を固く絞り、記録ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

記録紙給紙用ローラの清掃

長い間使用していると記録紙給紙用ローラに紙の粉などが付いて、うまく送れなくなる場合があります。月に1回くらいの周期で清掃してください。

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 記録紙カセット、原稿サポートと受話器を取り外し、アンテナを倒す

3 タオルなどを数枚重ねた上に、本機を裏返して置く

4 記録紙給紙用ローラを拭く

水に浸した布を固く絞り、記録紙給紙用ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭きます。

5 本機を表に戻し、記録紙カセット、原稿サポートと受話器を取り付け、アンテナを立てる

6 電源プラグをコンセントに差し込む

“ツウシン　イジョウ”が表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに“ツウシン　イジョウ”と表示されたり、不達レポートがプリントされます。おもな“ツウシン　イジョウ”の対処方法は、次のとおりです。

・原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。
　原稿を正しくセットし、もう一度送り直してください。……… ➔p34
・記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。……… ➔p14
・記録紙がつまりました。取り除いてください。……… ➔p80
・原稿がつまりました。セットし直してください。……… ➔p82
・カバーが開いています。カバーを閉じてください。……… ➔p82

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。
停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。

	情報	参照
消えてしまう情報	・みんなに送信時のメモリに記憶されている文書	➔p36
	・ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書	➔p41
	・親機に記憶されているリダイヤルの電話番号	➔p22
	・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）	➔p16、p51
	・ナンバー・ディスプレイ利用時の着信データ	➔p73
消えない情報	・メモリ代行受信文書	➔p38
	・留守番電話に録音した自作応答メッセージ	➔p45
	・留守番電話に録音された用件	➔p44
	・通話録音した内容	➔p32
	・登録した電話番号や各種の設定値	
	・通信管理レポート	➔p60
	・子機に記憶されているリダイヤルおよび電話帳	➔p22、p28
	・ダウンロードした着信メロディー	➔p66
	・登録したオリジナルメロディ	➔p54

停電が復旧したとき

・停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
　－ ハンドスキャナ送信中に停電したときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。
　－ みんなに送信中に停電したときは、みんなに送信レポートが自動的に出力されます。
・停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化され、2001年1月1日0時0分になります。
　この場合は、時刻を合わせてください。時計を合わせる ➔p51

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア　　レポ゜ート

ニッポ゜ン デ゛ンキ

イカノ　ナイヨウカ゛、テイデ゛ンニヨリ　クリア　サレマシタ。

ハント゛スキャナ　ソウシン　フ゛ンショ

ウケツケ　ニチジ゛	ツウシン　ジ゛カン	ア イ テ サ キ	モート゛	マイスウ	ツウシン　ケッカ
10. 1　14:35	0’00”	0387654321	ECM	1	テイデ゛ン

困ったときは（Q&A）

	こんなときは	内　容	参照ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	p15
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”と表示が出た	• 操作パネルが開いています。	ー
	“リアカバーガ　アイテイマス”と表示が出た	• リアカバーが開いています。	ー
	“キロクシガ　ツマリマシタ”“ソウサパネル　アケテクダサイ”と交互に表示が出た	• 記録紙がつまっていませんか？ • 記録紙がつまっていない場合は、記録紙の給紙不良です。記録紙カセットと記録紙給紙用ローラを清掃してください。 • 記録紙がつまっている場合は、カバーを開けて記録紙を取り除いてください。	p80 p87 p88 p80
	“フツウシヲ　イレテクダサイ”（フツウシモード）“カンネツシヲ　イレテクダサイ”（カンネツシモード）と表示が出た	• 記録紙がなくなっています。 • 記録紙カセットが外れていませんか？	p14
	“インクフィルム　コウカン”と表示が出た（フツウシモード時）	• インクフィルムがなくなっています。	p83〜85
	“フィルムカバー　アイテイマス”と表示が出た	• フィルムカバーが開いています。	p84
	“インクフィルムヲトッテクダサイ”と表示が出た（カンネツシモード時）	•（感熱紙モードでは不要の）インクフィルムがセットされています。（インクフィルムが取り付けられた状態で）カートリッジを取り外してください。	p57
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	• 電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ • 電話回線が接続されていますか？ • 受話器のコードは接続されていますか？ • 子機を使用中ではありませんか？	p15 p15 p15 p21
	電話を受けられるが、かけることができない	• 回線種別の設定が合っていますか？ • ターミナルアダプタを使用していませんか？	p49 p79
	電話をかけることはできるが、受けることができない	• ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。 • ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	p70 p78
	ベルが鳴らない	• ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ • 着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？	p33 p53 p54
	ベルの音が小さい（大きい）	• ベルの音量を調整してください。	p33
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	• 相手がファクスかもしれません。親機の［スタート／コピー］ボタン（子機では［内線］ボタンを押したあと［6］）を押してみてください。	p37
	相手の声が聞き取りにくい	• 音量調整をしてください。	p33
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	• p33 をご覧ください。	ー
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	• p37、52 をご覧ください。	ー
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	• p37、52 をご覧ください。	ー
	電話をかけたとき、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	• 相手がNTT 東日本またはNTT 西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 • ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	p69 p49
	親機から子機を呼び出せない 親機に次の表示が出た “デンパ　シヨウチュウ” “コキ　オウトウ　アリマセン” 子機から、親機や他の子機が呼び出せない	• 子機を親機に近づけてみてください。 • 親機のアンテナの向きを変えてみてください。 • テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 • 近くで他のコードレス電話機を使用していませんか？ • 子機は充電されていますか？	p17
	電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	• 相手の方がナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、接続までに時間がかかることがあります。	p69

	こんなときは	内　容	参照ページ
電話（子機）	電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、電源コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線が接続されていますか？ ・親機の回線種別の設定が、ご使用の回線種別に合っていますか？ ・親機から離れすぎています。親機に近づいてください。 ・親機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか？ ・[通話] ボタンを押しましたか？	p15 p19 p15 p49 p21
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「OFF」 になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？ ・着信ベルに、休符のみのオリジナル着信メロディを設定していませんか？	p33 p17 p19 p53 ,54
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・いつも聞き取りにくいときは、受話音量を全体的に大きく設定してください。	p33 p58
	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	・送話音量を全体的に大きく設定してください。	p58
	通話中に声がとぎれたり雑音が入る	・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 ・子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	ー
	通話中に「ピッピッピッピッピッピッピッ」という音が鳴り出した	・電池の充電残量が少なくなっています。充電をしてください。	p19
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	p86
	充電器に置いたとき、[通話] ボタンと [切] ボタンが点灯しない	・AC アダプタのプラグを電源コンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	p18 p19
	他のファクシミリの子機を本機の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	p86
	増設子機が使えない	・増設子機に対する識別番号（ID コード）の登録が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	p86
ファクス（コピー）	コピーが白紙になる	・コピーする面を裏に向けて原稿をセットしましたか？ ・感熱紙モードで普通紙をセットしていませんか？ ・感熱紙の印字面を下に向けてセットしましたか？	p34 p57 p14
	コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り続けた	・[ストップ] ボタンを押すと、音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙の給紙不良です。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 p82 p88 p80
	コピーがかすれた コピーがうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーを取ってください。	p56
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り面を清掃してください。 ・当社推奨の記録紙を使用してください。	p87 p12, 96
	コピー画の左端が欠ける	・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせてコピーをすると左側約 2 ～ 3cm が欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	p34
	記録紙の裏面が汚れる	・記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	p88
ファクス（送信）	原稿をセットすると“ゲンコウガ ツマリマシタ”の表示が出る 原稿をセットしたのに“ゲンコウ ガアリマセン”の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・いったん操作パネルを開け、操作パネルを閉じてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。 ・操作パネルの内側にあるグレーのゴム板が引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 ・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が厚すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 ・原稿が薄すぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。 ・原稿が小さすぎます（ハンドスキャナを使って送信してください）。	 p87 p82 p34 p41 p41 p41
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	p82 p34 p87

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	原稿の読み取り中に「ピーピーピーピーピー」という音がして止まってしまい、“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と“ローラヲ　セイソウシテクダサイ”という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、もう一度やり直してください。 ・原稿送り用ローラを清掃してください。	p82 p87
	原稿が送られず、“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	―
	原稿が送られず、“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	・相手先が話中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	―
	何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	・相手が話中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください（手動とは、電話をかけて話をして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。	p35 p21 p35
	送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに記録紙切れなどが起きたため、送信が中断されました相手先に確認して、もう一度送り直してください。	―
	送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「細かい」、「写真」のときは、「ふつう」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	p35
	海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です（手動とは、電話をかけて話をして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	p35 p56
	送ったファクスが縮小された	・相手機（受信側）が A4 サイズの記録紙を使用している場合、B4 サイズの原稿を送ると自動的に A4 に縮小して送信されます。 ・A4 の原稿のとき、原稿セットガイドを B4 の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。	p35 p34
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 ・1 つ上の項目も参照してください。	―
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？送る面を「裏向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	p34
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	p56
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	p39,87 p35
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	p39,87
ファクス（受信）	“シバラク　オマチクダサイ”と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	―
	“ソウサパネルガ　アイテイマス”と表示が出た	・操作パネルが開いています。	―
	“リアカバーガ　アイテイマス”と表示が出た	・リアカバーが開いています。	―
	“フィルムカバー　アイテイマス”と表示が出た	・フィルムカバーが開いています。	p84
	“キロクシガ　ツマリマシタ”と表示が出た	・記録紙の給紙不良です。 ・記録紙がつまっています。 ・普通紙モードで感熱紙を使用していませんか？	p88 p80 p57

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	“フツウシヲ　イレテクダサイ”“カンネツシヲ　イレテクダサイ”と表示が出た	・記録紙がなくなっています。 ・記録紙カセットが外れていませんか？	p14
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録中のときは、[ストップ] ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。	p52 p53 p45
	受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・[ストップ] ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙の給紙不良です。記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。 ・インクフィルムがなくなっています。 ・相手のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してもらってください。	p88 p80
	受信した記録紙が白紙になる	・感熱紙の印字面を下に向けてセットしましたか？ ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。 ・相手先から後端部分が白い（文字が書かれていない）原稿が送られてきた場合は記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。 ・定型受信を「しない」に設定している場合は、記録紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	p14 p56
	受信した画像が鮮明でない	・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	p76 p39
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーを取ってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NEC フィールディング（株）パーソナルコールセンターにご連絡ください。	p39 p97
	記録紙がつまる 記録紙が送られない	・当社推奨の記録紙を使用してください。 ・セットできる枚数は 30 枚までです。 ・記録紙は使い切ってから入れてください。 ・しわ、折れのある紙、湿っている紙などは使用しないでください。 ・記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。 ・記録紙カセットの奥側斜面を水拭きしてください。	p12, 96 p14 p88 p87
	プリントした記録紙が汚れるとき	・記録ローラ、記録紙送り用ローラ、記録紙給紙用ローラを清掃してください。	p88
	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFF にしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいのときは受信できません。	p79 p45
	メモリオーバーによる通信異常が多発する	・本機は、ファクス受信中にインクフィルムや記録紙がなくなってもメモリ代行受信が働くように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 不要な用件を消す メモリ受信「しない」に設定する	p45 p57
	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	ー

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（受信）	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	ー
	ファクスかんたん受信ができない	・「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から「ファクシミリを受信します。電話を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などがありませんか？ ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の [スタート／コピー] ボタンを押してください。 ・受信したファクスをプリント中は受信できません。	p51
	A4 の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先（送信側）で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 ・定型受信を「する」に設定していませんか？	p56
	記録紙、インクフィルムがなくなったときはどうなるのか？	・記録紙、インクフィルムがなくなったページからメモリ代行受信します。	p38
	ファクス専用モードにならない	・電話モードに設定されているとファクス専用モードの設定は無効になります。電話モードの設定を解除してください。（着信ベル回数の設定を 1 ～19 回にしてください）	p53
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・p38 をご覧ください。	ー
	子機で出たときのファクスの受信方法は？	・p38 をご覧ください。	ー
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	p45
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	p50,52
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	p33
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を 9 回以下に設定してください。	p52
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	・記録紙、インクフィルムがなくなっていませんか？	p14
	外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作する」に設定してありますか？	p44 p46 p46 p46
	用件転送は 6 秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	p47
ハンドスキャナ	“ハンドスキャナ　サイセット”と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	p40
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	p39 p40
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	p41
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	p40
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小の設定を確認してください。	p42
いろいろなサービス	ポケベル呼び出しができない	・用件転送がセットされていますか？	p48
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・p76 をご覧ください。	ー
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	p76
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	ー
	NTT 東日本または NTT 西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	・無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	p52

	こんなときは	内　容	参照ページ
いろいろなサービス	ナンバー･ディスプレイに加入し、使用しているが、子機にかかってきた電話が子機の着信データとして記憶されない	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。	p17
接続方法	ホームテレホンまたはビジネスホンにファクスを接続できるか？	・接続できません。	ー
	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・p79 をご覧ください。	ー
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	p79
その他	“ゲンコウガ　ツマリマシタ”と表示されるが、原稿が取れない	・操作パネルを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	p82
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字入力一覧表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	本書の最終ページ
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機での場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	p15 p86
	操作を間違えた	・p20 をご覧ください。	ー

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

推奨消耗品

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257（幅）×1000（長さ）mm 最小：128（幅）× 128（長さ）mm
記録紙サイズ	普通紙、感熱紙 ・A4サイズ（210 ×297 mm） ・厚さ0.07〜0.09mm
記憶容量 *1	A4（700文字程度）の原稿で約16枚（最大10文書）
有効読取幅	B4のとき：250 mm A4のとき：208 mm
有効記録幅	205 mm
走査方法	CCDによる原稿移動型平面走査、または、ハンドスキャナ移動による平面走査
走査線密度	主走査 8ドット /mm 副走査 細かい：15.4 line/mm 小さい： 7.7 line/mm 普 通： 3.85 line/mm
通信モード	G3/ECM
通信速度	9600/7200/4800/2400 bps
電送時間 *2	G3：約20秒 ECM：約12秒 （みんなに送信時）
記録方式	・熱転写記録方式 ・感熱記録方式
適用回線	・一般電話回線 ・ダイヤルイン回線 ・NCC回線
自動受信	有（ファクス/電話自動切替機能内蔵）
電 源	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力	待機時：約1.4 W 送信時：約 13 W（標準的原稿） 受信時：約 17 W（標準的原稿） コピー時：約 22 W（標準的原稿） 最大時：約 90 W
直流抵抗	96 Ω（20 mA）
外形寸法	約333（横幅）×343（奥行き）×165（高さ）mm （突起部を除く）
質 量	約4.7 kg（記録紙、インクフィルムを除く）
使用環境	温度： 5〜35 ℃ 湿度：35〜85 %
推奨環境	温度：15〜30 ℃ 湿度：35〜70 %

・本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。
・本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の支店・営業所（交換機）から離れていると、使用できないことがあります。NECフィールディング（株）パーソナルコールセンターにご相談ください。➡ p97

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約100 m
使用周波数帯	250 MHz / 380 MHz帯
送信出力	10 mW（FM）

〈子 機〉

電 源	DC 2.4 V（専用ニカド電池使用）
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約180時間 *3 連続通話時：約 7時間
外形寸法	約45（横幅）×43（奥行き）×180（高さ）mm （突起部を除く）
質 量	約150 g（電池パックを含む）

〈子機充電器〉

外形寸法	約68（横幅）×100（奥行き）×83（高さ）mm
質 量	約110 g（子機充電器用AC アダプタを除く）
消費電力	約1.3 W（充電時）
電 源	AC 100 V 50/60 Hz （子機充電器用ACアダプタを使用）

・充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約12分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2 固定：1

*1：記憶容量は、留守電の応答メッセージや用件、通話録音、メモリ代行受信などを含むすべての記憶容量となります。
*2：電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85line/mm）で送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により変化します。
*3：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。

操作早わかりガイド

：受話器を取る　：受話器を戻す

オンフック：ボタンを押す

電話

電話をかける	受話器を取る ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す オンフック ▶ 相手先番号 ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
リダイヤルする	▶ 相手先を選ぶ ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
電話を受ける	着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
保留する	通話中 ▶ 保留/内線 ▶ 受話器を戻す
通話に戻る	保留中 ▶ 受話器を取る ▶ 通話
子機で話す	保留中 ▶ ▶ ▶ 子機で通話
転送 子機へ	外線と通話中 ▶ 保留/内線 ▶ 内線番号* ▶ 子機と通話 ▶ 受話器を戻す ※子機が出ないときは［保留／内線］ボタンを押します。
〈子機〉	親機からの呼出 ▶ ▶ 内線 ▶ 親機と通話 ▶ 外線と通話
内線通話	保留/内線 ▶ 内線番号* ▶ 受話器を取る ▶ 子機と通話 ▶ 受話器を戻す
〈子機〉	親機からの呼出 ▶ ▶ 内線 ▶ 親機と通話 ▶ または 切
ワンタッチボタンでかける	ワンタッチ1 … ワンタッチ3 ▶ 受話器を取る ▶ 通話 ▶ 受話器を戻す
電話帳でかける	相手を選ぶ ▶ 受話器を取る ▶ 通話
通話録音	外線と通話中 ▶ 留守 ▶ 録音 ▶ ストップ
録音内容を聞く	▶再生 ▶ 再生 ▶ ストップ ※ 外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手と一緒に聞けます。
音量調整 ベル音量	待機中 ▶ ▼音量▲ 切↔1↔2↔3↔4↔5↔6
音量調整 スピーカ音量	オンフック ▶ ▼音量▲ 切↔小↔中↔大
音量調整 受話音量	通話中 ▶ ▼音量▲ 小↔中↔大

電話

トーン信号を送る	電話をかける ▶ ＊トーン 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線通話中 ▶「プルルー・プップッ」▶ キャッチ ▶ つぎの人と通話 ▶ キャッチ ▶ 最初の人と通話

ファクス／コピー

画質モード	画質 → ふつう → 小さい → 細かい → 写真
自動送信	原稿セット ▶ 相手先番号 ▶ スタート
ワンタッチボタンで送信	原稿セット ▶ ワンタッチ1 … ワンタッチ3
電話帳で送信	原稿セット ▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ スタート
手動送信	原稿セット ▶ 受話器を取る または オンフック ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ ▶ 相手が受信操作 ▶ スタート ▶ 受話器を戻す
みんなに送信	原稿セット ▶ 相手先を選ぶ ▶ みんなに送信 ▶ スタート 最大10件までくり返し
手動受信	着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶「ポー・ポー…」▶「ファクシミリを受信します…」▶ 受話器を戻す 着信音（ベル）▶ 受話器を取る ▶「ポー・ポー…」▶ スタート ▶ 受話器を戻す 通話中 ▶ 相手が送信操作 ▶「ポー・ポー…」▶ スタート ▶ 受話器を戻す
コピー	原稿セット ▶ スタート ▶（複数部コピーするときは部数を指定）▶ スタート

ハンドスキャナ

準備	ハンドスキャナを外し、原稿の上に置く ▶ 画質選択 ▶ コピーまたはファクス（下記へ）
コピー	準備（上記から）▶ スタート ▶ 読み取り ▶ ストップ ▶ ハンドスキャナを戻す
ファクス送信	準備（上記から）▶ 相手先番号 ▶ スタート ▶ 読み取り ▶ ストップ ▶ ▶ 1 ▶ ハンドスキャナを戻す

留守電

留守の設定／解除	留守	
用件の再生	▶再生 ▶ 再生	※ 聞き終えた用件を一度に消去したいときは「メッセージは以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 ▶ 消去	

*内線番号　・付属の子機…内線2　・増設子機…1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5　・すべての子機を一斉に呼ぶとき…［＊］
**SPX−N3Wでは内線3も付属の子機となります。

クイック通話がONのとき
電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機を取ると［通話］ボタンまたは［内線］ボタンを押さずに相手と話ができます。
クイック通話がOFFのとき
電話がかかってきたとき、相手を確認してから、外線の場合は［通話］ボタン、内線の場合は［内線］ボタンを押して、相手と話すことができます。
（本ガイドは、クイック通話OFFのときの説明です。）

電話	
電話をかける	▶ ▶ 相手先番号 ▶ 通話 ▶ または 切
リダイヤルする	▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ ▶ 通話
電話を受ける	着信音 ▶ ▶ ▶ 通話 ▶ または 切
保留する	通話中 ▶ 保留♪ 削除 ▶ 切 または
通話に戻る	保留中 ▶ ▶ ▶ 通話
親機で話す	保留中 ▶ ▶ 親機で通話
転送 親機へ	外線と通話中 ▶ 内線 ▶ 1ア ▶ 親機と通話 ▶ または 切 ※親機が出ないときは［内線］ボタンを押します。
〈親機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 子機と通話 ▶ 外線と通話
他の子機へ	外線と通話中 ▶ 内線 ▶ 内線番号* ▶ 転送を伝える ▶ または 切 ※子機が出ないときは［内線］ボタンを押します。
〈子機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 内線 ▶ 相手の声を聞く ▶ 外線と通話
内線通話	▶ 内線 ▶ 1ア ▶ 親機と通話 ▶ または 切
〈親機〉	子機からの呼出 ▶ ▶ 子機と通話 ▶

電話	
簡易子機間通話 トランシーバー方式	待機中 ▶ 内線 ▶ 内線番号* ▶ 話す ▶ キャッチ ▶ 聞く 送受話の切り替え ▶ 聞く 送受話の切り替え ▶ または 切 話す ▶ キャッチ ※送受話を切り替えられるのは、送話側のみです。
ワンタッチボタンでかける	▶ ワンタッチ ▶ 通話 ▶ または 切
電話帳でかける	▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ ▶ 通話
素早く探してかける	▶ ▶ 相手の頭文字のダイヤルボタン ▶ ▶ 相手先を選ぶ ▶ ▶ 通話
通話録音	外線と通話中 ▶ メニュー/登録 ▶ 5ナ ▶ 録音 ▶ ▶ # ▶ トーン *
録音内容を聞く	待機中 ▶ “リモコン　ソウサ”を選ぶ（下記） ▶ 2カ ▶ 再生 ▶ 切 ※ 外線と通話中に上記の操作を行うと、録音内容や留守電の用件を相手にも聞かせることができます。このとき、再生を止めるには［#］を押します。
音量調整 受話音量	▶ ▶ 音量 ▶ または 切 「標準」→「大」→「特大」
音量調整 ベルの鳴／切	待機中 ▶ 音量 2秒以上押す 「切」→「大」→「小」
トーン信号を送る	電話をかける ▶ トーン * 以後のダイヤルはトーン（プッシュ）信号で送出される
キャッチホンの利用	外線と通話中 ▶ 「プルルー・プッブッ」 ▶ キャッチ ▶ つぎの人と通話 最初の人と通話 ◀ キャッチ

“リモコン　ソウサ”の選びかた

*内線番号　・付属の子機…内線2　・増設子機…1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5　・親機と他の子機を一斉に呼ぶとき…［＊］
**SPX−N3Wでは内線3も付属の子機となります。

留守電

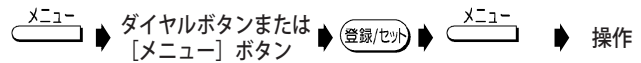
設定	待機中 ➧ “リモコン　ソウサ”を選ぶ（下記） ➧ 20秒以内に 7マ ➧ 切
解除	待機中 ➧ “リモコン　ソウサ”を選ぶ（下記） ➧ 20秒以内に 9ラ ➧ 切
用件の再生	待機中 ➧ “リモコン　ソウサ”を選ぶ（下記） ➧ 20秒以内に 2カ ➧ 再生 ➧ 切
早送り	用件を再生中 ➧ 3サ
巻き戻し	用件を再生中 ➧ 1ア
再生中の用件を消去	用件を再生中 ➧ 8ヤ
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 ➧ 「用件は以上です」 ➧ 「ピッピッピッ…」 ➧ 8ヤ ➧ 切

“リモコン　ソウサ”の選びかた

*内線番号　・付属の子機…内線2　・増設子機…1台目：内線3**、2台目：内線4、3台目：内線5　・親機と他の子機を一斉に呼ぶとき…［＊］
**SPX–N3Wでは内線3も付属の子機となります。

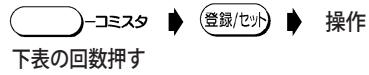
機能設定／登録早見表

〈手順〉 メインメニュー選択 ➡ 機能メニュー選択 ➡ 設定／登録

メニュー ➡ ダイヤルボタンまたは［メニュー］ボタン ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ 操作

メインメニュー	機能メニュー	設定／登録内容（　　　はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
1 リストプリント	デンワリストプリント	親機の電話帳リストをプリントする	p59
	チャクシンデータプリント	親機に記憶された着信データをプリントする	p59
	オリジナルメロディリスト	オリジナル着信メロディをプリントする	p60
	システムリストプリント	各種設定内容をプリントする	p60
	ツウシンカンリレポート	通信管理レポートをプリントする	p60
2 ジュシンセッテイ	ムメイドウチャクシン	○（する）、×（しない）	p52
	オンセイメッセージ	○（流す）、×（流さない）	p54
	チャクシンベル	1〜19回、　＊＊（無限回）、6回	p52
	ヨビダシベル	1〜19回、　10回	p52
	ファクスセンヨウ	○（する）、×（しない）	p53
	ベルオン・メロディ	ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A〜C）、オリジナルメロディ、コミスタメロディー	p53
3 セッテイモード	バックライトカラー	ライトブルー、グリーン、オレンジ、ブルー、レッド、ライムグリーン、ピンク、アクアマリン、ピーチ、バイオレット	p51
	ヨミトリノウド	■□□□□、■■□□□、■■■□□、■■■■□、■■■■■	p56
	ハッシンモトキロク	○（させる）、×（させない）	p50
	カイガイツウシン	○（する）、×（しない）	p56
	カンタンジュシン	○（する）、×（しない）	p51
	ホリュウメロディ	ホリュウメロディ1、ホリュウメロディ2	p52
	カイセンシュベツ	PB、DP、ジドウカイセンセンタク	p49
	コキジュワ	ヒョウジュン、オオキイ	p58
	コキソウワ	ヒョウジュン、オオキイ	p58
	フタツレポート	○（する）、×（しない）	p57
4 トウロクモード	オリジナルメロディ	オリジナル着信メロディを登録する	p54
	デンワバンゴウトウロク	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	p49
	ハッシンモトトウロク	自分の名前（最大40文字）を登録する	p50
	リモートソウサ	○（する）、×（しない）、リモートパスワード（4桁）の登録	p46
	ヨウケンテンソウ	○（する）、×（しない）、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1〜10回）	p47
	ダイヤルイン	○（する）、×（しない）、ＦＡＸ専用（○（する）、×（しない））、ファクスと親機の番号（4桁）の登録、共通鳴動（○（する）、×（しない））、子機用番号（4桁）の登録	p78
	ジコクセット	年月日と時刻の登録	p51
	デンワチョウテンソウ	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	p31
5 ルスデンキノウ	ゼンヨウケンショウキョ	全ての用件を消去する	p45
	オウトウメッセージロクオン	応答メッセージの録音（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	p45
	オウトウメッセージショウキョ	応答メッセージの消去（応答メッセージ1・応答メッセージ2）	p45
	トールセイバ	○（する）、×（しない）	p50
6 ナンバーディスプレイセット	ナンバーディスプレイ	○（する）、×（しない）	p70
	以下はナンバーディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
	チャクシンナリワケシテイ＆プライベートコールシテイ	着信鳴り分け指定（シテイナシ、ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A〜C）、オリジナルメロディ、コミスタメロディー）、プライベートコール指定（全て、内線番号）	p71
	バンゴウリクエスト	○（する）、×（しない）	p71
	チャクシンキョヒ	○（する）、×（しない）	p72
	オウトウメッセージセンタク	○（する）、×（しない）	p70
	キャッチホン	○（する）、×（しない）	p75
	チャクシンキョヒリストヘンシュウ	着信拒否リストの登録／確認／削除	p72
7 プリントセッテイ	テイケイジュシン	○（する）、×（しない）	p56
	メモリジュシン	○（する）、×（しない）	p57
0 ファクスジョウホウサービス		ファクス情報サービスの利用（ポーリング受信）	p38
ハンドスキャナを外したとき	ヨミトリキロクハバ	B4→A4、A4→A4、　B5→A4、A5→A4	p42
	メロディハンドスキャナ	○（流す）、×（流さない）	p42

〈コミスタメニュー手順〉 コミスタメニュー選択 設定／登録

（　）ーコミスタ ➧ 登録/セット ➧ 操作

下表の回数押す

コミスタメニュー		設定／登録内容（　　はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
1回	メロディーダウンロード	着信メロディーを本機にダウンロードする	p66
2回	ワリビキ　サービス	割引サービスを自動登録する	p64
3回	コミスタ　トイアワセ	コミスタに関する問い合わせをする	p62
4回	NTTコム　トイアワセ	コミスタ以外のNTTコミュニケーションズのサービスについて問い合わせをする	p62
5回	コミスタデータ　コウシン	コミスタのデータを更新する	p63
6回	リョウキン　ヒョウジ	○（する）、×（しない）	p66
7回	コミスタサービス　リヨウ	○（する）、×（しない）	p62

索　引

ア　行

カ　行

サ　行

タ　行

ナ　行

ハ　行

マ　行

ヤ　行

ラ　行

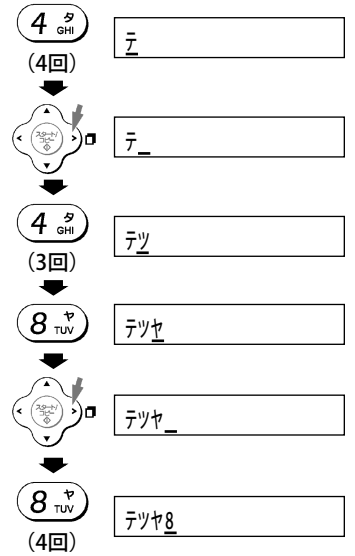
ワ　行

NEC スピークス

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

文字入力一覧表

・「カ」「キ」のように同じ列の文字を続けて入力するときは「カ」を入力したあとに［>］を押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。

押す回数	ダイヤルボタン									
	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	゛
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	9	゜
7回	ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回	ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	.
9回	ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	(空白)
10回	ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回	ォ									)
12回										•
13回										'
14回										*
15回										#
16回										&

親機での文字入力のしかた

入力例：
「テツヤ8」と入力するとき

4 タ GHI （4回） → テ
↓
> → テ_
↓
4 タ GHI （3回） → テツ
↓
8 ヤ TUV → テツヤ
↓
> → テツヤ_
↓
8 ヤ TUV （4回） → テツヤ8

・「カ」「キ」のように同じ列の文字を続けて入力するときは「カ」を入力したあとに［>］を押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。

カナ入力のとき

ディスプレイ

カーソル

英数字入力のとき

ディスプレイ

カーソル

押す回数	ダイヤルボタン										
	1ア	2カ	3サ	4タ	5ナ	6ハ	7マ	8ヤ	9ラ	0ワ	*゛゜
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ	゛
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ	゜
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン	
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	.	
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	,	
6回	ァ			ッ				ョ		ー	
7回	ィ									(空白)	
8回	ゥ										
9回	ェ										
10回	ォ										

押す回数	ダイヤルボタン									
	1ア	2カ	3サ	4タ	5ナ	6ハ	7マ	8ヤ	9ラ	0ワ
1回	1	A	D	G	J	M	P	T	W	0
2回		B	E	H	K	N	Q	U	X	ー
3回		C	F	I	L	O	R	V	Y	.
4回		2	3	4	5	6	S	8	Z	(
5回							7		9	)
6回										•
7回										'
8回										*
9回										#
10回										&
11回										(空白)

子機での文字入力のしかた

入力例：
「テツヤ8」と入力するとき

4タ （4回） → テ カナ
↓
> → テ_ カナ
↓
4タ （3回） → テツ カナ
↓
8ヤ → テツヤ カナ
↓
> → テツヤ_ カナ
↓
↓
8ヤ （4回） → テツヤ8 英

カナ入力と英数字入力を切り替えるとき ［▲］または［▼］を押すごとに切り替わります。

本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S.Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the softwares) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/kan/

Ni-Cd

ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

品番	SPX-N3 SPX-N3W	お買い上げ日	年　月　日
お買い上げ店	TEL　（　）		

NG-087686-0B04
ND-22889（J）
2002年 2月 第4版

NECアクセステクニカ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。